

令和2年度

「アドベンチャートラベルガイドの質的・量的改善に関する実証事業」

報告書

# 目次

## 【1】事業の概要

1-1 事業目的 .....	3
1-2 業務の全体構成 .....	4
1-3 事業実施における指針 .....	5

## 【2】実施内容

2-1 関係者への情報提供および類似事業調査 .....	6
2-2 地域ごとのAT機運の醸成 .....	7
2-3 地域ごとのネットワーキングイベントの開催 .....	18
2-4 地域ごとのAT機運の醸成 冬のモニターツアー .....	64
2-5 アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催 .....	95

## 【3】全体まとめ

3-1 アンケート結果に基づく事業成果-非ガイド層の態度変容- .....	158
3-2 アンケート結果に基づく事業成果-ガイドの質的改善- .....	160
3-3 事業総括 .....	161

# 【1】事業の概要

## 1-1.事業目的(事業仕様書より引用)

北海道は、人の暮らしと豊かな自然が近接しているためアクティビティを楽しむフィールドにアクセスしやすく、加えて独自のアイヌ文化も存在するため、欧米を中心に急速に発展しているアドベンチャートラベル(自然、アクティビティ、異文化交流の3要素のうち少なくとも2つの要素を含む旅行形態を指す。以下、「AT」という。)市場において、世界有数のデスティネーションとなる大きな可能性がある。

北海道運輸局は、北海道経済産業局、北海道庁、北海道観光振興機構、札幌市、釧路市と連携しながら、世界的なATのサミット(Adventure Travel World Summit。以下、「ATWS」という。)を北海道に誘致し、2021年の開催が決まったところである。

ATWSの開催に際して、主催者であるAdventure Travel Trade Associationからは、北海道で楽しめるコンテンツの更なる充実が必要であると指摘されているところ、2019年度においては、「訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業」においてATコンテンツを造成したところである。

このように造成したコンテンツを商品として持続的に販売していくためには、ガイドの存在が不可欠である。全世界で拡大していくAT市場に着実に対応するためには、ATガイドを質的にも量的にもこれまで以上に充実させていく必要がある。

ガイドを質的に充実させるためには、既にATガイドを行っている者のガイドスキルの向上が求められる。実際にガイド等のAT関係者から「それぞれの地域でどんな商品を販売しているのかを知らない。互いに共有することでガイドの水準が向上する」などの声があがっている。

さらに、顧客目線でガイドを質的に充実させるには、AT関係者間の連携が必要である。実際にAT関係者から「ガイドは他のガイドやホテル等との交流が少なく、客から自分が取り扱っていない分野について問われた場合に対応ができない」などの声があがっている。

また、ガイドを量的に充実させるためには、これまでガイドを行ってこなかった層も巻き込んでいくことが解決策の一つと考えられる。実際にAT関係者から「地域には観光に携わっていないが、地域の魅力を作っている人(漁師等)がいる。このような人たちとともにAT旅行を組み立てていきたい」などの声があがっている。

そこで、AT関係者の横のつながりを形成するネットワーキングイベントを実施することで、AT関係者間の連携を深め、より顧客のニーズを満たすサービスを提供するとともに、漁師等のガイド非従事者をガイドとして活用する可能性を模索する。

## 1-2. 業務の全体構成

### (1) 関係者への情報共有及び類似事業調査

- ・道内各地域の自治体、観光協会、民間事業者、DMO等、地域の関係する機関との調整及び情報共有。
- ・類似事業を調査し、資料作成。

### (2) 地域ごとのAT機運の醸成

- ・道内の各地域でAT関係者のネットワーク形成に資するイベントを開催。
- ・ATの先進事例や持続可能な観光に関する情報提供の実施。
- ・実践的な商品づくりを見据え、DMOやATコーディネーターを中心に、ATガイド、ホテル、交通事業者等が互いの情報を交換できる場とする。
- ・各開催エリアで、エクスカーションの造成検討、地元関係者等によるエクスカーションのモニタリング、エクスカーション映像の撮影等を通じて、地域におけるAT機運を醸成する。

(事業骨子)

地域ごとのネットワーキングイベント(北海道アドベンチャートラベルミーティング)の開催

- ① 外国人等によるATエクスカーションのPR映像の撮影
- ② 北海道アドベンチャートラベルミーティングの開催と動員  
全5会場:白老町、弟子屈町、ニセコ町、旭川市、帯広市
- ③ エリアごとの日帰りエクスカーション(各エリアで2本)の作り込み
- ④ 地元及び全道関係者の有志によるATエクスカーションのモニタリング・検証  
※当初、「地元及び全道関係者の有志によるATエクスカーションのモニタリング」を、夏秋に企画していたが、北海道アドベンチャートラベルミーティングの参加者から出た意見をエクスカーションに反映した方が、より各エリアのイベント参加者の機運醸成、およびATへの理解促進を図ることができるかと判断し、1月～2月にかけて開催に変更した。

### (3) 北海道全域ネットワークイベントの開催

- ・北海道のAT関係者を一堂に会したネットワーキングイベントを開催。
- ・エクスカーション、商談会、懇親会、セミナー、総会等により構成。
- ・エクスカーションの参加者は、ガイドに対しフィードバックを行い、互いの知見を共有する。

(事業骨子)

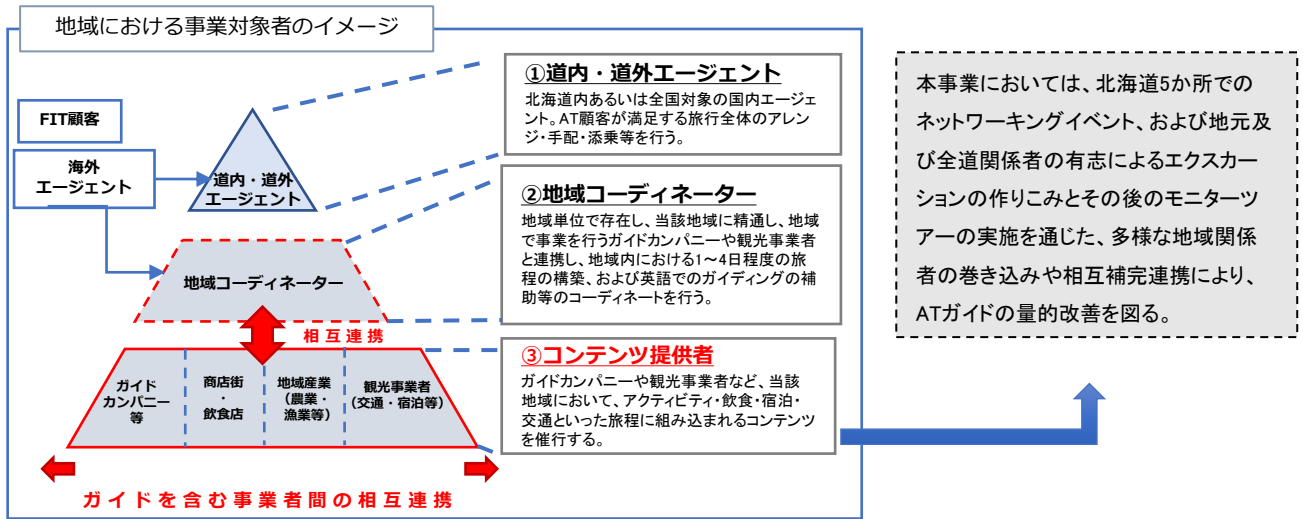
北海道全域ネットワーキングイベント(アドベンチャートラベル北海道ミーティング)の開催

- ① 札幌近郊での日帰りATエクスカーション(10～20人規模のDOA5本程度)の作り込み
- ② アドベンチャートラベル北海道ミーティングの企画・運営
  - ②-1 1日目 :日帰りATエクスカーションの運営
  - ②-2 2日目朝 :<HATA総会>の開催
  - ②-3 2日目午前 :<AT討論会>の開催  
ATWS2021に向けての機運醸成討論会
  - ②-4 2日目午後 :<AT普及セミナー>の開催  
セミナー6本、ネットワーキングスペースの運営

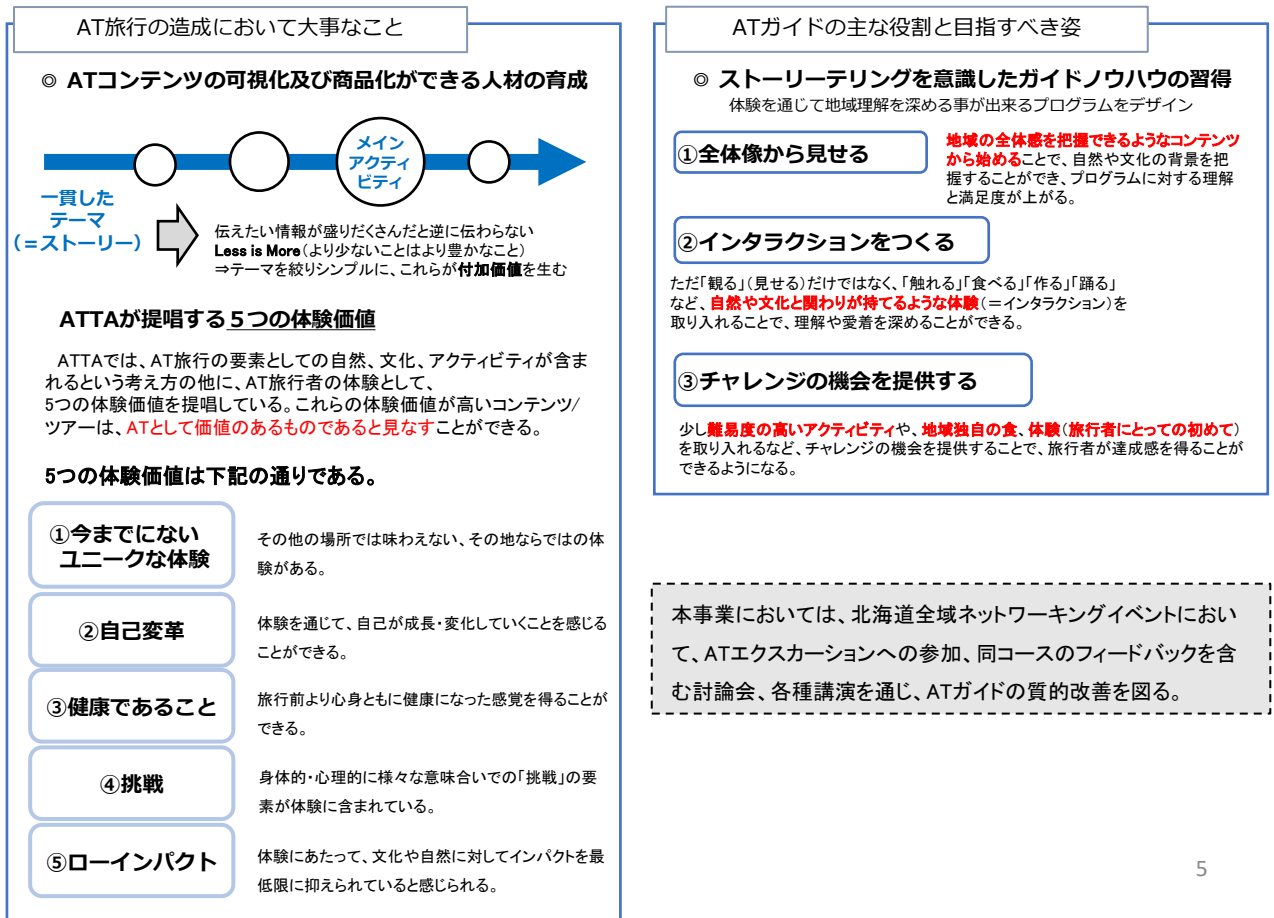


### 1-3. 事業実施における指針

① 課題1 ATガイドの量的改善 ATガイド間の連携を深めるとともに、多様な地域関係者の巻き込みを図る。



② 課題2 ATガイドの質的改善 以下2点を指針にATガイドの質的改善を図る。



## 【2】実施内容

### 2-1. 関係者への情報提供および類似事業調査

#### 2-1-1. 関係者への情報共有

円滑な業務遂行にあたり実施主体としての責任を果たすため、事前に関係する自治体、観光協会、民間事業者等、地域の関係する機関と十分な調整及び情報共有を行い、事業を実施した。具体的には会議の実施に向けて、関係者との調整の際は、前提となる資料作成を行い、十分な説明をした上で、事業の協力を仰ぐなどした。

#### 2-1-2. 類似事業調査

事業を推進していくにあたり、まずアドベンチャートラベルガイド(以下、ATガイド)やアドベンチャートラベル推進に係る事業について、過去に類似の調査がないかの調査をWEBサイトより実施した。その中で本事業と関連性が高い事業として考えられるのは下記の2事業であり、その提言を下記にまとめた。

#### ①平成31年度「訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業に係る調査」業務(アドベンチャートラベルの推進に係るガイド育成に関する実証事業) ……国土交通省北海道運輸局

「北海道内に居住するネイチャーガイド向けアンケート調査」のガイドになった経歴や入職経路の項目では、ヒアリング対象のネイチャーガイドの入職経路に共通項目はなく、「ガイドになりたい」と自分自身で決めてガイド業を始めた方は少ないという結果であった。むしろ、様々な職業を経てたどり着くケースが主流であり、いきなり「専業」での入職者は少なく、アウトドアアクティビティに興味関心がある方であればだれでもガイドになりえるということが分かった。

また、先進地域としたニュージーランドでは、ガイド事業者内では「新卒」よりも豊富な社会経験、人生経験が重要視される職種であり、職業訓練学校に行き直した後も、社会で活躍できる環境にある。

#### ②令和元年度「訪日外国人旅行者周遊促進事業(基礎調査)」アドベンチャートラベルガイド繁閑格差解消に向けた調査事業……国土交通省北海道運輸局

ガイド事業者に行ったアンケート調査結果によると、北海道内では今後、複数ジャンルの体験・アクティビティを提供したいと回答した事業者は55.6%となり、全体の約半数の事業者が体験・アクティビティの幅を広げることに関心があることがわかった。課題としては「人手が足りない」という声が一番多かった。

またさらに、地域全体のATガイド事業者間で誘客の連携を行うことも可能だと考えられる。天候が悪い場合、スノーアクティビティの提供が難しくなることも多いが、その場合の代替手段として、市内にあるレザークラフト、アクセサリ作り、陶芸教室、フラワーアレンジメントなどの他ジャンルの体験商品へと促すことで相互誘客が可能であり、地域経済への貢献も可能であるとしている。

**本事業においては、下記ポイントを関連性が高いとし、活用する。**

- ・ガイド事業者は地域内の連携を深め、幅広い体験やアクティビティを提供したいと思っている。そうすることで地域の人々と相互誘客を図ることができ、地域の経済に貢献することができる。  
→質の高い体験を顧客へ提供するためには地域内のネットワークづくりが重要である。
- ・いきなり「専業」での入職者は少なく、アウトドアアクティビティに興味関心がある方であればだれでもガイドになりえる。  
→豊富な人生経験が質の高い体験提供に繋がることから、継続的なスキルアップや幅広い知識の習得は重要である。

ネットワーキングイベントや各種エクスカージョンの実施を通し、上記ポイントでも挙げられている地域内の相互連携や新たな知識を得られるよう、企画運営を行う。

## 2-2. 地域ごとのAT機運の醸成

### (1)目的

「非ガイド層」「ATを掴み切れていないガイド層」へのATへの理解促進と地域機運の醸成のため、地域の有志やガイド、非ガイド層を巻き込んだエクスカッションを造成した。また、その様子を撮影し、地域の関係者へATの普及啓発のための動画を制作した。

### (2)概要

ATエクスカッションの動画を撮影するにあたり、その撮影内容および地域の選定については、下記を基準にした。

- ・地域イベント開催地周辺のコース。
- ・その地域ならではのストーリーとコンテンツが撮影可能。

同様に、仕様については下記の通りである。

- ・北海道アドベンチャートラベルミーティング開催地1会場につき2コースの動画と総集編を作成。
- ・ATは欧米からの顧客をメインとした市場であるため、実際のイメージが付きやすいよう外国人モデルを起用。
- ・動画1本につき、1分30秒程度

### (3)制作内容一覧

	上映会場	撮影エリア名	撮影エクスカッション名	メインアクティビティ	テーマ
1	白老	白老・登別	白老アイヌ文化と支笏洞爺国立公園内の当別温泉源巡り	アイヌ文化体験／泉源トレッキング	白老アイヌ文化と支笏洞爺国立公園内の登別温泉源巡り
2	白老	洞爺湖有珠山周辺	洞爺湖有珠山ジオパーク体感 変動する大地と共生	カヌー／ジオパークガイドツアー	変動する大地との共生
3	倶知安	ニセコ・倶知安	アウトドアのメッカニセコを 体感～Nisekoの山と川のつながり～	トレッキング／ダッキー	山と川の繋がりを体感
4	倶知安	岩宇	小さな村を巡る積丹半島 竜神伝説アドベンチャー ～日帰りガイド付き漁船クルーズ & カヤックツアー	文化体験／サイクリング	農山漁村交流
5	弟子屈	弟子屈・釧路	釧路川と温原の恵みをめぐる ツアー	カヌー、ウオーキング	釧路川の上流と下流の繋がり・ 水産資源が豊富な理由をアドベンチャーで体感
6	弟子屈	網走・小清水・斜里	網走→知床 地の果てシリエトクを目指す サイクリングツアー	畑でサイクリング／農家食事／知床 連山背景	人里から未開拓の地 世界自然 遺産・知床を目指す
7	旭川	愛別・東川	大雪山国立公園の恵みを体感するローカル サイクリングツアー	田んぼサイクリング／稲わらクラフト	大雪山の恵みと暮らす
8	旭川	美瑛	丘の街・美瑛町で農業と火山のかかわりに 触れる旅	トレッキング／フットパス	火山によってもたらされた一大農 業地帯 十勝岳ジオパーク
9	帯広	鹿追	大雪山国立公園・然別湖を水陸双方から 満喫するツアー	カヌー／フィッシング	大雪山国立公園唯一の自然湖を 山と湖の両方から体感
10	帯広	帯広周辺	農業王国・十勝で食と交流を楽しむ旅	農村交流等	人と馬と土地のストーリー
11	全会場	全道	北海道のアドベンチャートラベル	上記の総集編	上記の総集編

## 2-2-1. 胆振エリア

### 【白老】

<p>■エクスカージョン名：白老アイヌ文化と支笏洞爺国立公園内の登別温泉泉源巡り</p>	
<p>■ストーリー：一説には、温泉を薬湯として重宝していたとされるこの地の先人であるアイヌの方々に思いをはせ、自然の中の天然足湯に浸かります。知識として見聞きする又は知るだけではなく、アクティビティやガイド、出会う人々とのインタラクション(関わり合い)を通じてアイヌの世界観や自然観に触れることを目指します。</p>	
<p>■選定のポイント：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌをルーツに持つガイドによるアクティビティが可能。</li> <li>・アイヌ文化に触れることができる。</li> <li>・国立公園内の大自然の中にある天然足湯につかることができる。</li> </ul>	
<p>■撮影日：令和2年7月28日(火)</p>	
<p>■ガイド：</p> <p>【スルーガイド】 登別ゲートウェイセンター 阿部敏昭氏</p> <p>【地域の人・スポット】 かふえピラサレ 白老アイヌ民族記念広場</p>	<p>■アクティビティ：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレッキング</li> </ul>

キャプチャ	映像意図	5つの体験価値
	<p><b>ウポバイ見学</b> 北海道の先住民文化、自然観・世界について、ガイドより説明。自然と共生するアイヌの考えについて知る。</p>	<p>今までにないユニークな体験</p>
	<p><b>アイヌのお母さんの食堂でランチ&amp;交流</b> 異文化の食に挑戦。</p>	<p>挑戦 今までにないユニークな体験</p>
	<p><b>アイヌ碑を訪問</b> アイヌ碑についてガイドからレクチャーを受け、アイヌ民族の考えに触れる。</p>	<p>健康であること 自己変革</p>
	<p><b>登別 地獄谷泉源トレッキング</b> 旅の最後に地域の森と温泉を、トレッキングをしながら堪能する。</p>	<p>今までにないユニークな体験 健康であること</p>

## 2-2-1. 胆振エリア

### 【洞爺湖有珠山周辺】

<p>■エクスカージョン名：洞爺湖有珠山ジオパーク体感～変動する大地との共生</p>	
<p>■ストーリー:この地は、太古より火山と共にアイヌを含む多様な人々が生きてきた世界的にも珍しい場所であり、平成12年に噴火した際に噴火口は集落の近くだったにも関わらず死者は一人もいなかった地域。火山と共生する人々の暮らしをハイキングとカヌーを通して学ぶツアーです。</p>	
<p>■選定のポイント:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火山とともに暮らしてきた人々の営みを知ることができる。</li> <li>・火山でできたカルデラ湖である洞爺湖をカヌーを使って体感することができる。</li> </ul>	
<p>■撮影日:令和2年7月31日(金)</p>	
<p>■ガイド:</p> <p>【スルーガイド】 黒松内町観光協会 本間崇文氏</p> <p>【アクティビティガイド】 Sotoasobu 江川理恵氏 洞爺ガイドセンター 小川裕司氏</p> <p>【地域の人・スポット】 ハーバルランチ 高橋敬子氏 洞爺湖ビジターセンター、旧三恵病院遺構、有珠山ロープウェイ、三松正夫記念館、金比羅火口災害遺構散策路</p>	<p>■アクティビティ:</p> <p>ハイキング カヌー</p>

キャプチャ	映像意図	5つの体験価値
	<p>変動する大地との共生をテーマにしたユネスコ世界ジオパーク登録洞爺湖有珠山ジオパークのガイドツアー 実際に噴火の被害を受けた遺構を巡り、変動する大地とのロープウェイで有珠山へ上り、冒頭でみた病院を動かした正体は何回目かの噴火が正体なのだ、と、変動する大地との共生を感じさせる。</p>	<p>今までにないユニークな体験 自己変革 健康であること</p>
	<p>地元のレストランでヘルシーランチ 有珠山の噴火でできた土地で、畑の土づくりからハーブ栽培を始めた店主が提供する、ハーブを使った昼食を食べる。</p>	<p>健康であること</p>
		
	<p>洞爺湖カヌー より変動する大地との共生を体感できる(カルデラ湖)洞爺湖畔へ。</p>	<p>今までにないユニークな体験 健康であること</p>



## 2-2-2. 後志エリア

### 【岩宇地区】

<p>■エクスカージョン名： 小さな村を巡る積丹半島 漁船クルーズ&amp; カヤック ～日帰りガイド付き ツアー～</p>	
<p>■ストーリー: 多くの住民が漁業で生計を立てるまち・神恵内村を、地元のガイドと一緒に町に伝わる竜神伝説をたどりながら町を体感。さらにカヤックを使って、海からしか見られないニシン漁で栄えた名残を見ることで、昔からの漁業の営みを感じることができる。</p>	
<p>■選定のポイント:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイド同行で町を巡ることによって、町のコミュニティに入ったかのような体験が可能。</li> <li>・漁業で栄えた町に残る遺構をアクティビティ(シーカヤック)で見に行く体験ができる。</li> </ul>	
<p>■撮影日: 令和2年8月18日(火)</p>	
<p>■ガイド:</p> <p>【スルーガイド】 IWANAI UNITED 目黒沙弥氏</p> <p>【アクティビティガイド】 遊人館 尾形信氏 高栄丸 高田船長</p> <p>【地域の人・スポット】 神恵内巖島神社 勝江寿司 店主 ふくろま 木滑氏</p>	<p>■アクティビティ:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁船クルーズ</li> <li>・シーカヤック</li> </ul>

#### キャプチャ

#### 映像意図

#### 5つの体験価値



**竜神岬を見ながら村に伝わる竜神伝説の紹介**  
ツアーのメインテーマの説明(視覚的にも)。竜神岬、竜神伝説。

今までにないユニークな体験



**漁船クルーズ(釣り)**  
漁港から漁船クルーズへ。海からしか見られない、秘境感のあるシシャモナイの滝や、地層がむき出しの景観で釣り。また漁業で栄えた町をガイドと町歩き。地元の人に愛される寿司屋で昼食。

今までにないユニークな体験  
挑戦



**ふくろまシーカヤック**  
地域の誇りであるニシン漁で栄えたころ(道内一のニシン漁獲量)の跡を今に残す、ふくろまを目的地にしたエコな移動手段のシーカヤック。ふくろまは、とれすぎたニシンを保管しておくための、天然の冷蔵庫だった。

今までにないユニークな体験  
挑戦  
ローインパクト



## 2-2-2. 後志エリア

### 【ニセコ・倶知安】

<p>■エクステージョン名：アウトドアのメッカニセコを体感～Nisekoの山と川のつながり～</p>	
<p>■ストーリー：ニセコ連峰の主峰・アンヌプリはアイヌ語で「切り立った崖とその下に川がある山」を指す。ニセコ地区は山の名前にも示される通り、川と山の繋がりが深い地域であり、それをトレッキングとダッキー、釣りを通して体感する。同様に、火山と川の恵みによって生み出された食を堪能する。</p>	
<p>■選定のポイント：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティビティを通して「アンヌプリ」という言葉の語源を体感できる。</li> <li>・世界で活躍してきたシェフによる、地域の食材を活用した、この地域ならではの食を体験できる。</li> <li>・山と川、そして地域の食の関係をガイドの案内により感じることができる。</li> </ul>	
<p>■撮影日：令和2年7月29日(水)</p>	
<p>■ガイド：</p> <p>【スルーガイド】 通訳案内士 荒木慶子氏</p> <p>【アクティビティガイド】 ニセコアウトドアセンター 南重光氏 Niseko flyfishing Hugo Tremolino氏 ニセコアドベンチャーセンター 原田 夢 氏</p> <p>【地域の人・スポット】 杏ダイニング 前田シェフ</p>	<p>■アクティビティ：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレッキング</li> <li>・フライフィッシング</li> <li>・ダッキー</li> </ul>

キャプチャ	映像意図	5つの体験価値
	<p><b>アンヌプリ登山</b> 美しい羊蹄山と眼下に広がるニセコ・尻別川を眺め、旅を始める。</p>	<p>挑戦 ユニークな体験 自己変革 ローインパクト</p>
	<p><b>フライフィッシング</b> 周囲の山が水源のニセコの川で、その豊かさを知るフィッシング。</p>	<p>挑戦 自己変革 ローインパクト</p>
	<p><b>食(杏ダイニングニセコ)</b> 北海道やニセコのものを使った、地域の食。</p>	
	<p><b>山と川のつながりを感じる“ダッキー”</b> 羊蹄山の湧き水が豊富湧き出る尻別川で山と川のつながりを感じながらのダッキー。</p>	<p>挑戦 自己変革 ローインパクト</p>

## 2-2-3. 釧路・オホーツクエリア

### 【弟子屈・釧路】

<p>■エクサカーション名：釧路川と湿原の恵みをめぐるツアー</p>	
<p>■ストーリー: 希少な動植物の宝庫と豊富な養分を海に排出する役割を持つ釧路湿原。源流部の屈斜路湖から太平洋までの釧路川流域をたどりながら、身体的アクティビティや漁業者とのふれあいを通して、釧路湿原がもたらす恵みについて知る。</p>	
<p>■選定のポイント:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・釧路湿原国立公園を川から、木道からなど多方面から知ることができる</li> <li>・乾燥化が進む釧路湿原や希少な動植物に触れることで自らの行動を顧みることができる。</li> <li>・川上から川下(太平洋)を様々な手段で楽しむことができる。</li> </ul>	
<p>■撮影日:令和2年9月2日(水)</p>	
<p>■ガイド:</p> <p>【アクティビティガイド】 ノースイーストカヌーセンター 平塚一明氏 釧路湿原やちの会 岩間 喜美子氏 アイコム 佐久間氏</p> <p>【地域の人・スポット】 カキキン 中島均氏</p>	<p>■アクティビティ:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カヌー</li> <li>・ウォーキング</li> <li>・クルーズ</li> </ul>

キャプチャ	映像意図	5つの体験価値
 	<p><b>和琴半島ボルケーノカヌー</b> 釧路川源流部の火山を間近に感じる場所にカヌーで上陸。かつて生物がいなかった上流部で地元の野菜蒸しを食べのんびり過ごす。</p>	<p>挑戦 今までにないユニークな体験 ローインパクト</p>
	<p><b>釧路湿原 散策</b> よりたくさんの養分を釧路川に含ませる釧路湿原の働きを、ガイドの案内で体感しながら学ぶ。</p>	<p>健康であること ローインパクト</p>
	<p><b>厚岸「牡蠣場」で漁師とふれあい</b> 湿原の恵みを含んだ牡蠣を、漁師から殻剥きのコツを学んで食べる。</p>	<p>健康であること 今までにないユニークな体験</p>
	<p><b>釧路湾サンセットクルーズ</b> 釧路の産業が一目でわかる港のクルーズ。サンマ漁船の水揚げ等がみられる。</p>	<p>今までにないユニークな体験</p>
	<p><b>末広町グルメホッピング</b> 新鮮で魚種豊富な釧路の炉端を楽しみ、豊かな太平洋の海を体感する。</p>	<p>今までにないユニークな体験 健康</p>



## 2-2-3. 釧路・オホーツクエリア

【網走・小清水・斜里】

<p>■エクスカージョン名： 網走→知床 地の果てシリエトクを目指す サイクリングツアー</p>	
<p>■ストーリー：地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出が少ないアクティビティで移動し、地球温暖化の影響を受ける流氷と、さらにその影響を受ける漁業について知ることができる。また地域をサイクリングで巡ることで、砂浜・丘陵地帯から山岳地帯への変化、人里から野生生物の住処への環境の変化を直に体感する。</p>	
<p>■選定のポイント：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なるべく動力を活用しない手段、かつ地域をよく体感できる手段で地域を巡ることができる。</li> <li>・人の手が入っている(畑作などの)風景から、開拓ができなかった国立公園の風景への変化がわかる。</li> <li>・一次産業の現場を訪れ、そこに係る人々と触れ合うことができる。</li> </ul>	
<p>■撮影日：①令和2年7月4日(土)5日(日)②令和2年9月17日(木)</p>	
<p>■ガイド：</p> <p>【アクティビティガイド】 コネクトリップ 軍司 昇氏 知床サイクリングサポート 西原重雄氏 小清水町観光協会 湯浅史美氏</p> <p>【地域の人・スポット】 大西農園 大西氏 来運神社</p>	<p>■アクティビティ：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カヤック</li> <li>・サイクリング</li> </ul>

キャプチャ	映像意図	5つの体験価値
	<p><b>網走湖カヤック</b> 動力を活用しないカヤックで、夏はシジミ漁、秋は秋鮭の遡上、冬場にワカサギ漁がおこなわれるほど豊かな水資源を擁す網走湖を巡る。</p>	<p>挑戦 今までにないユニークな体験 自己変革 ローインパクト</p>
	<p><b>知床までのサイクリング</b> 動力を活用しないサイクリングで、知床まで向かう。畑から未開の自然の変わり目を感じる。</p>	<p>挑戦 自己変革 ローインパクト</p>
	<p><b>地元野菜のバックヤードツアー</b> サイクリングの途中で、地元の人のお畑にお邪魔し、収穫体験。農家の人とのふれあい。</p>	<p>自己変革 健康であること</p>
	<p><b>斜里岳の伏流水(来運神社で水汲み)</b> 霊験あらたかな来運神社の湧き水で一休み。</p>	<p>健康であること</p>
	<p><b>知床までのサイクリング(知床へ到達)</b> 人が立ち入ることができなかった地・流氷の南限の知床へ到達。</p>	<p>挑戦 自己変革 ローインパクト</p>

## 2-2-4. 上川エリア

### 【愛別・東川】

<p>■エクスカージョン名：大雪山国立公園の恵みを体感するローカルサイクリングツアー</p>	
<p>■ストーリー：大雪山に降る大量の雪は、春に豊富な雪解け水をもたらし、このエリアを一大農業地にした。サイクリングを通して、山間の地形と田畑の様子を観察しながら伏流水を汲んで一休み。またサイクリングの目的地である田んぼ農家の家で田んぼについて学んだあとは、収穫した後に残る稲わらを活用した手作り体験をするなど、山と共に暮らす人々の生活に触れるツアー。</p>	
<p>■選定のポイント： ・大雪山の雪解け水をテーマに、田んぼ・そこで暮らす人々と野生動物との関わりを結び付けることができる。</p>	
<p>■撮影日：令和2年6月20日(土)</p>	
<p>■ガイド： 【アクティビティガイド】 アサヒカワライド 杉浦哲也氏</p> <p>【地域の人・スポット】 成田農園 ハルキッチン 岩淵亜夕子氏</p>	<p>■アクティビティ： ・サイクリング</p>

キャプチャ	映像意図	5つの体験価値
	<p><b>田んぼのサイクリング</b> 動力を活用しないサイクリングで、大雪山系の山々を目の前に、田んぼの町東川をめぐる。</p>	<p>挑戦 今までにないユニークな体験 自己変革 ローインパクト</p>
	<p><b>大雪山の田んぼのサイクリング</b> 大雪山の山々の伏流水を汲んで、一休み。これらが人々の生活の水であり、産業に欠かせない水であることを学ぶ。</p>	<p>健康であること</p>
	<p><b>ハルキッチン ハンターとの語らい</b> 山間に暮らす人だからこそ、自然の営みと共にあることをハンターからお話を聞く。</p>	<p>今までにないユニークな体験 自己変革</p>
	<p><b>お米農家さんと田んぼの散策</b> 水が欠かせない田んぼを世話し続ける農家との語らい。エコシステムである田んぼについて学ぶ。</p>	<p>今までにないユニークな体験 自己変革 健康であること ローインパクト</p>
	<p><b>稲わらクラフト体験</b> 収穫時に残る稲わらを活用したクラフトでモノづくり体験。</p>	<p>今までにないユニークな体験 ローインパクト</p>

## 2-2-4. 上川エリア

### 【美瑛】

<p>■エクスカージョン名：丘の街・美瑛町で農業と火山のかかわりに触れる旅</p>	
<p>■ストーリー：美瑛町とその近郊の地域に住む人々は、度重なる十勝岳の噴火により被害を受けつつも、先祖が開拓した土地とその独特な丘の上に広がる牧歌的な畑作風景を守りながら生活を営んでいる。その独特な地形をガイド同行で巡りながら体感する。</p>	
<p>■選定のポイント：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スルーガイドがしっかりと存在し、ストーリーを語ることができる。</li> <li>・火山とともに暮らしてきた人々の営みを知ることができる。</li> <li>・一次産業とアクティビティがわかりやすくストーリーで繋がっているツアーである。</li> </ul>	
<p>■撮影日：令和2年7月14日(火)15日(水)</p>	
<p>■ガイド：</p> <p>【スルーガイド】 丘のまちびえいDMO 小倉博昭氏</p> <p>【地域の人・スポット】 丘のまち郷土学館・美宙 桜間祐紀氏 畑DEフットパス 大波農園 大波太郎氏</p>	<p>■アクティビティ：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキング</li> </ul>

キャプチャ	映像意図	5つの体験価値
	<p><b>郷土資料館のゲートウェイプログラム</b> 丘のまちと言われる美瑛の所以について、郷土資料館でレクチャー。</p>	<p>ユニークな体験 自己変革 ローインパクト</p>
	<p><b>畑DEフットパス</b> 火山の影響でできた畑に適した土と、丘陵風景をフットパスを歩きながら体感する。</p>	<p>健康 自己変革 ローインパクト</p>
	<p><b>美瑛神社参拝</b></p>	<p>ユニークな体験</p>
	<p><b>十勝岳安政火口トレッキング</b> 美瑛を丘のまちにした十勝岳に登る。今なお噴煙や温かさを感じる安政火口に訪れる。</p>	<p>挑戦 ユニークな体験 自己変革 ローインパクト</p>
	<p><b>火山の様子と畑の様子の対比</b> どちらも火山の影響でできた風景の対比。</p>	<p>ユニークな体験 自己変革</p>

## 2-2-5. 帯広エリア

### 【鹿追】

<p>■エクスカージョン名：大雪山国立公園・然別湖を水陸双方から満喫するツアー</p>	
<p>■ストーリー：十大雪山国立公園で唯一の自然湖である然別湖。然別火山群の活動により誕生したとされ、エゾナキウサギ等の野生動物や高山植物が生息しており同公園内の特別保護区に指定されている。また、然別湖を越えて歩きでしか到達できない秘湖・東雲湖も隣接しているなど、火山が生み出した独特な自然環境をカヤックやハイキングなどの多様なアクティビティで体感するツアーである。</p>	
<p>■選定のポイント： ・然別湖特有の自然を、水陸両方から楽しむことができる。</p>	
<p>■撮影日：令和2年6月28日(日)、9月15日(火)</p>	
<p>■ガイド： 【アクティビティガイド】 然別湖ネイチャーセンター 島田和明氏、 石川昇司氏 Adventure Hokkaido 合同会社 吉川彩香氏、 荒井一洋氏  TREE LIFE 荒田康仁氏 【地域の人・スポット】 Cafe bubanchi</p>	<p>■アクティビティ： ・カヤック ・トレッキング</p>

キャプチャ	映像意図	5つの体験価値
	<p><b>然別湖カヤックツアー</b> 大雪山国立公園唯一の自然湖をカヤックで楽しむ。</p>	<p>健康であること ローインパクト</p>
 	<p><b>東雲湖ネイチャートレッキング</b> カヌー・徒歩でしかアプローチできない、北海道三大秘湖。然別湖特有の自然を体感する。</p>	<p>健康であること 今までにないユニークな体験 ローインパクト</p>
	<p><b>地元食材のランチ</b> ガイドのなじみの地元の食材にこだわったカフェでランチ</p>	<p>健康であること ローインパクト</p>
 	<p><b>白雲山登山</b> 然別湖を陸(山)から確認できる白雲山の登山。</p>	<p>挑戦 健康であること ローインパクト</p>



## 2-2-5. 帯広エリア

### 【帯広】

<p>■エクスカージョン名： 農業王国・十勝で食と交流を楽しむ旅</p>	
<p>■ストーリー: 十勝と言えば日本の食糧庫と言われるほど、農業生産が盛んな地域。その礎を気づいたのも開拓時に汗を流した先人たちの苦労があってこそ。開拓時に人々の生活と作業を支えた馬搬から始まり、十勝の農業から現代の食を楽しむツアー。</p>	
<p>■選定のポイント:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・十勝の主幹産業である大規模農業を、始まりから口に入れるところまでを体感できる</li> <li>・現地ガイドカンパニーの商品としても一部が成立している</li> </ul>	
<p>■編集日: 令和2年10月20日(火)-21日(水)</p>	
<p>■ガイド:</p> <p>【アクティビティガイド】 いただきますカンパニー 大嶋 成美氏、岡野香子氏</p> <p>【地域の人・スポット】 道下広長農場 道下公浩氏</p>	<p>■アクティビティ:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流体験</li> </ul>

キャプチャ	映像意図	5つの体験価値
	<p><b>ガイドとのミート／馬搬体験</b> 開拓時の人々の生活を支えた馬搬。ガイドからレクチャーを受けて、実際に体験をしてみます。</p>	<p>挑戦 今までにないユニークな体験 自己変革 ローインパクト</p>
	<p><b>畑ピクニック</b> 時期によって異なるピクニック会場。地域の現代の農業に直に触れ、その食を楽しみます。</p>	<p>今までにないユニークな体験 健康であること ローインパクト</p>
	<p><b>夜の街ぶら</b> 現在の十勝の食を体験する、夜のプログラム。十勝の街をガイドとぶらり巡りながら、地元の人との交流を楽しみます。</p>	<p>今までにないユニークな体験 挑戦</p>

## 2-3. 地域ごとのネットワーキングイベントの開催

### 2-3-1 目的

これまで観光に携わっていない「非ガイド層」を中心としたネットワークの形成と、「ATを掴み切れていないガイド層」のATへの理解促進、および地域機運の醸成を目的として開催した。

### 2-3-2 実施概要

開催場所の選定にあたっては、全道各地からの参加が比較的容易であり、かつATの実践者や、農家・漁家などの非ガイドかつ潜在的に興味関心がありそうな層が多いと思われる5地域を選定した結果、下記5か所となった。また各会場の講師については、全道のAT実践者を選定し、参加者に他のエリアの実践例を学ぶことができるよう、その講師が普段事業エリアとして設定していないエリアの会場での講演を依頼した。

会場名	日時	開催場所	講師
白老会場	令和2年 10月6日 (火)	白老コミュニティセンター	北海道アドベンチャートラベル協議会 会長 荒井 一洋 氏
弟子屈会場	令和2年 10月8日 (木)	釧路圏摩周文化センター	北海道アドベンチャートラベル協議会 会長 荒井 一洋 氏
ニセコ会場	令和2年 10月13日 (火)	ニセコ中央倉庫群	通訳案内士／英語自然ガイド 馬上 千恵 氏
旭川会場	令和2年 10月15日 (木)	旭川商工会議所	鶴雅リゾート株式会社取締役 アドベンチャー事業部部長 高田 茂 氏
帯広会場	令和2年 10月22日 (木)	北海道新聞帯広支社	一般社団法人黒松内町観光協会 事務局長 本間 崇文 氏

ATの実践事例や持続可能な観光に関する情報提供、及び実践的なモデルプランづくりを見据え、互いの情報を交換できる場として機能させるべく、実践例としての前述の動画撮影、実践者の講演、理解促進のためのワークショップの3本立てとし、企画・運営を行った。

実施内容としては、下記の内容を基本にイベントを組み立てた。

#### ①ATの基礎知識

※白老会場、弟子屈会場は荒井氏に講演と共にお話いただく。

#### ②AT実践者の講演(ATを身近に感じてもらえるような事例紹介)

#### ③ATの取り組みに関する情報提供や、地域モデルプランの映像上映

#### ④ATのモデルプラン作成に関するワークショップ

タイムテーブル	13	14	15	16	17	18
白老会場		講演(50分)①②	③ 映 動 15 画 分 上	④ 休 10 憩 分	ワークショップ～全体発表 今後の案内(125分)④	閉会
弟子屈会場		講演(50分)①②	③ 映 動 15 画 分 上	④ 休 10 憩 分	ワークショップ～全体発表 今後の案内(125分)④	閉会
ニセコ会場	① 供 10 報 分 提	講演(40分)②	③ 上 動 15 映 画 分 ③	④ 休 10 憩 分	ワークショップ～全体発表 今後の案内(125分)④	閉会
旭川会場	① 供 10 報 分 提	講演(40分)②	③ 上 動 15 映 画 分 ③	④ 休 10 憩 分	ワークショップ～全体発表 今後の案内(125分)④	閉会
帯広会場	① 供 10 報 分 提	講演(40分)②	③ 上 動 15 映 画 分 ③	④ 休 10 憩 分	ワークショップ～全体発表 今後の案内(125分)④	閉会

参加者の募集方法としては、北海道運輸局からの各行政や観光協会、DMOなどへの告知文のメール配布の他、これまでに観光による地域づくりや体験型観光に携わってきた地域関係者へのメールや電話、対面での案内を行った。

## 2-3.地域ごとのネットワーキングイベントの開催

### 2-3-3 講師略歴

#### ◆白老会場 ・ 弟子屈会場

##### 北海道アドベンチャートラベル協議会(HATA) 会長 荒井一洋氏



1977 年生まれ。札幌市出身。ニュージーランド・Lincoln University・Bachelor of Parks, Recreation, Tourism Management(国立公園管理と自然保全専攻)を2000年に卒業。2010年、北海道大学大学院・観光創造専攻修士課程にて「エコツアーのコスト構造とシャドーワーク」について研究。北海道東川町に移住し、2001年に「大雪山自然学校」を設立し、2015年にNPO法人化。エコツアーや大雪山国立公園・旭岳エリアの自然保護対策事業を行い、「利用者による環境保全の仕組みづくり」に取り組む。

#### ◆ニセコ会場

##### 通訳案内士／英語自然ガイド 馬上千恵氏



福島県いわき市出身、札幌市在住。帯広畜産大学 生物資源化学科を卒業し、北海道森林管理局で国有林の管理・経営、林業の普及啓発、森林インストラクターとして森林環境教育に携わる。2005年にオーストラリアにてTESOL(英語教授法)資格を取得、英語講師として英語レッスン提供を開始。全国、全道で観業向けの『おもてなし英会話セミナー』を行い、森林インストラクターの経験を生かした「森林講座」や、英語講師&英語ガイドの養成講座など、「英語×接客×観光」が織りなすユニークな講座を展開している。

#### ◆旭川会場

##### 鶴雅リゾート株式会社取締役アドベンチャー事業部 部長 高田茂氏



1951年生まれ。鶴雅リゾート海外事業部部長。あかん湖鶴雅アドベンチャーベースSIRIの事業部長でもあり、ガイドとしても活躍している。地元のフィールドを知り尽くしたフィッシングガイドの第一人者。全日本ノルディック・ウォーク連盟に所属しており、ウォーキングライフマイスター、SAJスキー検定1級、などの資格も保有している。

#### ◆帯広会場

##### 一般社団法人黒松内町観光協会 事務局長 本間崇文氏



小樽市出身、北海道黒松内町在住。大学を卒業後、イギリスに10年間滞在し、美術とメディアコーディネーターとしてロケ地の紹介や、ロンドンの旅行会社で添乗員として勤務。日本へ帰国し、3年間豊富町で自然の保全活動に勤しんだ後、2011年に黒松内町に移住し、黒松内町観光協会を社団法人化。現在は黒松内町観光協会会長として移住促進や観光資源の開発に取り組む。



## 2-3.地域ごとのネットワーキングイベントの開催

## 2-3-4 事前告知・事前配布資料

## ① 事前告知

主催：国土交通省北海道運輸局

～北海道におけるアドベンチャートラベルのつながりづくり～  
**北海道アドベンチャートラベル  
ミーティング**

北海道運輸局では、自然のなかでのアクティビティや異文化体験を通して、自分の内面が変わっていくような旅のスタイル「アドベンチャートラベル」(AT)を北海道に相応しい新たな旅のスタイルとして定着させるために推進しています。ATは国内の方も含めて世界中の誰もが楽しめるものであり、より皆様のご理解ご協力が必要になると考えております。

そこでこの度、ATをご存じない方も含めて関係者間のネットワーク形成を目的として、「北海道アドベンチャートラベルミーティング」を開催することとしました。ATの実践事例や持続可能な観光に関する情報提供、及び実践的なモデルプランづくりを見据え、地域の魅力を作っている方やガイドを中心に、宿泊施設、交通事業者、観光地域づくり法人(DMO)やコーディネーターの皆様等が互いの情報を交換できる場として開催いたします。道内各地でのネットワーク構築のための貴重な機会となりますので、ぜひご参加ください。

※アドベンチャートラベル等については、裏面に説明を記載しております。  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加人数を制限いたします。  
※参加人数制限を超えて皆様をご希望の方、またはイベント開催物にお越しになれない方のために、オンラインZoom Meeting 利用による参加も可能といたします。

**開催概要**

**<日時・場所>**

①令和2年10月 6日(火) 14:00～18:00	【白老会場】 ▶白老町コミュニティセンター 201号室
※申込締切：9月29日(火)	北海道白老郡白老町本町1丁目1-1
②令和2年10月 8日(木) 14:00～18:00	【弟子屈会場】 ▶釧路圏摩周観光文化センター 視聴覚室
※申込締切：10月 1日(木)	北海道川上郡弟子屈町摩周3丁目3-1
③令和2年10月13日(火) 14:00～18:00	【ニセコ会場】 ▶ニセコ中央倉庫群 1号倉庫
※申込締切：10月 6日(火)	北海道紋別郡ニセコ町字中央通60-2
④令和2年10月15日(木) 14:00～18:00	【旭川会場】 ▶道北経済センター 2F大ホール
※申込締切：10月 8日(木)	北海道旭川市常盤通1丁目
⑤令和2年10月22日(木) 14:00～18:00	【帯広会場】 ▶北海道新聞帯広支社 会議室
※申込締切：10月15日(木)	帯広市西4南9丁目1番地

参加費は無料です。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加人数制限があります。  
詳しくは裏面の申込書をご覧ください。

**プログラム(予定)**

13:30 開場  
14:00 開会、主催者挨拶  
14:10 トーク「AT実践者からのメッセージ」  
**テーマ ～ATの実践事例、持続可能な観光に関する情報提供ほか～**  
講師：HATA(北海道アドベンチャートラベル協議会)会長 荒井一洋氏  
①10月6日(火) 白老会場 ②10月8日(木) 弟子屈会場  
講師：通訳案内士/英語自然ガイド 馬上千恵氏  
③10月13日(火) ニセコ会場  
講師：観霧リゾート株式会社 取締役 アドベンチャー事業部長 高田茂氏  
④10月15日(木) 旭川会場  
講師：一般社団法人黒松内町観光協会 事務局長 本間崇文氏  
⑤10月22日(木) 帯広会場  
15:00 地域モデルプランの映像上映ほか  
15:15 アドベンチャートラベルのモデルプラン造成に関するワークショップ  
テーマ ～ATトラベラーに対応した地域ならではのモデルプランの造成～  
進行：北海道宝島旅行社 代表取締役社長 鈴木 宏一郎  
17:30 ネットワーク構築、名刺・情報交換会  
18:00 閉会



## 2-3.地域ごとのネットワーキングイベントの開催

### ① 事前告知

# ～北海道におけるアドベンチャートラベルのつながりづくり～ 北海道アドベンチャートラベル ミーティング

#### ●アドベンチャートラベル（以下AT）とは

欧米を中心に急速に発展している旅行形態で、アドベンチャートラベルにおける世界最大の組織であるATTA（Adventure Travel Trade Association）による定義では「アクティビティ、自然、文化体験の3要素の内、2つ以上で構成される旅行」とされる。

日本では、2016年頃からAT推進に関する取組がなされており、地域の自然の環境保護と活用を両立させつつ、時代の新旧を問わないその地域の庶民の生活様式全般までを含む地域そのものを、アクティビティを通じて、地域の人々と双方向でふれあうことで、旅行者自身が新しい・多様な価値観に触れ、自己変革を楽しむもの、と解釈されている。

#### ●どんな人たちの旅行スタイルなのか？

ATTAの調査によると、およそ80%が四年制大学卒業以上の学歴を持ち、約7割が年収75,000USD（1ドル100円で換算した場合日本円で年収750万円）以上の年収水準（アメリカ平均年収は中央値で56,000USD程度）となっており、高学歴かつ所得水準の高い層がAT顧客。また、一定以上の所得水準ではあるものの、高級品や贅沢品（Having）を好むのではなく、旅行先で異文化・自然・アクティビティを軸として、どのような経験（Being）ができるかを重視し、その土地に根付いた伝統文化やコミュニティに関心が高く、旅行中には異文化交流を楽しむことを重視するとされる。

参考：2019年度「訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ作成事業」（2-1）  
アドベンチャートラベルコンテンツ作成事業最終報告書

## 参加申込書

下記、申込書に必要な事項を記入のうえ、FAXかメールにてお申し込みください。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加人数制限があります。各会場の申込締切以降に、ご参加の可否についてご連絡を差し上げます。この事務局からの連絡をもって参加受付となりますので、ご了承ください。

※電話番号かメールアドレスのいずれかを必ずご記入ください。

**事務局：株式会社北海道宝島旅行社 観光地域づくり部 担当：常井、雨池、小浜、斉藤**  
**TEL: 011-252-2115 FAX: 011-252-2117**  
**E-mail: saito@hokkaido-takarajima.com**

ご希望の会場に✓をご記入ください

①10/6 白老会場 ②10/8 弟子屈会場 ③10/13 ニセコ会場 ④10/15 旭川会場 ⑤10/22 帯広会場

会社名/ 所属団体名	TEL	
フリガナ	代表者メールアドレス	
フリガナ	役職	現地参加 or オンライン
フリガナ	役職	現地参加 or オンライン
フリガナ	役職	現地参加 or オンライン

## 2-3.地域ごとのネットワーキングイベントの開催

### ② 参加者 事前ワークシート

ATのモデルプラン造成に関するワークショップのネタ出しを効率よく行うため、参加者に対し事前にワークシートを送付し、当日持参いただいた。

### アドベンチャーミーティング 事前ワークシート

【問い①】「自然」「文化」「身体的アクティビティ」のいずれかまたは複数に関係するもので、あなたの地域でおススメしたいものは何ですか？

【問い②】 それを選んだ理由はなんですか？

※今回事前ワークシートや当日のワークショップを含めて出して頂いたアイデアをもとに、冬(1月頃目途)にモニターツアーの実施を予定しております。  
そのため、今回は冬についてのアイデアは特に歓迎です♪

## 2-3-5 実施事項(当日共通)

### ①新型コロナウイルス感染拡大防止のために施した内容

- 1 アルコール消毒液の設置
- 2 館内消毒・換気・広めの席配置
- 3 運営関係者の検温・マスク、フェイスシールドの着用の徹底・手指の消毒
- 4 ご来場者の検温・マスクの着用・手指の消毒
- 5 入場管理の徹底

全参加者(出展者・来場者・その他関係者等)の氏名、連絡先を把握し、必要な際は保健所への連絡に使用する。

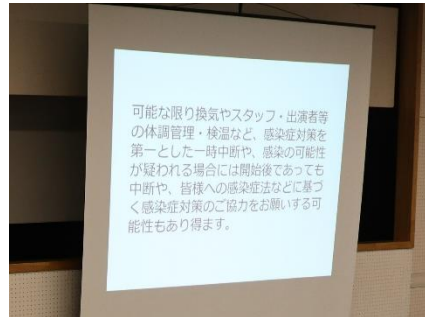
### 6 ソーシャルディスタンスの確保

会場におけるレイアウト調整(密を避けるレイアウト)

## 【新型コロナウイルス感染拡大対策防止の様子】



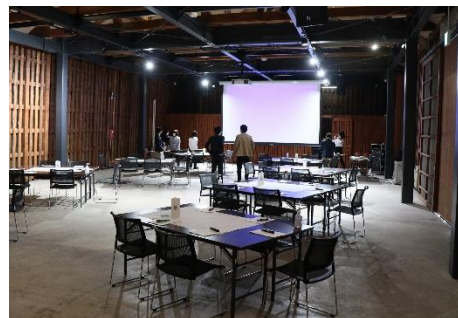
受付スタッフはフェイスシールドとマスクの着用を必須とし、参加者にも入場時の手指の消毒、マスクの着用の徹底を促した。



イベント開始前には、新型コロナウイルス感染拡大防止対策についての説明をスライドに投影。



グループワークの発表時には、発表者のみスピーカー席で発表を行った。



グループ同士の間隔と、席の間隔を広くとり、配席を行った。











④ ATに関する情報提供資料 ※白老、弟子屈会場では荒井氏の講演に組み入れた。



アドベンチャートラベルガイドの質的・量的改善に関する実証事業  
北海道アドベンチャートラベル ミーティング

## アドベンチャートラベルとは

2020年10月8日(木)

北海道アドベンチャートラベル協議会 会長  
荒井一洋

arai@daisetsu.or.jp

配布資料は  
こちらからダウンロード!



<https://xfs.jp/tvEHgN>

### 自己紹介 荒井 一洋

**アジアエコツーリズムネットワーク(AEN) 理事**  
アジア・Ausie・NZ 18か国・持続可能なエコツーリズム  
GSTC(Global Sustainable Tourism Council)公認トレーナー

**日本エコツーリズムセンター(Ecotourism Japan) 理事**  
GSTC(持続可能な観光の国際基準)を日本に導入

**北海道アドベンチャートラベル協議会(HATA) 会長**  
アドベンチャートラベラー受入体制を整える(英語ガイド)  
海外へのプロモーション

**Adventure Hokkaido ガイド**  
サイクリング・ハイキングを中心としたアドベンチャーツアー  
を英語でガイドを行う旅行会社。

**大雪山自然学校 代表**  
北海道東川町。2001年設立。エコツアー・子供キャンプ  
国立公園管理・森のようちえん・ホースセラピー



### Pre-Summit Adventureを 作ってみた

その商品開発のポイントと意図について  
解説してみます!

北海道アドベンチャートラベル協議会 会長 荒井一洋  
arai@daisetsu.or.jp

### ATが求めていること

受入地域は  
何を準備したら  
いいの?

→ ATTAが薦める  
5つの体験価値



Category	Percentage
Transformation	23%
Expanded Worldview	17%
Learning	14%
Nature & Discovery	12%
Mental Health	10%
Self-Improvement	8%
Connection	7%
Meaningful Studies	5%
Physical Health	5%
Unique Experiences	5%



**THE NOVEL AND UNIQUE** (自己変革)  
**CHALLENGE** (挑戦)  
**TRANSFORMATION** (変革)  
**WELLNESS** (心身が満たされている状態)  
**IMPACT** (ローインパクト)

※「参加者が何をやるか」より「参加者は何を得られるか」  
※アクティビティはこれまでの取り組みでOK

ATTA体験評価項目	地域側(企画者)が準備すべきこと
Infrastructure Appropriateness	<b>インフラの適切さ</b> : 場所の雰囲気と旅行者ニーズに合った「適切なインフラ整備」がなされている
Quality of Enjoyment	<b>楽しみの品質</b> : 旅行者にとって楽しいと感じられること
Quality of Conservation	<b>保護の品質</b> : 自然的文化的保全がなされていること。またその努力がなされていること
Uniqueness	<b>特徴的である</b> : その地域ならではのユニークな体験であること
Authenticity	<b>ほんものであること</b> : 旅行者のために作られたのではなく、そこに元来あるもの・こと
Local Benefits	<b>地域への恩恵</b> : 地域社会と経済への恩恵があること
Readiness	<b>準備が整っていること</b> : 地域の機運が醸成され、物理的にも受け入れ準備ができていないこと

### Around Daisetsu 6-Day Guided Hiking Tour

大雪山は火山地帯。  
火山によって高山帯、湿原、湖、針葉樹や広葉樹林などの環境が作られた。  
そんな環境にアイヌが暮らし、今ではその環境を活かした農業も営まれている。

Day1 「ようこそAinu Mosir 北海道へ。北海道は先住民族アイヌと日本人が暮らし、このチームで、楽しく個々の目的を達成できる丁寧な旅をしたいと思っている。一週間よろしくね!」  
旭川川村カネトアイヌ記念館と高山ハイキング

Day2 「高山帯: 麗くも美しい自然、高山帯で自分自身にチャレンジ!」  
火山、雪、高山植物、紅葉の8時間 旭岳黒岳縦走登山

Day3 「渓谷: 火山が川に250mも削られた渓谷」  
霧雲峡ラフティング

Day4 「湿原: 寒くて貧栄養の影響、高層湿原と沼とヒグマ」  
大雪山高層湿原ハイキング

Day5 「岩場: 火山による地殻変動。岩場とナキウサギとオショロコマ」  
然別湖と白雲山 登山

Day6 「農業: 土地の特性を活かした農業。痩せた、酸性的な土壌に適した農作物」  
新穂そば畑とそば打ち

④ ATに関する情報提供資料 ※白老、弟子屈会場では荒井氏の講演に組み入れた。

<p><b>Day1</b> 川村カチアイヌ記念館 ランチ&amp;北海道を代表する樹木10種ハイキング</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>体験価値</th> <th>準備すべきこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自己変革</td> <td>★インフラの適切さ</td> </tr> <tr> <td>★今までにない特徴ある体験</td> <td>★楽しみの品質</td> </tr> <tr> <td>挑戦</td> <td>保護の品質</td> </tr> <tr> <td>心身が満たされている状態</td> <td>特徴的である</td> </tr> <tr> <td>ローインパクト</td> <td>ほんものであること</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地域への恩恵</td> </tr> <tr> <td></td> <td>準備が整っていること</td> </tr> </tbody> </table> 	体験価値	準備すべきこと	自己変革	★インフラの適切さ	★今までにない特徴ある体験	★楽しみの品質	挑戦	保護の品質	心身が満たされている状態	特徴的である	ローインパクト	ほんものであること		地域への恩恵		準備が整っていること	<p><b>ツアーデザインのコツ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆スルーガイドの重要性</li> <li>◆常に位置確認 毎朝、今日のコースを確認 新たな場所に立ち寄るごとに現在地確認</li> <li>◆常に、全体テーマにつなげる ・大雪山の多様な環境 ・アイヌの世界観(地名・植物)</li> </ul> 																
体験価値	準備すべきこと																																
自己変革	★インフラの適切さ																																
★今までにない特徴ある体験	★楽しみの品質																																
挑戦	保護の品質																																
心身が満たされている状態	特徴的である																																
ローインパクト	ほんものであること																																
	地域への恩恵																																
	準備が整っていること																																
<p><b>Day2</b> 高山帯 8時間 旭岳-黒岳 縦走</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>体験価値</th> <th>準備すべきこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自己変革</td> <td>インフラの適切さ</td> </tr> <tr> <td>★今までにない特徴ある体験</td> <td>★楽しみの品質</td> </tr> <tr> <td>★挑戦</td> <td>保護の品質</td> </tr> <tr> <td>心身が満たされている状態</td> <td>特徴的である</td> </tr> <tr> <td>ローインパクト</td> <td>ほんものであること</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地域への恩恵</td> </tr> <tr> <td></td> <td>準備が整っていること</td> </tr> </tbody> </table> 	体験価値	準備すべきこと	自己変革	インフラの適切さ	★今までにない特徴ある体験	★楽しみの品質	★挑戦	保護の品質	心身が満たされている状態	特徴的である	ローインパクト	ほんものであること		地域への恩恵		準備が整っていること	<p><b>Day3</b> 火山が川に250mも削られた 渓谷でラフティング</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>体験価値</th> <th>準備すべきこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自己変革</td> <td>インフラの適切さ</td> </tr> <tr> <td>★今までにない特徴ある体験</td> <td>★楽しみの品質</td> </tr> <tr> <td>挑戦</td> <td>保護の品質</td> </tr> <tr> <td>★心身が満たされている状態</td> <td>特徴的である</td> </tr> <tr> <td>ローインパクト</td> <td>ほんものであること</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地域への恩恵</td> </tr> <tr> <td></td> <td>準備が整っていること</td> </tr> </tbody> </table> <p>実は予備日</p> <p>セルフガイド</p> <p>チェックアウトは10時</p> 	体験価値	準備すべきこと	自己変革	インフラの適切さ	★今までにない特徴ある体験	★楽しみの品質	挑戦	保護の品質	★心身が満たされている状態	特徴的である	ローインパクト	ほんものであること		地域への恩恵		準備が整っていること
体験価値	準備すべきこと																																
自己変革	インフラの適切さ																																
★今までにない特徴ある体験	★楽しみの品質																																
★挑戦	保護の品質																																
心身が満たされている状態	特徴的である																																
ローインパクト	ほんものであること																																
	地域への恩恵																																
	準備が整っていること																																
体験価値	準備すべきこと																																
自己変革	インフラの適切さ																																
★今までにない特徴ある体験	★楽しみの品質																																
挑戦	保護の品質																																
★心身が満たされている状態	特徴的である																																
ローインパクト	ほんものであること																																
	地域への恩恵																																
	準備が整っていること																																
<p><b>Day4:</b> 寒くて貧栄養の環境 高層湿原と沼とヒグマ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>体験価値</th> <th>準備すべきこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自己変革</td> <td>インフラの適切さ</td> </tr> <tr> <td>★今までにない特徴ある体験</td> <td>★楽しみの品質</td> </tr> <tr> <td>挑戦</td> <td>保護の品質</td> </tr> <tr> <td>心身が満たされている状態</td> <td>特徴的である</td> </tr> <tr> <td>ローインパクト</td> <td>ほんものであること</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地域への恩恵</td> </tr> <tr> <td></td> <td>準備が整っていること</td> </tr> </tbody> </table> 	体験価値	準備すべきこと	自己変革	インフラの適切さ	★今までにない特徴ある体験	★楽しみの品質	挑戦	保護の品質	心身が満たされている状態	特徴的である	ローインパクト	ほんものであること		地域への恩恵		準備が整っていること	<p><b>Day5</b> 岩場: 火山による地殻変動。岩場とナキウサギとオショロコマ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>体験価値</th> <th>準備すべきこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>★自己変革</td> <td>インフラの適切さ</td> </tr> <tr> <td>★今までにない特徴ある体験</td> <td>★楽しみの品質</td> </tr> <tr> <td>挑戦</td> <td>保護の品質</td> </tr> <tr> <td>心身が満たされている状態</td> <td>特徴的である</td> </tr> <tr> <td>ローインパクト</td> <td>ほんものであること</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地域への恩恵</td> </tr> <tr> <td></td> <td>準備が整っていること</td> </tr> </tbody> </table> 	体験価値	準備すべきこと	★自己変革	インフラの適切さ	★今までにない特徴ある体験	★楽しみの品質	挑戦	保護の品質	心身が満たされている状態	特徴的である	ローインパクト	ほんものであること		地域への恩恵		準備が整っていること
体験価値	準備すべきこと																																
自己変革	インフラの適切さ																																
★今までにない特徴ある体験	★楽しみの品質																																
挑戦	保護の品質																																
心身が満たされている状態	特徴的である																																
ローインパクト	ほんものであること																																
	地域への恩恵																																
	準備が整っていること																																
体験価値	準備すべきこと																																
★自己変革	インフラの適切さ																																
★今までにない特徴ある体験	★楽しみの品質																																
挑戦	保護の品質																																
心身が満たされている状態	特徴的である																																
ローインパクト	ほんものであること																																
	地域への恩恵																																
	準備が整っていること																																



④ ATに関する情報提供資料 ※白老、弟子屈会場では荒井氏の講演に組み入れた。

### ツアーデザインのコツ

- ◆ガイドは3つの役割を使い分ける
  - ・インストラクション（指示）
  - ・インタープリテーション（解説）
  - ・ファシリテーション（促進）
- ◆満足度を高める3つのT
  - ・楽しい（エンターテインメント）
  - ・ためになる（学び）
  - ・得をする（想定外!）
- ◆チェックインは16時
  - ・ホテル周辺を個人で散策




### Day6 農業：火山の特徴。痩せた酸性の土壤に適した農作物


体験価値	準備すべきこと
自己変革	インフラの適切さ
今までにない特徴ある体験	楽しみの品質
挑戦	保護の品質
心身が満たされている状態	特徴的である
ローインパクト	ほんものであること
	地域への恩恵
	準備が整っていること




<https://www.adventure-hokkaido.com/>




⑤ 個人ワークシート.



## ATプラン商品造成ワークシート<枠組み>

チェックポイント	わが地域で造成したいATプランについて、そのPRポイントを一言でわかるシンプルワードで説明してください！
1.ターゲット	ATトラベラー
2.コンセプト (わざわざ 来訪する価値)	
3.コンセプトを 体感できる メインアクティビティ  <small>(アクティビティのみでは なく、メインに据えたい！ 資源でもOK(場所、施設、 モノ、人))</small>	
4.ストーリーを含んだ 旅程  <small>①序章→ ②展開部→ ③ピーク部→ ④終章  (順番:全体像→個別へ)</small>	

1



## ATプラン商品造成ワークシート<枠組み>

チェックポイント	わが地域で造成したいATプランについて、そのPRポイントを一言でわかるシンプルワードで説明してください！
5.地域らしさ	
6.AT要素の 盛り込み  ～自己変革 ～ユニークさ ～機能的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献  <small>(全て含んでいなくても OK！)</small>	

2

⑥ ワークシート

## ATプラン商品造成ワークシート

ターゲット	わが地域で造成したいATプランについて、そのPRポイントを一言でわかるシブワードで説明してください！
1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト (わざわざ 来訪する価値)	
3.コンセプトを 体感できる メインアクトビティ  (アクトビティのみではなく、 メインに据えたい資源でも OK(場所、施設、モノ、 人))	
4.ストーリーを含んだ 旅程  ①序章→ ②展開部→ ③ピーク部→ ④終章  (順番：全体像→個別へ)	
5.地域らしさ	
6.AT要素の 盛り込み  ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献  (全て含んでいなくても OK！)	

2-3-6 白老会場

①会場参加者及びワークショップグループ分け

◆現地参加

エリア	ご所属	お名前	グループ
1	豊浦	噴火湾とよら観光協会	田中 博子 1
2	白老	公益財団法人アイヌ民族文化財団	徳間 貴之 1
3	札幌	ゆっくりずむ北海道	宮川 幸史 1
4	洞爺湖	レークヒル・ファーム	塩野谷 通 1
5	札幌	農林水産省北海道農政事務所	蝦名 理恵 1
6	白老	白老町 個人ガイド	白戸 暹 2
7	壮瞥	ワカサリリゾート(株)有珠山ロープウェイ	飯田 理 2
8	札幌	近畿日本ツーリスト	若木 なつみ 2
9	黒松内	黒松内町観光協会	本間 崇文 2
10	白老	フリー	飯島 舞 2
11	壮瞥	壮瞥町商工観光課	三松 靖志 3
12	札幌	明星自動車(株)	久末 裕之 3
13	札幌	北海道経済部観光局	作山 誠 3
14	白老	公益財団法人アイヌ民族文化財団	木幡 弘文 3
15	黒松内	黒松内町観光協会	澤田 奈那恵 3
16	登別	登別ゲートウェイセンター	小林 芳恵 4
17	洞爺湖	洞爺ガイドセンター	小川 裕司 4
18	札幌	北海道経済部観光局	渡邊 美香 4
19	洞爺湖	洞爺湖町経済部観光振興課	矢野 和男 4
20	札幌	農林水産省北海道農政事務所	森定 佳美 4
21	伊達	大雄寺	奥村 孝裕 5
22	伊達	Sotoasobu	江川 理恵 5
23	札幌	公益財団法人アイヌ民族文化財団	菅野 孝司 5
24	平取	株式会社NEPKI	米澤 諒 5
25	日高	自然考房 Nature Designing	鈴木 宏紀 5
26	千歳	自然栽培ただし〜農園	高橋 正 6
27	登別	登別ゲートウェイセンター	紺野 由美子 6
28	札幌	北海道経済部観光局	中畑 颯 6
29	平取	株式会社NEPKI	米田 哲雄 6
30	富良野	N P O法人富良野自然塾	岸上 夏樹 6
31		パドルストリート	成田 6
32	白老	国立アイヌ民族博物館	劉高 カ 7
33	平取	平取町立二風谷アイヌ文化博物館	杉山 邦広 7
34	旭川	ノーススター・ランゲージサービス	クレイグ・マレー 7
35	胆振	胆振総合振興局商工労働観光課	中川 賢一 7
36	日高	新ひだか町役場	高橋 大悟 7
37	支笏湖	(株)オーシャンデイズ	相澤 浩一 8
38	旭川	ノーススター・ランゲージサービス	古越 万紀子 8
39	白老	白老観光協会	矢尻 翔太 8
40	室蘭	スターマリン(株)	伊藤 京香 8
41	胆振	胆振総合振興局商工労働観光課	山下 知子 8

◆オンライン参加

エリア	ご所属	お名前
1	天塩	天塩町地域おこし協力隊 久保 綾香
2	八雲	Discover Southern Hokkaido 赤井 義大
3	函館	Discover Southern Hokkaido 山田 紗織
4	大沼	Discover Southern Hokkaido 山口 颯一郎
5	鹿部	Discover Southern Hokkaido 金澤 佑
6	-	Discover Southern Hokkaido 堀内 深雪
7	-	Discover Southern Hokkaido 深田 麻友
8	札幌	北海道開発局 長南 哉
9	小樽	小樽観光協会 (有)ロフティ 澤井 雄三
10	千歳	ザ・ノースカントリーゴルフクラブ 佐々木 智秀
11	-	日本航空(株) 伊藤 宏樹
12	-	日本航空(株) 笠谷 尋一
13	-	日本航空(株) 根尾 奈那
14	-	日本航空(株) 長谷川 たけし
15	-	(株)ジャルパック 阿部 縦雄
16	-	(株)ジャルパック 平子 至
17	-	(株)ジャルパック 伊東 和夫
18	-	(株)ジャルパック 増野 景子
19	-	日本航空(株) 小比類巻 強
20	-	日本航空(株) 久住 涼二
21	-	日本航空(株) 前田 瑞貴
22	-	日本航空(株) 齊藤 功一
23	-	日本航空(株) 越 桂二郎
24	-	日本航空(株) 谷口 由紀
25	-	日本航空(株) 山内 聖美
26	-	日本航空(株) 馬場 香織
27	-	北海道グローノリレ・コーポレーション合同会社 釜田 静子
28	-	フリーランス 村上 さいち

◆講師

所属	名前
1 北海道アドベンチャートラベル協議会	荒井 一洋

◆オブザーバー

所属	名前
1 北海道観光振興機構	岩田 昌之
2 北海道観光振興機構	菊地 敏孝

◆事務局

所属	名前
1 北海道運輸局観光部観光企画課長	倉信 二郎
2 北海道運輸局観光部観光企画課 地域第一係長	森 恭兵
3 北海道運輸局観光部観光企画課 (浦河町派遣)	岩城 国松
4 (株)北海道宝島旅行社 代表取締役社長	鈴木 宏一郎
5 (株)北海道宝島旅行社 営業部	梶田 泰絵
6 (株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部	雨池 さやか
7 (株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部	小濱 有希子
8 (株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部	齊藤 みずき
9 (株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部	常井 玄

現地参加	オンライン参加	合計人数
41	28	69

2-3-6 白老会場

②イベントの様子



荒井一洋氏による講演を実施。ATの基礎および、実践例を説明頂いた。



胆振エリアの動画上映・解説。



ワークショップ-実施方法説明-



ワークショップ中



ワークショップ-発表-



講評



2-3-6 白老会場

③ワークショップと成果

当日は8グループに分かれてワークショップを実施した。  
各グループが作成したワークシートの内容をまとめると次の通りになる。

大まかな地域の特性として、国立アイヌ博物館が開業したことによる「アイヌ文化」、有名温泉地である登別や洞爺湖がエリア内にあることによる「火山」や「温泉」を意識した内容となっている。

アクティビティとしては比較的軽度の登山や文化体験となっており、いずれもアイヌ文化の「自然との共生」を意識したアクティビティや行程のつくりとなっている印象があった。

同様に、「アイヌ文化を継承している人と出会う」環境により、語り部や文化を直接教えてもらうような文化体験が目立った。

【白老会場1】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	美しい自然を通して身近なアイヌを学ぶ
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリやカヤック(冬:アイスウオーク)・バードウォッチング</li> <li>・地元の食材をローカルなお店で楽しむ</li> <li>・断崖を巡る観光船</li> <li>・アイヌ民話に触れる</li> </ul>
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観光船で断崖を巡り、アイヌ語由来の地名をアイヌ民話や神話から学ぶ。</li> <li>②ウロボイで①で得た知識を深める。</li> <li>③バードウォッチングでアイヌの地名由来の鳥を観察</li> <li>④クリやカヤック</li> </ul>
5.地域らしさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌ文化</li> <li>・美しく豊かな自然</li> </ul>
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	<p>【ユニークさ/挑戦的要素】クリやカヤック、アイヌ文化 【自己変革】他文化を通して自分化に気づく、そのきっかけとなる 【環境配慮】美しい自然の中でのアクティビティ体験から自然環境保護に対する意識が高まる。 【健康獲得】栗やカヤックで適度な疲労感</p>

【白老会場2】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	「北海道×火山×人＝？」～火山の恵みを目一杯味わおう！～
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カヌー、ガイド付きトレッキング、火山の恵みを味わう(おかわりプラン)</li> <li>・温泉</li> <li>・ガイド付トレッキング、天然足湯体験、鮭の遡上ツアー</li> </ul>
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ちょっと歩こう(ガイド付きトレッキング)</li> <li>②遊びつくせ(カヌー、足湯体験、鮭ツアー)</li> <li>③おかわりプラン(食とアクティビティ)</li> <li>④あなたの答えは？(ディナー報告会)</li> </ul>
5.地域らしさ	だって、火山だから。
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	—

2-3-6 白老会場

③ワークショップと成果

【白老会場3】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー 北海道のライトユーザー向け
2.コンセプト	ディープな北海道(あなたの知らない世界)
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウポボイを含む白老まちなか</li> <li>・温泉(足湯、ホテルなど)リラックス</li> <li>・ジオパーク(軽登山、トレッキング)</li> <li>・真の自然(黒松内の森と河と食と人)</li> <li>・後半は余裕を残す日程にする。</li> </ul>
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新千歳IN→白老まちなかあるき→白老or登別△</li> <li>②登別(足湯)→オロフレ峠→洞爺湖有珠山ジオパーク 洞爺湖温泉△</li> <li>③洞爺湖温泉→後志(黒松内)アクティビティ釣り、プナトレッキング→グランピング△</li> <li>④後志地区→小樽or後志地区(フリータイムも)→札幌△</li> <li>⑤札幌→新千歳OUT</li> </ul>
5.地域らしさ	白老～歴史文化 洞爺湖～景観・減災文化・味 後志～自然・人・体験・水
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	【自己変革】アイヌ文化とは他者(物)への敬虔な気持ち→我が身に置きかえ 【ユニークサ】深く長く全てを楽しませる行程 【健康獲得】トレッキング+温泉 【環境配慮】移動手段以外はほぼ自然のまま活用している(特に黒松内) 【地域貢献】団体ツアー向けではない場所にも焦点をあてて地域全域を『宝』としている。

【白老会場4】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	生きたアイヌ文化と大地の恵み
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	ウポボイ、二風谷コタン、アヨロ海岸、沙流川ジオパーク
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	<ul style="list-style-type: none"> <li>①アイヌに由来のある自然とアクティビティ(チブサンケ)</li> <li>②ウポボイ</li> <li>③交流とものづくり(刺繍、木彫り…)</li> <li>④大地の恵みを楽しむ(温泉、くだもの)</li> </ul>
5.地域らしさ	アイヌ文化を伝承している人々と交流できる。
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	【自己変革】人間と自然の関係性を再認識

【白老会場5】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー 主人公になりたい人
2.コンセプト	北海道文化の主人公
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	【アイヌ文化】 ・木彫・刺繍→工芸 ・料理・狩猟 舞踊 ・馬牧場の農業体験 ・乗馬
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	<ul style="list-style-type: none"> <li>①馬との出会い ・馬セラピー(触れ合い)</li> <li>②→乗馬レッスン→一人で乗馬→景色を見に行く→馬湯でリラックス</li> <li>①アイヌコタン散策→伝統工芸に触れる→夜語り部さんに話を聞く</li> <li>②工芸体験+狩猟+舞踊</li> <li>④馬(動物)+アイヌ文化(他文化)</li> <li>全てを含む地球の歴史を知り共有する</li> </ul>
5.地域らしさ	・北海道から地球の全て
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	上記参照

2-3-6 白老会場

③ワークショップと成果

【白老会場6】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー、人生につかれた人
2.コンセプト	アイヌ(自然)と禪から学ぶ シンプルライフ
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	1日目:白老ウホボイ見学、登別温泉泊 2日目:有珠ガイドウォーク、お茶体験、座禅 登別温泉泊 3日目:山菜取り、鮭釣り、料理、語り部 日高(二風谷)でキャンプ
5.地域らしさ	・白老、二風谷で学ぶアイヌ文化 ・伊達、有珠で学ぶ和人文化とアイヌ文化の共生 ・自然の中で自分を見つめる時間をゆっくり過ごす
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	・自分自身のライフスタイルの見直し ・アイヌと禅!?!という意外性 ・座禅体験と自然の中でのキャンプ ・環境(アイヌ文化から学ぶ自然との共生)

【白老会場7】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	この地域ならではの食と交流を楽しむ。
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	・白老町 アイヌ文化 ・地産地消の食 ・火山の恵み ・洞爺湖国立公園
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	①白老アイヌ文化(ウホボイ、地域のひとの食) 1泊目:白老 ②洞爺湖町 火山を学ぶ カヌーを楽しむ 2泊目:洞爺湖温泉 ③食材探し(豊浦ホタテ釣り、牧場、ワイナリーチーズ他) 3泊目:牧場キャン ④札幌(森?都市をたのしむ)
5.地域らしさ	食と交流 ・農家さん、漁師さん、地元の人(アイヌ文化を受け継ぐ方)
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	ユニークさ・・・豊浦のホタテ釣り体験 →他では体験できない。 地域貢献・・・食材を調達して、地域にお金をおとす。

【白老会場8】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	アイヌ人と日本人のひとと自然の歴史の流れをたどろう
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	あゆの友釣り
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	白老→アイヌ民族博物館→森→カムイに感謝する姿 有珠山→地球の起源→火山→米 伊達→縄文文化→貝塚→日本刀 黒松内→あゆの友釣り 支笏湖→you!!体験→ キャンプ
5.地域らしさ	人、自然環境、歴史
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	



## 2-3-7 弟子屈会場

### ①会場参加者及びワークショップグループ分け

#### ◆現地参加

エリア	ご所属	お名前	グループ
1	厚岸 カキキン	中嶋均様	1
2	阿寒 (有) 阿寒観光ハイヤー	松岡 篤寛様	1
3	釧路 釧路観光コンベンション協会	細川 悟志様	1
4	弟子屈 JAPAN NATURE GUIDES	ブラジル真弓様	1
5	弟子屈 ファットリア リッコ	廣瀬 真紀子様	1
6	阿寒 (有) 阿寒観光ハイヤー	小泉 圭一様	2
7	網走 コネクトリップ	五十川 佳恵様	2
8	小清水 (一社) 小清水町観光協会	湯浅 史美様	2
9	津別 NPO法人森のこだま	上野 まゆみ様	2
10	弟子屈 株式会社プリンスホテル	新井 秀樹様	2
11	弟子屈 弟子屈町役場観光振興係	下谷 敏正様	2
12	阿寒 NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構	香川 謙吾様	3
13	網走 コネクトリップ	田中 聡志様	3
14	標津 標津町商工観光課	水口 幸直様	3
15	弟子屈 (株)エフピーエス 弟子屈ラーメン	菅原 憲一様	3
16	弟子屈 ファットリア リッコ	岡西 眞由美様	3
17	ー 日本航空(株)	薬師寺 俊充様	3
18	標茶 塘路ネイチャーセンター	Teddy 齊藤様	4
19	津別 NPO法人森のこだま	奈良 真紀子様	4
20	弟子屈 (株)エフピーエス 弟子屈ラーメン	赤松 孝治様	4
21	弟子屈 環境省阿寒摩周国立公園管理事務所	小林 由紀子様	4
22	弟子屈 ファンタートランク	あべ 様	4
23	釧路 釧路農業改良普及センター	樋口 いずみ様	4
24	阿寒 阿寒観光協会まちづくり推進機構	樋崎 浩丸様	5
25	標茶 標茶町博物館	坪岡 始様	5
26	弟子屈 ノースイーストカヌーセンター	平塚一明様	5
27	ー 北海道開発局釧路開発建設部地域振興対策室	谷口 法之様	5
28	津別 NPO法人森のこだま	吉井 晴紀様	5
29	弟子屈 株式会社プリンスホテル	柳澤 義人様	6
30	阿寒 阿寒アイヌ工芸協同組合	橋本 佳之様	6
31	網走 網走市 地域おこし協力隊	前川 勝規様	6
32	標津 標津町商工観光課	工藤 翔太様	6
33	津別 NPO法人森のこだま	渡辺様	6
34	弟子屈 一般社団法人TESHI-COLOR	木名瀬 佐奈枝様	7
35	標津 標津町商工観光課	齋藤 学様	7
36	弟子屈 ファンタートランク	宮様	7
37	ー 大地みらい信用金庫大地みらい創造センター	日理 一哉様	7
38	根室 根室農業改良普及センター	松本 卓也様	7
39	ウトロ 知床サイクリングサポート	西原重雄様	8
40	ー 日本航空(株)	千里 博之様	8
41	釧路 英語ガイド	橋幸子様	8
42	弟子屈 Kussharo Factory	斎藤 敬子様	8
43	弟子屈 弟子屈町地域おこし協力隊	大森慎一郎	8
44	釧路 釧路農業改良普及センター	菊地 恵実様	9
45	標茶 標茶町	森田 実里様	9
46	清里 知床清里町ウエネウサルみどり	菅野又 康彦様	9
47	釧路 釧路観光コンベンション協会	末廣 圭司郎様	9
48	弟子屈 (一社) 摩周湖観光協会	神子島 美穂様	9
49	弟子屈 弟子屈町役場観光振興係	吉田 祥子様	9

#### ◆オンライン参加

エリア	ご所属	お名前
1	ー 日本航空(株)	佐藤 博文
2	ー 日本航空(株)	越 桂二郎
3	ー (株)ジャルパック	遠藤 剛樹
4	ー (株)ジャルパック	安武 笑
5	ー (株)ジャルパック	妙木 章則
6	北海道 北海道開発局	長南 哉
7	釧路 釧路市産業振興部阿寒観光振興課	下田 和弘
8	釧路 釧路市産業振興部阿寒観光振興課	秋葉 薫
9	釧路 釧路市産業振興部阿寒観光振興課	神谷 賢尚
10	釧路 釧路市産業振興部阿寒観光振興課	天内 武範
11	釧路 釧路市産業振興部阿寒観光振興課	矢幡 篤史
12	釧路 北海道釧路総合振興局	辰身 英明
13	中標津 なかしべつ観光協会	勢子 浩之
14	南富良野 南富良野まちづくり観光協会	小林 茂雄
15	中標津 知床ねむる観光連盟	佐々木 亮介

#### ◆講師

所属	名前
1 北海道アドベンチャートラベル協議会	荒井 一洋

#### ◆オブザーバー

所属	名前
1 北海道経済部観光局	作山 誠
2 北海道経済部観光局	渡邊 美香
3 (一社) 釧路観光コンベンション協会	大和 寛
4 (公社)北海道観光振興機構	菊地 敏孝

#### ◆事務局

所属	名前
1 北海道運輸局観光部観光企画課長補佐	加茂 聖和
2 北海道運輸局観光部観光企画課 外客受入推進係長	田中 大輔
3 北海道運輸局観光部観光企画課 (浦河町派遣)	岩城 国松
4 (株)北海道宝島旅行社 代表取締役社長	鈴木 宏一郎
5 (株)北海道宝島旅行社 営業部	池田 かおり
6 (株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部	雨池 さやか
7 (株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部	小濱 有希子
8 (株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部	齋藤 みずき
9 (株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部	常井 玄

現地参加	オンライン参加	合計人数
49	15	64

## 2-3-7 弟子屈会場

### ②イベントの様子



荒井一洋氏による講演を実施。ATの基礎および、実践例を説明頂いた。



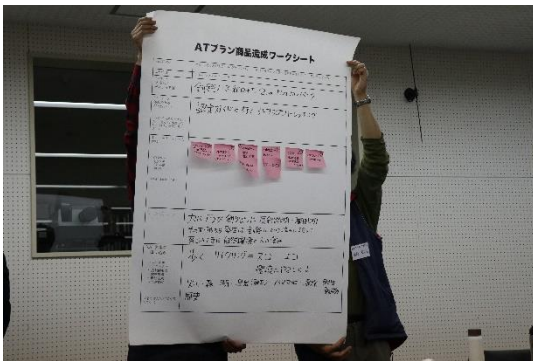
釧路・オホーツクエリアの動画上映・解説。



ワークショップ-実施方法説明-



ワークショップ中



ワークショップ-発表-



講評

## 2-3-7 弟子屈会場

### ③ワークショップと成果

当日は9グループに分かれてワークショップを実施した。  
各グループが作成したワークシートの内容をまとめると次の通りになる。

大まかな地域の特性として、3つの国立公園が隣接する地域であることから、国立公園を意識した自然を体感するコンセプトが目立った。また日本遺産に認定された「鮭の聖地の物語(根室管内)」があるため、鮭をテーマにした旅程も見られた。

アクティビティの傾向として、やはり国立公園を活用した大自然を楽しむアクティビティが多く、中でもトレッキングやカヌーを上げるグループが多い印象である。その他、漁業や酪農が盛んな地域ならではの漁業体験や酪農体験など、地域の産業にスポットを当てた行程等も見られた。

#### 【弟子屈会場1】

1 ターゲット	アドベンチャートラベラー
2 コンセプト	北海道の大地と自然の恵みを感じてもらう 2泊3日～7泊8日
3 コンセプトを体感できる メインアクティビティ	ウォーキング/サイクリング
4 ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	①釧路発着: 半日 釧路近郊一厚岸方面 ②カヌー 釧路川～太平洋へカヌー体験 厚岸で下記工場見学/ワイスキー/日本酒工場/伊豆焼き ③北根室ランウェイ(71km)/摩周・屈斜路トレイル(44km)の ウォーキング/サイクリング ④エン/ハーブのおもてなし-森or庭でハーブの試飲/説明
5 地域らしさ	・釧路一厚岸 中標津一弟子屈の地域の食を体験 専任の方による地元の魅力発信 ◎アクティビティの途中で、カキ/ハーブ/魚介などの提供をいただく
6 AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	・挑戦的要素-地域の連携 ・自然へのインパクトは低い ・全て組み込まれれば地域貢献になる ・健康-身体にインパクトが少ない温泉で筋肉をリラックスさせる 行動食としてカキで元気に、ハーブでいやされる +サイクリング追加も可能

#### 【弟子屈会場2】

1 ターゲット	アドベンチャートラベラー
2 コンセプト	屈斜路カルデラで感じる地球の息吹
3 コンセプトを体感できる メインアクティビティ	・トレッキング ・カヌー →噴気孔を巡る ・サイクリング
4 ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	①川湯エコミュージアムセンター→硫黄山(アトサヌプリ) 噴気口① ②カヌーで和琴半島のオヤコツ地獄 噴気口② ③サイクリングで野天(露天)湯巡り 噴気口③ ④ボンボン山トレッキング(デイキャンプ) 地元食材地熱調理 噴気口④
5 地域らしさ	活火山を安全に体感できる地域
6 AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	【自己変革】地球の大きさを感じ、「生きる」を感じる旅 【ユニークさ】ボンボン山で貸し切り 【挑戦的要素】自力で移動 【健康獲得】アクティビティ 【環境配慮】地熱を使ったエコ調理

2-3-7 弟子屈会場

③ワークショップと成果

【弟子屈会場3】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	自然との共生がそこにある
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	・トレイル(サイクリング、ハイキング等) ・雲海、星空、アイヌ文化、火山 ・野生動物(鹿、キツネ、丹頂)温泉
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	①ビジターセンター等での地域の自然、地形、文化を学ぶ ②トレイルを活用して資源に出会う ③アイヌの価値観文化地域の産業(酪農、畑作)に触れる ④グランピングとキャンプファイヤーで旅を振り返り、参加者で共有する
5.地域らしさ	地域の資源・人・自然との直接の触れ合い
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	【自己変革】価値観の変化 【ユニークさ】野生動物との出会い 【挑戦的要素】ロングトレイルへの挑戦 【健康獲得】温泉、足湯 【環境配慮】動力を使わない移動 【地域貢献】様々なネットワークをつくり経済波及を図る

【弟子屈会場4】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	阿寒周国立公園と釧路湿原国立公園を結ぶ釧路川を130km下る
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	カヌーやサイクルで巡る釧路川下りのよこひと発見！！ 川を中心とした歴史や文化を学ぶ
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	1日目:屈斜路湖(藻琴山登山や釣りなどゆっくりすこす) 2日目:コタンから弟子屈まで(途中カヌーからサイクリング) 3日目:標茶(弟子屈から)900草原や多和平展望台をサイクル 4日目:標茶(塘路湖)から釧路市へ 最後に釧路の栄町で美味しいものを食べる
5.地域らしさ	2つの国立公園を体感する
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	—

【弟子屈会場5】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	東北海道はアドベンチャーの宝庫
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	酪農体験、漁業体験、アイヌ文化(人と動物の交流を伝える)
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	1日目:阿寒でアイヌ民族とのふれあい(民族の話、歴史、体験など) 2日目:酪農体験や酪農の歴史(弟子屈) 3日目:日本遺産(鮭の聖地)(標津) 4日目:農作物と海産物のコラボ料理(網走)
5.地域らしさ	根釧台地の素晴らしさ
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	【環境配慮】循環型農業 【挑戦的要素】鮭をさばく 【自己変革】アイヌ文化を肌で感じる 【地域貢献】道東地域への経済効果

2-3-7 弟子屈会場

③ワークショップと成果

【弟子屈会場6】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	鞋がつなぐ1万年の暮らし
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	「鞋の聖地」をめぐるガイドウォーク
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	1日目:サーモン科学館(全体を知る)、鞋茶満月 2日目:ポー川史跡自然公園ガイドウォーク、ポー川ジャングルカヌー (1万年前の歴史を知る) 3日目:鞋の荷揚げ見学→漁師さんのお話→イクラづくり、 新巻鞋づくり体験 4日目:野付半島 幻の街キラク
5.地域らしさ	鞋とともに生きてきた人々の暮らしをたどる旅です。 1万年前の暮らしは史跡のため穴式住居から見ることができます。 現在の鞋と人々の暮らしは、荷揚げ見学や加工体験を通し体感することができます。
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	【ユニークさ】歴史と今、漁師さんの暮らしを身近に感じる 【環境配慮】地産地消 【地域貢献】#、鞋漁の次世代への継承

【弟子屈会場7】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	釧路川で結ばれた2つのナショナルパーク
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	認定ガイドと行くアトサヌプリトレッキング
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	①<サイクリング>AM 川湯エコミュージアム 川湯～キンムトー(砂湯、地の湯) ②<トレッキング>アトサヌプリトレッキング(ガイド付) ③<アトサヌプリ>～歴史、温泉(川湯)、アイヌ文化 ④<トレッキング>摩周岳～火山、カルデラ ⑤<カヌー>釧路湿原、倒木関係、(細岡展望台) ⑥<タンチョウ>エサ場づくり
5.地域らしさ	カルデラが創り出した 屈斜路湖・摩周湖 その地形から発生した釧路川という流れに沿って育まれてきた自然環境と人の営み
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	

【弟子屈会場8】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	五感で感じる道東～3つの国立公園でつなぐ自然と食と文化を体感する旅～
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	・アトサヌプリ(硫黄山)トレッキング
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	①女満別空港IN→美幌峠→サイクリング→和琴フィールドハウス、川湯エコミュージアムセンター→川湯泊 ②川湯→清里→神の子池※(冬)スノーシュー→摩周周→そば打ち体験(農協職員と交流)→川湯泊 ③アトサヌプリトレッキング→チェックイン・セルフガイド→川湯泊 ④弟子屈→サイクリング→標茶→塘路(ランチ、学生交流)→カヌー→細岡展望台→釧路泊
5.地域らしさ	日本最大の屈斜路カルデラ湖、世界第2位の透明度の摩周湖など火山が生み出す資源、 水の恵み、そこで育まれる文化
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	【健康獲得】川湯温泉(強酸性) 【地域貢献】標茶高校生徒のランチ交流、農協職員との交流・体験 【環境配慮・挑戦的要素】スノーシュー、サイクリング、カヌーでの移動、トレッキング 【ユニークさ】アトサヌプリトレッキング

2-3-7 弟子屈会場

③ワークショップと成果

【弟子屈会場9】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	流水オホーツク海から太平洋へ(2月)
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	阿寒湖から屈斜路湖までの外輪山トレイル (道東ならではの冬の美しさを体感)
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	1、網走流水カヤックとワカサギ釣り 2-3 阿寒湖→ベンケバンケー→津別峠→外輪山 4、冬のSL湿原号とJAPAN酒
5.地域らしさ	樹氷と御神渡り、ダイヤモンドダスト、流水、オオワシ、オオハクチョウ
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	



2-3-8 ニセコ会場

①会場参加者及びワークショップグループ分け

◆現地参加

エリア	ご所属	お名前	グループ	
1	余市	北海道エコビレッジ推進プロジェクト	齋藤 とも子様	1
2	礼文	礼文島自然ガイド	鹿川 明美様	1
3	共和	三田農林(株)	大田 篤志様	1
4	後志	北海道後志総合振興局後志農業改良普及センター	山下 茂様	1
5	黒松内	今田農場	今田 知代様	1
6	小樽	通訳案内士	荒木 慶子様	2
7	えりも	漁師	近藤 一郎様	2
8	ニセコ	(一社) Niseko Promotion Board	アクミ・ウー様	2
9	道南	Discover Southern Hokkaido	山田 紗織様	2
10	蘭越	H2Oアドベンチャー	庵 経弘様	3
11	倶知安	チャトリウムニセコ	新居 様	3
12	八雲	Navire noir (ナヴィール ノワール)	館岡 志保様	3
13	函館	函館市観光部	寺村 日出人様	3
14	道南	Discover Southern Hokkaido	山口 颯一郎様	3
15	洞爺湖	(有)アラマチ	荒町 美紀様	3
16	長万部	長万部町観光地域づくり協議会	嵯峨 友和様	4
17	道南	Discover Southern Hokkaido	赤井 義大様	4
18	倶知安	日本ハーモニー・リゾート株式会社	東内 学爾様	4
19	倶知安	ニセコフイス観光(株)ホワイトアイル	千葉 泰弘様	4
20	大沼	セグウェイジャパン(株)	田名部 大士様	4
21	倶知安	トヨタレンタリース新札幌	池田 守隆様	4
22	道南	Discover Southern Hokkaido	金澤 佑様	5
23	倶知安	YMS Development	ハガート 純様	5
24	神恵内	神恵内村役場	吉岡 尚吾様	5
25	長万部	長万部町観光地域づくり協議会	佐藤 理華様	5
26	八雲	漁師	館岡 勇樹様	5
27	渡島	渡島総合振興局産業振興部	木下 様	5
28	倶知安	羊蹄ニセコ自転車走行協議会	脇山 潤様	6
29	道南	Discover Southern Hokkaido	堀内 深雪様	6
30	長万部	長万部町観光地域づくり協議会	中野 美貴様	6
31	渡島	渡島総合振興局産業振興部	森 様	6
32	倶知安	トヨタレンタリース新札幌	山田 和幸様	6
33	余市	(株)アドバンス・エア・スポーツ スカイタイプ北海道	藤原 京子様	6
34	道南	Discover Southern Hokkaido	深田 麻友様	7
35	倶知安	日本ハーモニー・リゾート株式会社	グリーンウッド佳奈様	7
36	岩内	岩内町役場	村瀬 文彦様	7
37	留寿都	加森観光(株)ルスツリゾート	青木 智一様	7
38		有限会社 トップカインド	中村 亜人様	7
39	大沼	(株)プリンスホテル	大場 昭彦様	8
40	後志	後志総合振興局商工労働観光課	関野 佐知様	8
41	道南	Discover Southern Hokkaido	佐藤 由紀彦様	8
42	札幌	明星自動車(株)	久末 裕之様	8
43	共和	フリー	保田 麻子様	8
44		石塚水産	石塚 貴洋様	

◆オンライン参加

エリア	ご所属	お名前
1	北海道通訳案内士協会	手塚 睦
2	(株)ジャルパック	高嶋 篤哉
3	ペンションロコモーション	大越 昭博
4	㈱コササル	金川 文子様
5	通訳案内士 フリー	岡田 始
6	天塩町地域おこし協力隊	久保 綾香
7	日本航空(株)	黒井 富美子
8	日本航空(株)	林 優希
9	日本航空(株)	白石 将
10	日本航空(株)	市村 賢二
11	日本航空(株)	小川 弘
12	北海道グローバル・コーポレーション合同会社	釜田 静子
13	北海道開発局	長南 哉

◆講師

所属	名前
1 通訳案内士/英語自然ガイド	馬上 千恵

◆オブザーバー

所属	名前
1 北海道議会	広田 まゆみ

◆事務局

所属	名前
1 北海道運輸局観光部観光企画課 外客受入推進係長	田中 大輔
2 北海道運輸局観光部国際観光課国際第一係	上野 和宏
3 北海道運輸局観光部観光企画課(浦河町派遣)	岩城 国松
4 (株)北海道宝島旅行社 代表取締役社長	鈴木 宏一郎
5 (株)北海道宝島旅行社 営業部	梶田 奏絵
6 (株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部	雨池 さやか
7 (株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部	小濱 有希子
8 (株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部	齊藤 みずき
9 (株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部	常井 玄

現地参加	オンライン参加	合計人数
44	13	57

2-3-8 ニセコ会場

②イベントの様子



北海道宝島旅行社 鈴木による AT についての情報提供。AT の基礎を説明した。



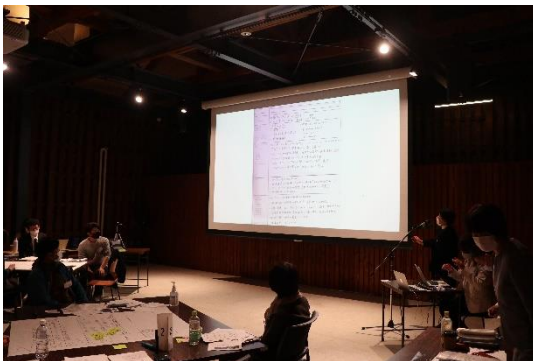
馬上千恵氏による講演。AT 顧客が求めているものや、どのようなガイドが AT には必要かについて、通訳案内士の立場でお話いただいた。



ニセコ周辺地区 動画上映・解説



ワークショップ中



ワークショップ-発表-



最後に運輸局田中氏より全体講評があった。

## 2-3-8 ニセコ会場

### ③ワークショップと成果

当日は8グループに分かれてワークショップを実施した。  
各グループが作成したワークシートの内容をまとめると次の通りになる。

大まかな地域の特性として、良質な雪で有名な地域のため、雪や冬を楽しむコンセプトが挙げられた。また、その雪解け水が農業に関係していることから、地域の農業をコンセプトとしたツアーを考えたグループもあった。

世界遺産へ向けた地域の動きもあり、縄文文化関連の行程も見られた。その場合は合わせて開国の港である函館や松前藩関連の体験も入れた行程となっている。

アクティビティの傾向としては、スノーアクティビティはスノーシューやスキーが挙げられている。産業体験としては農家や漁家のお母さんとの料理やふれあいがあげられている。

#### 【ニセコ会場】

1 ターゲット	アドベンチャートラベラー
2 コンセプト	北海道の冬の森で遊ぶ 森の多様性を知る 黒松内・ニセコ・共和町、余市
3 コンセプトを体感できる メインアクティビティ	スノーシュー、温泉、雪の多様性を感ずる、農泊体験、雪中アイスクリュー作り、 とみたファームもちつき、アニマルトラッキング、バードウォッチング
4 ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	・黒松内ブナ森(日本の北限)のスノーシューハイイク(アニマルトラッキング) 米袋での尻すべり、雪中キャベツ掘り(農泊) ・ニセコでの地吹雪体験、雪秩父or五色で温泉体験(露天) ・共和町三田牧場でのグランピング & 五右衛門風呂 ・雪原でのスノーモービル体験(wow体験)、夜空 ・シリバ山での海を見ながらのスノーシュー登山
5 地域らしさ	・ブナ森を中心とした町ツクリ ・北海道最古の牧場(共和町に1件のみ!)みんなに知ってほしい! ・アイヌ以外の以外な歴史(戦争とのかかわり、軍馬) ・冬の日本海 山から見える
6 AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	【ユニークさ】北海道最古の牧場での夜空見学 【挑戦的要素】地吹雪に立ち向かう!(雪のガイドにまかせる) 【健康獲得】たくさん歩く(スノーシュー)、キャベツ、温泉で体をあたためる 【自己変革】何万年もかけて育成されたブナ森の中で、人の小ささを知る 【地域貢献】地元の農家さんと協力 【環境配慮】自力スノーシュー

#### 【ニセコ会場2】

1 ターゲット	アドベンチャートラベラー
2 コンセプト	箱館タークツーリズム～北海道の起点、箱館の歴史を巡る旅
3 コンセプトを体感できる メインアクティビティ	箱館山要塞体験ハイキング
4 ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	①縄文歴史ツアー(国宝@縄文文化センター)、勾玉作り(お守り) ②五稜郭 ③函館山ハイキング→要塞→夕日→夜景→(要塞:ダークスポット) ④寺or神社(お祓い? 座禅?)
5 地域らしさ	単なる観光地ではない、より地域理解が深まるツアー設計
6 AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	【自己変革】お祓い座禅(浄化) 【ユニークさ】ダークツーリズム 【挑戦的要素】心霊スポット 【健康獲得】ハイキング 【環境配慮】CO2減 【地域貢献】お寺、神社

2-3-8 ニセコ会場

③ワークショップと成果

【ニセコ会場3】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	日本の食、米どころを支える関連を知るツアー
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	・トレッキング、カヤック ・農業体験、収穫、料理体験(おにぎり、お味噌汁)
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	1日目: 目国内山→トレッキング→農業体験 ※美味しい米作りの原点を見る、知る→食べる 2日目: 尻別川をツーリング(25m)、カヤック ↓ 3日目: 海までツーリング 4日目: シーカヤック(海のものを食べる)→温泉
5.地域らしさ	・農家の方との交流 ・おいしいお米と海の恵みを体験、食べるツアー
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	【環境配慮】マイボトル、排水を持ち帰る 【自己変革】米作りの原点を知る→食への意識の向上 【ユニークさ】山から海までの水の流れを感じる、知る 【地域貢献】関連米を広める

【ニセコ会場4】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	食と自然と人で北海道を満喫してもらう
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	地元の名物母さんたちとたわむれよう!
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	1日目(大沼)プライベートワカサギ釣りツアー →ワカサギ漁師さんと歩いてポイントへご案内 2日目(八雲)農家さんとネギ・温泉ツアー 3日目(長万部)浜の母さんと浜料理 4日目(ニセコ)スノーカイトorスノーモービルツアー
5.地域らしさ	・生産者が自らガイド ・ニセコのパウダースノー
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	【自己変革】生産の現場を知る 【ユニークさ】浜こぼの浜の母さん 【挑戦的要素】身体的挑戦(スノーカイト) 【健康獲得】温泉 【環境配慮】基本、公共交通 【地域貢献】まるっと地元。生産者の新しい事業になるかも!

【ニセコ会場5】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー(富裕層、アクティブ、アジア、30代~40代)
2.コンセプト	ハードコアラグジュアリー
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	スノーバイク スノーバイク体験を通じてパウダースノーにふれてもらう
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	[1日目]五つ星ホテル [2日目]スノーバイク体験→温泉 [3日目](八雲)漁業体験→シーフードスूप→温泉ステイ  (銀婚湯) [4日目]長万部アイスクリーム流木アート→カニ飯→ チーズフォンデュ→グランピング [5日目]長万部
5.地域らしさ	・世界第2位のパウダースノーの体験 ・絶品北海道の新鮮なシーフードのスूप ・地元の人ふれあい ・温泉
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	・限界への挑戦 ・流木アートを通して環境への配慮

2-3-8 ニセコ会場

③ワークショップと成果

【ニセコ会場6】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー 体質改善 BMI値25以上
2.コンセプト	アウトドア体験でダイエットができる ロングステイができる
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	トレッキング、クライミング、サイクリング、カヌー、スカイダイビング
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	①身体測定、カウンセリングの後の目標設置 ②日々の体験、農業収穫、カロリーコントロール、ボディケア ③ダイエットの目標達成、スカイダイビング ④自己肯定、より高みの目標を持ちつつ帰宅
5.地域らしさ	ニセコのアウトドア 日本で5か所しかないスカイダイビングの1つ 後志の味覚
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	【自己変革】ダイエットによる健康 【ユニークさ】ダイエットとアウトドアの融合 【挑戦的要素】スカイダイビング 【健康獲得】上記の通り 【環境配慮】移動が自転車 【地域貢献】地産地消に貢献

【ニセコ会場7】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	山から海へ～地域の産業と歴史を知る旅
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	雷電海岸シーカヤック
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	1日目：ニセコから岩内へトレッキング & 森林浴 自転車下山 海を望めるコース 温泉旅館 2日目：雷電岬 シーカヤック 帰郷院で住職のお話・寺めぐり 夕食はお寿司+スナック 3日目：漁業体験 漁師との交流 地元のお母さんと海の幸を使った料理体験
5.地域らしさ	海と山をどちらも体験でき、地域の方とも交流できる
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	【自己変革】自然と人間の関係を見直す 【ユニークさ】山と海のアクティビティを一度に体験できる 【挑戦的要素】トレッキング、シーカヤック、サイクリング 3つのアクティビティを一度に体験できる。 【健康獲得】温泉入浴と身体的に無理のないアクティビティ 【地域貢献】地域産業を知ってもらい、理解を深める 一つの地域に滞在する事により、経済貢献を図る

【ニセコ会場8】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー(日本(北海道)の歴史に興味がある人)
2.コンセプト	「北海道」の始まりを学び、体感し残そう(発掘物、写真)
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	・縄文土器の発掘体験 ・青の洞窟クルーズ&SUP ・松前藩屋敷・松前神楽(踊り) ・旅館にて藩主料理(殿様が食べてた料理) ・横綱記念館にて「相撲」にふれる
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	1日目：矢越海岸クルーズ&SUP→砂金堀→知内温泉(道内最古の温泉) 2日目：縄文土器の発掘体験→横綱記念館 3日目：松前藩屋敷、松前神楽(伝統芸能)
5.地域らしさ	北前船で栄えた松前藩の歴史を学べる(北海道内ではここだけ！)
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	【自己変革】松前藩の歴史について関心に感じる 【ユニークさ】伝統芸能である「松前神楽」を体感できる 【挑戦的要素】土器の発掘



2-3-9 旭川会場

①会場参加者及びワークショップグループ分け

◆現地参加

エリア	ご所属	お名前	グループ
1	美瑛 (有) チカラノ	吉田 鉄平様	1
2	ー 環境省大雪山国立公園管理事務所	榎 厚生様	1
3	東川 (一社) ひがしかわ観光協会	ウイロコック香奈子様	1
4	富良野 富良野美瑛広域観光推進協議会	麓良 悠太様	1
5	南富良野 Pine Grus 松鶴ファーム	松鶴 健作様	1
6	旭川 Cook with me!	福井 明子様	2
7	ー 環境省大雪山国立公園管理事務所	佐藤 巧様	2
8	ー 明星自動車 (株)	久末 裕之様	2
9	ー ハートランドフェリー (株)	佐野 由裕様	2
10	富良野 MPGそらち	佐藤 賢治様	2
11	礼文 礼文島自然ガイド	鹿川 明美様	3
12	旭川 (一社) 大雪カムイミンタラDMO	佐藤 佑樹様	3
13	上富良野 Caféヤマイチ サイクリングガイド	斎藤 慎吾様	3
14	ー Hokkaidar	小原 信好様	3
15	上川 ホテル大雪	大塚 義徳様	3
16	ー (株)日本旅行北海道	斉藤 哲人様	3
17	美瑛 (有) チカラノ	吉田 宣子様	4
18	旭川 ゲストハウスアサヒカワライド	杉浦 哲也様	4
19	ー ANAセールス (株)	西口 智啓様	4
20	ー 上川総合振興局商工労働観光課	荒木 洋祐様	4
21	佐呂間 サロマ湖ゲストハウスさるまにあん	前川 浩一様	4
22	沼田 Plio古生物研究所 学芸員	篠原 暁様	4
23	美瑛 (一財) 丘のまちびえい活性化協会	ハチ・リチャードソン様	5
24	稚内 環境省 稚内自然保護官事務所	橋本 恵市様	5
25	東川 (一社) ひがしかわ観光協会	部 志貞様	5
26	ー 北海道中央バス(株)	桑島 晴明様	5
27	旭川 旭川公園ゲストハウス	松本 浩司様	5
28	美瑛 (一財) 丘のまちびえい活性化協会	張 曼様	6
29	旭川 旭川市役所	戸田 友樹様	6
30	稚内 環境省 稚内自然保護官事務所	黒田 芳人様	6
31	中富良野 ノーザンスターロッジ	加藤 雅明様	6
32	鷹栖 ムーンライトレディース	村上 京子様	6
33	ー ハートランドフェリー (株)	肖 娟様	6
34	上川 上川町地域おこし協力隊	近江 美久様	7
35	ー ANAセールス (株)	富樫 博文様	7
36	美瑛 村上農園	村上 寿裕様	7
37	佐呂間 佐呂間町観光物産協会	菊地 秀喜様	7
38	東川 株式会社東川振興公社	鈴木 和人様	7
39	旭川 ミチヒト	見上 道様	7
40	旭川 (株) 旭川開拓舎ノルニレカフェ	今井 絵美様	8
41	東川 株式会社東川振興公社	莫日根 様	8
42	ー 札幌観光バス (株)	佐藤 圭祐様	8
43	美瑛 (一財) 丘のまちびえい活性化協会	小倉 博昭様	8
44	ー フリー	ジョーダン・フレイジャー様	
45	ー ワカサリゾート	国井尚也様	
46	ー ワカサリゾート	遠藤毅様	

◆オンライン参加

エリア	ご所属	お名前
1	上川 上川町役場	小知井 和彦
2	ー 北海道開発局	長南 哉
3	ー 北海道上川総合振興局	坂 聡一郎
4	上富良野 かみふらの十勝岳観光協会	長田 公一
5	礼文 礼文町産業課	川村 長
6	東川 Adventure Hokkaido	吉川 彩香
7	名寄 名寄市産業振興課	伊野 愛子
8	美瑛 一般社団法人 美瑛町観光協会	庄司 篤史
9	ー 日本航空(株)	大平 孝
10	ー 日本航空(株)	宮永 泰樹
11	ー 日本航空(株)	阿部 拓哉
12	ー (株)ジャルパック	窪田 富久子
13	ー 日本航空(株)	安部 圭太
14	ー 日本航空(株)	齊藤 功一
15	ー 日本航空(株)	佐藤 博文
16	ー 日本航空(株)	越 桂二郎
17	栗山 小林酒造(株)	小林 精志
18	栗山 小林酒造(株)	本田 壮
19	倶知安 MY ECO LODGE SDN BHD	番場 彩子
20	ー (株)プリンスホテル	芝崎 喜久男
21	ー 北海道開発局技術センター	江崎 拓
22	ー 北海道開発局技術センター	富田 真未
23	ー 北海道観光振興機構	澤 康幸
24	ー 北海道観光振興機構	工藤 真司
25	阿寒 NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構	香川 謹吾

◆講師

所属	名前
1 鶴雅リゾート株式会社	高田 茂

◆オブザーバー

所属	名前
1 北海道議会	広田 まゆみ

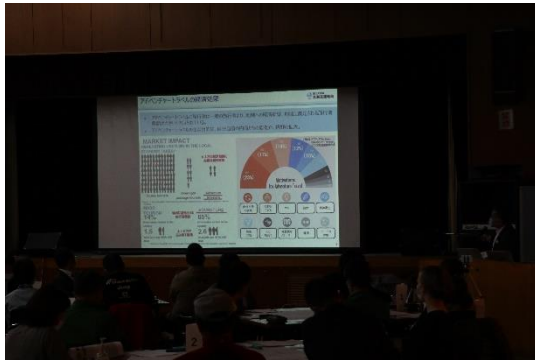
◆事務局

所属	名前
1 北海道運輸局観光部観光企画課長補佐	加茂 聖和
2 北海道運輸局観光部観光企画課 調査係	吉田 乙生
3 (株)北海道宝島旅行社 代表取締役社長	鈴木 宏一郎
4 (株)北海道宝島旅行社 営業部	本間 友紀
5 (株)北海道宝島旅行社 営業部	池田 かおり
6 (株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部	雨池 さやか
7 (株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部	齊藤 みずき
8 (株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部	常井 玄
9 (株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部	小濱 有希子

現地参加	オンライン参加	合計人数
46	25	71

2-3-9 旭川会場

②イベントの様子



北海道宝島旅行社 鈴木による AT についての情報提供。AT の基礎を説明した。



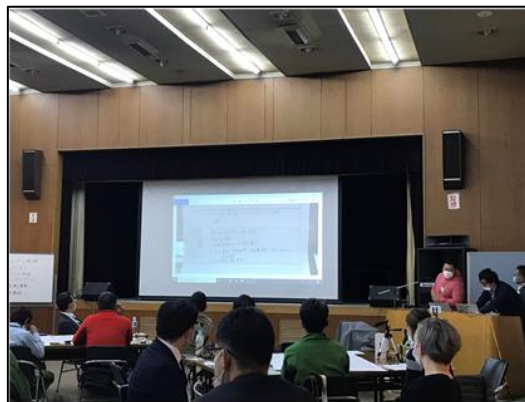
高田茂氏による講演。AT の地域貢献と AT 誘致にあたっての課題を、ガイドの視点でお話いただいた。



上川エリアの動画上映・解説



ワークショップ中



ワークショップ-発表-



講師やスタッフより、ワークショップの講評があった。

## 2-3-9 旭川会場

### ③ワークショップと成果

当日は8グループに分かれてワークショップを実施した。  
各グループが作成したワークシートの内容をまとめると次の通りになる。

大まかな地域の特性として、大雪山国立公園を含む地域であるため、大雪山を絡めたコンセプトが多くみられた。大雪山をコンセプトとした行程としては、ただ縦走などの山を登るアクティビティだけでなく、その恵みを活かした農業体験や、そこから生まれた歴史・文化を学ぶ行程が挙げられていた。そのほか、極寒の地を活かした雪の体験(スノーシュー・犬ぞり)や、日本遺産に認定されている上川アイヌを体感するラフティングなどの行程が挙げられている。

#### 【旭川会場1】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	雪と氷漬けの2日間
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	アイスホテルでの宿泊 ーアイスバーでの食事とお酒ー地元産の鹿肉を味わう(鍋かジンギスカン) 雪の結晶づくり
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	①旭川課学館、旭岳ビジターセンターで雪について学ぶ+雪の結晶づくり ②アイスワレレッジでアイスバー&アイスホテル宿泊体験 ③旭岳でアクティビティを楽しむ(スキー、スノーボード、スノーシュー) ④温泉(旭岳、白金)で解凍
5.地域らしさ	寒冷地(雪、氷)、長い冬を活かした体験、極寒(-20℃)
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	・寒さを工夫、知恵で楽しくできる ・極寒地の体験 ・地球温暖化による未来を考える ・地元農家冬期就労(アイスホテル建設等)、費用の発生、ガイド(アクティビティ) ・シカの食害対策を学ぶ

#### 【旭川会場2】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー(大雪山国立公園の自然を楽しみたい人)
2.コンセプト	大雪山の水の豊かさを体感しよう
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	旭岳ー黒岳 縦走(ざっくり8時間ほど) すべての川は山からはじまります
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	1日目:東川(旭川) 田んぼ、源水ポイントサイクリング 東川泊 2日目:旭岳ー黒岳(地元食材の携行食) 縦走 層雲峡泊 3日目:三国峠(コーヒータイム)※日本有数の樹海ー石狩ラフティング 旭川泊(場末の-snack) 4日目:旭川で酒造体験
5.地域らしさ	大雪山の伏流水がもたらす豊かさ なんとと言っても大雪山
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	・水がもたらす多様性 ・縦走による達成感 ・環境保全意識向上 ・地元のsnack等、地元事業者利用

2-3-9 旭川会場

③ワークショップと成果

【旭川会場3】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー(欧米のファミリー※10歳前後の子供がいる)
2.コンセプト	北海道の先住民であるアイヌ(上川アイヌ)の重要な地である神居古潭をアクティビティで体感する
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	川の街旭川と上川アイヌの伝説をカヌーとラフティングで下る
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	①序章～旭川博物館で旭川の成り立ちとアイヌを学ぶ ②展開～河村カ子トアイヌ記念館にてアイヌの食とウポボイムックリの体験 ③ピーク部～旭橋からカヌー→ノチウで休憩 途中でラフティングに切り替え→神居古潭 ④地域の恵み(フルーツ等)で休憩
5.地域らしさ	・川、橋→大雪山連綿に降った雪が何千年もかけて地域を潤す ・ノチウ→星が降ってきた伝説 ・神居古潭→英雄神と魔神の激闘
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	【自己変革】アイヌの人々の神々の考え方と自身の持つ宗教観の違いを学ぶ 【ユニーク】アイヌの伝説をアクティビティで体感 【健康獲得】身体運動(自然の中で)ストレスの開放 【環境】CO2を極力抑えたコース作り 【地域貢献】地域ガイドを活用する

【旭川会場4】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	北の食材をめぐる旅 大雪山の恵みを食べる 大雪山のめぐみを食べる
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	登山、サイクリング、農業、漁業、体験
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	1日目:旭川空港、夕ワラマップ(米)農村体験 2日目:旭岳～黒岳縦走、層雲峡下山 3日目:サイクリング 層雲峡→石北峠→サロマ 4日目:サロマ 原生花園農作業 カレー 5日目:女満別空港から帰国
5.地域らしさ	大雪山国立公園のめぐみからつながる 各地域文化を体験する旅
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	-

【旭川会場5】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー(ジオツアーに興味を持つ顧客がいる旅行会社)
2.コンセプト	半日で生きている火山が見れる
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	十勝岳火山トレッキング ・生きている火山を間近に見る ・日本一早い紅葉を見る ・エゾナキウサギの鳴き声が聞ける
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	1日目:美宙郷土館で美瑛町・十勝岳の歴史、文化を学習 2日目(ピーク):トレッキング 3日目:しらひげの滝見学 4日目:白金温泉入浴
5.地域らしさ	・十勝岳の歴史は美瑛町の歴史 ・エゾナキウサギ
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	エネルギーを貰える



2-3-9 旭川会場

③ワークショップと成果

【旭川会場6】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー(8日間)
2.コンセプト	ラストフロンティア北海道(スノーシューで渡る)
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	・バックカントリースキー、スノーシュー(富良野・旭川・旭岳・利尻島) ・犬ぞり ・フットバイク ・アイス(旭川) ・食一全部
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	序章①美瑛 スノーシュー ダイヤモンドダスト、星、 序章②富良野(十勝岳) 開拓史(ラストフロンティア)、スノーシューガイド 展開③東川 冬山・火山・源水 スノーシューガイド、星空 展開④旭川 鷹栖ラーメン、犬ぞり、アイス、旭川家具、男山酒造 ⑤稚内 休 ピーク⑥利尻 スノーアクティビティ、スノーシュー ピーク⑦礼文 ホッケ海鮮丼、バードウォッチング、野生の重力、星、朝焼け ⑧稚内 稚内空港OUT
5.地域らしさ	開拓→アイヌ→自然 内陸→海へ 山→海(対比) 豊かな雪=スノーシュー
6.AT要素の盛り込み ~自己変革 ~ユニークさ ~挑戦的要素 ~健康獲得 ~環境配慮 ~地域貢献	【自己変革】開拓→火山→自然 【ユニークさ】寒さ、踏み入れたことのない所(雪) 【挑戦的要素】火山口に近づく 【健康獲得】たくさん歩く 【環境配慮】徒歩で移動、JR 【地域貢献】食・泊・ガイド

【旭川会場7】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	サロマでしか体験できない! ~オホーツク人とサロマ
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	サイクリング(冬)、トレッキング、フィッシング
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	1日目:AM オホーツク人とサロマ湖の歴史 2日目:サロマ湖展望台から結氷サロマ湖体験(スノーシュートレッキング) 地場食材で屋食(料理レクチャー) 3日目:PMスノーモービルorサイクリング移動 水穴シリ 4日目:ホタテ加工場見学
5.地域らしさ	オホーツク人 ホタテ海産 サロマ湖の歴史
6.AT要素の盛り込み ~自己変革 ~ユニークさ ~挑戦的要素 ~健康獲得 ~環境配慮 ~地域貢献	日本の古くからの営みが環境に優しいと知ってもらう 【ユニークさ】冬のサイクリング サロマでしか体験できない 【挑戦的要素】極寒の中でのトレイル 【健康獲得】トレイル 【環境配慮】ホタテのカラ、工場見学 【地域貢献】地元の漁師の料理(地域発信)

【旭川会場8】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	自然(山と川)が育んだ産業・歴史の歩みを体感する
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	・下川町の山と川一家具産業を支える源探訪する ・旭川市内のまちあるき一まちの歴史を体感する
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	1日目:下川町の山林トレッキング(育林についてのガイドを受ける) エコハウス美桑宿泊 2日目:AM 下川町内の林行関連産業を営む人々を訪問 地元野菜やビザのピクニックランチ PM リバーウォーク 旭川市内泊 3日目:AM 旭川市内まち歩き(7条緑道・買い物公園など) (まちの歴史を聞きながら歩く) ハルニレカフェランチ PM 旭川家具センターで家具産業の歴史を勉強する
5.地域らしさ	旭川家具のルーツをアクティビティを交えて学ぶ(アクティビティ×学び)
6.AT要素の盛り込み ~自己変革 ~ユニークさ ~挑戦的要素 ~健康獲得 ~環境配慮 ~地域貢献	【挑戦的要素】3日間歩き通す 【健康獲得】トレッキング、リバーウォーク、まちあるき、いずれも運動量が多い 【環境配慮】下川町の林業を生かした街づくりの学習 →最先端のエコロジーの町の取り組みを通じた環境意識の高まり 【地域貢献】地域の事業者(下川町内のガイドなど)との協業

2-3-10 帯広会場

①会場参加者及びワークショップグループ分け

◆現地参加

エリア	ご所属	お名前	グループ	
1	ー	通訳案内士	手塚 睦様	1
2	十勝	(株)おびろん観光	藤田 薫様	1
3	帯広	十勝シティデザイン(株)馬車BAR	永田 剛様	1
4	ー	十勝ガイドサービス遊方屋	鞘野 紳量様	1
5	ー	株式会社ディ・キャスト	手塚 大介様	1
6	鹿追	トマルカフェ鹿追	正保 緑様	2
7	上士幌	環境省大雪山国立公園管理事務所	樋口 峻也様	2
8	ー	日本航空(株)	鈴木 直様	2
9	上士幌	ひがし大雪自然ガイドセンター	上村 潤也様	2
10	芽室	芽室町役場商工観光課	及川 雅敦様	2
11	清水	森の馬小屋	田中 次郎様	2
12	ー	株式会社JTB北海道事業部帯広オフィス	鈴木 克浩様	3
13	ー	プロコム北海道	西山 雄貴様	3
14	上士幌	上士幌観光協会	鈴木 宏様	3
15	南富良野	(有)北海道アドベンチャーツアーズ	寺田 雄仁様	3
16	ー	通訳案内士	山川 真幸子様	4
17	ー	日本航空(株)	鈴木 剛様	4
18	ー	プロコム北海道	関向 樹志様	4
19	上士幌	Hot air	小田切 光様	4
20	ー	十勝観光連盟	澤田 寛子様	5
21	ー	株式会社JTB北海道事業部帯広オフィス	丸井 宏之様	5
22	帯広	帯広市観光交流課	佐藤 光也様	5
23	上士幌	(株) karch	平野 健太郎様	5
24	芽室	芽室町役場商工観光課	上高 寛様	5
25	更別	更別町産業課	福島 しほり様	5
26	長万部	長万部町長万部空き店舗 project	佐藤 理華様	6
27	音更	音更町商工観光課観光係	西尾 信吾様	6
28	ー	株式会社JTB北海道事業部帯広オフィス	岡林 大輔様	6
29	足寄	足寄町役場経済課	金 根様	6
30	浦河	浦河観光協会	中川 貢様	6
31	長万部	長万部町長万部空き店舗 project	佐藤 華林様	7
32	様似町	様似町役場商工観光課	佐々木 将貴様	7
33	清里	知床清里ウエネウサルみどり	高木 公平様	7
34	浦河	浦河町役場	眞田 一哉様	7
35	様似	様似町観光協会	徳重 誠様	7
36	札幌	一般社団法人水難学会	斎藤 弘樹様	7
37	清里	知床清里ウエネウサルみどり	菅野又 康彦様	8
38	清里	知床清里ウエネウサルみどり	島貫 晴子様	8
39	様似	様似町役場商工観光課	佐々木 泰様	8
40	むかわ	むかわ町役場	両角 創平様	8
41	ー	株式会社JTB北海道事業部帯広オフィス	山川 拓郎様	8
42	帯広	帯広市役所観光交流課	磯野 照弘様	8
43	ー	グリーンツーリズムネットワーク	山岸宏様	

◆オンライン参加

エリア	ご所属	お名前	
1	阿寒	NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構	香川 謹吾
2	ー	(株)ジャルバック	星川 明日香
3	ー	北海道開発局	長南 哉
4	羽幌	羽幌町	近藤 優樹
5	羽幌	羽幌町	平野 健司
6	ー	北海道開発局観光振興機構	岩田 昌之
7	猿払	猿払村	渡部 民夫
8	猿払	猿払村	成田 永遠希
9	猿払	猿払村	瀧澤 望
10	鹿追	鹿追町観光協会	大西 亮一
11	倶知安	MY ECO LODGE SDN BHD	番場 彩子
12	羅臼	知床羅臼町観光協会	若林 育代
13	ー	ドラゴンツアー	幸田 順一

◆講師

所属	名前
1 黒松内観光協会	本間 崇文

◆事務局

所属	名前
1 北海道運輸局観光部 次長	水口 猛
2 北海道運輸局観光部観光企画課 地域第一係長	森 恭兵
3 北海道運輸局観光部観光企画課 (浦河町派遣)	岩城 国松
4 北海道運輸局 帯広運輸支局企画担当	樋渡 健
5 (株)北海道宝島旅行社 代表取締役社長	鈴木 宏一郎
6 (株)北海道宝島旅行社 営業部	武田 恵
7 (株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部	齊藤 みずき
8 (株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部	常井 玄
9 (株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部	合田 紘之
10 (株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部	小濱 有希子

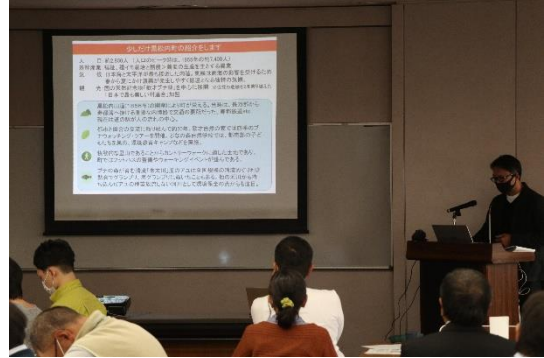
現地参加	オンライン参加	合計人数
43	13	56

2-3-10 帯広会場

②イベントの様子



北海道宝島旅行社 鈴木による AT についての情報提供。AT の基礎を説明した。



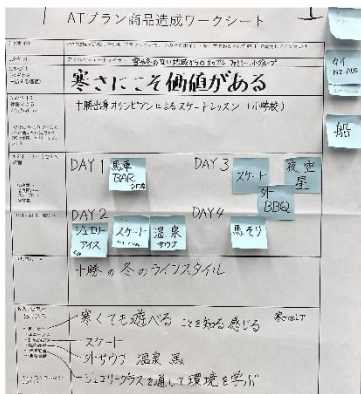
本間崇氏による講演。AT の地域貢献と AT 誘致にあたっての課題を、ガイドの視点でお話いただいた。



十勝エリアの動画上映・解説



ワークショップ中



ワークショップ-発表-



講師やスタッフより、ワークショップの講評があった。

## 2-3-10 帯広会場

### ③ワークショップと成果

当日は7グループに分かれてワークショップを実施した。

※人数の不足により、合併したグループがあった。

各グループが作成したワークシートの内容をまとめると次の通りになる。

大まかな地域の特性として、開拓の歴史をコンセプトとして挙げるグループが多い印象である。生活の糧であった農業や酪農、開拓時の貴重な動力であった馬の体験、林業とその運搬方法であった鉄道など、文化的な学び・自己変革の要素を含んだアクティビティが挙げられていた。身体的アクティビティも比較的ライトなもの傾向が強く、タウシュベツトレッキングや、然別湖でのカヌーが挙げられている。その他アポイ岳の登山(難易度3程度)も含まれている。

#### 【帯広会場1】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー(雪や冬のない地域からのカップル、ファミリー、小グループ)
2.コンセプト	寒さにこそ価値がある
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	十勝出身オリンピックによるスケートレッスン(小学校)
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	1日目:馬車BAR 2日目:ジュエリーアイス、スケート、温泉・サウナ 3日目:スケート、BBQ、夜に星を見る 4日目:馬そり
5.地域らしさ	十勝の冬のライフスタイル
6.AT要素の盛り込み ~自己変革 ~ユニークさ ~挑戦的要素 ~健康獲得 ~環境配慮 ~地域貢献	自己変革:寒くても遊べることを知る、感じる 挑戦的要素:スケート 健康獲得:外サウナ、温泉、馬 地域貢献:ジュエリーグラスを通して環境を学ぶ

#### 【帯広会場2】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	十勝の大地を流れる水と人の暮らし 冬:山を渡る歴史 絶景 夏:川を下る 冬:冬山を堪能
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	夏:川を下る 冬:冬山を堪能
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	<夏> 1日目:ダムで浮かぶ 2日目:川下り ラフティング サウナ 3日目:畑収穫体験、地元直売所見学、パン屋(水にこだわっている) <冬> 1日目:峠からダウンヒル、スノーシュー(温泉前泊) 2日目:三股スノーシュー、林業栄枯を知る(温泉) 3日目:タウシュベツ橋、ダムの歴史(昔と今を知る)、ワカサギ釣り 4日目:然別湖越え 歩くスキー
5.地域らしさ	<夏> 水の流れにそった十勝らしさの実感 <冬> 冬山絶景、地域の歴史、東大雪の自然
6.AT要素の盛り込み ~自己変革 ~ユニークさ ~挑戦的要素 ~健康獲得 ~環境配慮 ~地域貢献	<夏> ・食(水)に対する意識の向上 ・地域の人によるサポート ・環境に対して優しいアクティビティ(自転車ラフティング) <冬> ・歴史人に翻弄された自然 ・雪山の功略 ・糖平湖温泉で健康



2-3-10 帯広会場

③ワークショップと成果

【帯広会場3】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	十勝150年の開拓の歴史と日本一食糧基地になるまでの食生産の変遷の歴史。 十勝アイヌとの関りの歴史。
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	空→熱気球、海→歩き、平野→サイクリング、山→登山、川→ボート 豊かな大地を味わう(農家体験、収穫、野外料理)※小麦をひくところから始めてうどん 作り等
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	序章①帯広百年記念館、アイヌ舞踊 展開部②食生産の現場体験、野外料理 ピーク部③海岸線砂浜歩き、サイクリング、川下り、熱気球、登山の組み合わせ 終章④ジュエリーアイス等の絶景(夕日)
5.地域らしさ	十勝の食(山・川・平野・海・放牧等全てが食につながっている)
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	ユニークさ 厳しい環境をのりきるための知恵 (先住民族アイヌが実践してきた自然との共生)が豊かな大地をつくりだしてきた。

【帯広会場4】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー レベル2
2.コンセプト	十勝150年の栄枯衰弱のドラマ～馬目線で十勝の開拓の歴史をたどる
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	1日目:百年記念館で十勝150年の開拓の歴史を万部 2日目:林業で栄えた歴史を学ぶ(タウシュベツへのトレッキング) 鉄道資料館、ひがし大雪自然観で予備学習 3日目:農業で栄えた歴史を学ぶ(十勝のダイナミックな畑を見下ろす) しかりべつ湖扇ヶ原展望台→神田日勝記念美術館 ダウンヒル 4日目:ばんえい競馬
5.地域らしさ	ばん馬“馬とともに生きる”
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	自己変革:十勝150年の歴史を感じることでフロンティアスピリッツを体感して帰る ユニークさ:わずか150年の変遷

【帯広会場5】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	日本の食糧庫十勝の営みを巡る旅
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	然別湖～カヌー、キャンプ ネイチャーセンターガイドメニュー
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	1日目:十勝が丘展望台、十勝川温泉 モール温泉泊 2日目:いただきますカンパニー農業体験、畑ランチ、鹿追町バイオガスパラント見学 然別湖ナイトクルージング、星空、集めた食材で夕食 カントリーパバ泊 3日目:早朝熱気球、カヌー、農村散策、釣り、登山 カントリーパバ泊 4日目:牧場体験、ランチ、ジギスカン チーズ料、動物化石博物館、 放牧酪農→チーズ、ラワンブキ
5.地域らしさ	—
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	—

2-3-10 帯広会場

③ワークショップと成果

【帯広会場6班】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	日高アイヌ文化の体験
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	アイヌ衣装を身にまとい、火を囲み、ツアー中に集めた食材を調理し皆で一緒に食べる
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	・二風谷博物館でアイヌ文化を学ぶ ・アボイ登山(鹿をとる祈りを山頂で)(アイヌの祈りの歌を覚える) ・定置網漁で鮭をとる(様似) ・アイヌ料理を学ぶ
5.地域らしさ	暮らしに息づくアイヌ文化
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	アイヌ文化という日常とは違う文化にふれることにより、日常を相対化できる 登山で頂上を目指す 地元産業のアクティビティを使い、お金をおとす

【帯広会場7班】

1.ターゲット	アドベンチャートラベラー
2.コンセプト	五感をこえさせたい
3.コンセプトを体感できる メインアクティビティ	キャンピングカー→ナイトサファリ、星空、カヌー、サイクリング、BBQセット、SAP ヨガ、 釣り、ドラム缶
4.ストーリーを含んだ旅程 ①序章 ②展開部 ③ピーク部 ④終章	①安全 ②北海道のこわさ(深さ)を学ぶ ③自然の醍醐味を味わう ④生きる喜び(野生)
5.地域らしさ	温泉、えぞ鹿(肉)、ヒグマ、鮭、流水、道産野菜、アイヌ、海の幸、雪
6.AT要素の盛り込み ～自己変革 ～ユニークさ ～挑戦的要素 ～健康獲得 ～環境配慮 ～地域貢献	【地域貢献】宿泊施設がなくても人が来る

## 2-3. 地域ごとのネットワーキングイベントの開催

### 2-3-11 アンケート結果

北海道アドベンチャートラベルミーティングを対象に下記の様式にてアンケートを実施した。アンケートは全日程参加および日程のいずれかに参加した人を対象に実施した。

#### <北海道アドベンチャートラベルミーティングのアンケート様式>

北海道アドベンチャートラベル ミーティング 白老会場 アンケート																			
<p>この度はご参加いただき誠にありがとうございます。皆さまのご意見を今後の取組の参考にさせていただきますので、アンケートへの記入のご協力をよろしくお願い致します。なお、アンケート用紙とペンは記入後、受付にお渡しください。</p>																			
<p>1. ご所属等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">ご所属名:</td> <td style="width: 50%;">お名前:</td> </tr> </table>		ご所属名:	お名前:																
ご所属名:	お名前:																		
<p>2. 内容について(該当する数字に○を、枠内にはその理由をお書きください)</p> <p>(1)「情報提供 アドベンチャートラベルとは／AT 実践者の講演」の内容について</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">5. とても参考になった</td> <td style="width: 20%;">4. やや参考になった</td> <td style="width: 20%;">3. ふつう</td> <td style="width: 20%;">2. あまり参考にならなかった</td> <td style="width: 20%;">1. まったく参考にならなかった</td> </tr> </table> <p>その理由:</p>		5. とても参考になった	4. やや参考になった	3. ふつう	2. あまり参考にならなかった	1. まったく参考にならなかった													
5. とても参考になった	4. やや参考になった	3. ふつう	2. あまり参考にならなかった	1. まったく参考にならなかった															
<p>(2)ワークショップ「AT プラン商品造成」の内容について</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">5. とても参考によかった</td> <td style="width: 20%;">4. やや参考になった</td> <td style="width: 20%;">3. ふつう</td> <td style="width: 20%;">2. あまり参考にならなかった</td> <td style="width: 20%;">1. まったく参考にならなかった</td> </tr> </table> <p>その理由:</p>		5. とても参考によかった	4. やや参考になった	3. ふつう	2. あまり参考にならなかった	1. まったく参考にならなかった													
5. とても参考によかった	4. やや参考になった	3. ふつう	2. あまり参考にならなかった	1. まったく参考にならなかった															
<p>(3)今日の全体を通しての感想</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">5. とてもよかった</td> <td style="width: 20%;">4. まあまあよかった</td> <td style="width: 20%;">3. ふつう</td> <td style="width: 20%;">2. あまりよくなかった</td> <td style="width: 20%;">1. よくなかった</td> </tr> </table> <p>その理由:</p>		5. とてもよかった	4. まあまあよかった	3. ふつう	2. あまりよくなかった	1. よくなかった													
5. とてもよかった	4. まあまあよかった	3. ふつう	2. あまりよくなかった	1. よくなかった															
<p>3. 地域の観光の課題について</p> <p>(該当する数字に○を、枠内および[ ]にはご要望等をお書きください)</p> <p>(1)気になっているキーワード、地域の課題である感じていることについて(※複数選択可)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">1. 地域とのコミュニケーション(事業者との連携)</td> <td style="width: 33%;">2. 地域の戦略づくり</td> <td style="width: 33%;">3. 2次交通</td> </tr> <tr> <td>4. 旅行商品造成・売り方</td> <td>5. ご当地商品の開発・売り方</td> <td>6. 外国語対応</td> </tr> <tr> <td>7. 新規顧客・リピート客の確保</td> <td>8. 品質管理・リスクマネジメント</td> <td>9. 民泊・農泊等多様な受入態勢の構築</td> </tr> <tr> <td>10. 顧客の旅行消費行動トレンド</td> <td>11. デジタル・Web マーケティング(リサーチ)</td> <td>12. デジタル・Web マーケティング(プロモーション)</td> </tr> <tr> <td>13. ICT・AI 等先進技術の観光領域への導入</td> <td>14. ガイド事業やガイド育成</td> <td>15. KPI・KGI・効果測定</td> </tr> <tr> <td colspan="3">16. その他( )</td> </tr> </table> <p>(2)上記について、そのほか記載があればご記入ください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: right;">以上です。</p>		1. 地域とのコミュニケーション(事業者との連携)	2. 地域の戦略づくり	3. 2次交通	4. 旅行商品造成・売り方	5. ご当地商品の開発・売り方	6. 外国語対応	7. 新規顧客・リピート客の確保	8. 品質管理・リスクマネジメント	9. 民泊・農泊等多様な受入態勢の構築	10. 顧客の旅行消費行動トレンド	11. デジタル・Web マーケティング(リサーチ)	12. デジタル・Web マーケティング(プロモーション)	13. ICT・AI 等先進技術の観光領域への導入	14. ガイド事業やガイド育成	15. KPI・KGI・効果測定	16. その他( )		
1. 地域とのコミュニケーション(事業者との連携)	2. 地域の戦略づくり	3. 2次交通																	
4. 旅行商品造成・売り方	5. ご当地商品の開発・売り方	6. 外国語対応																	
7. 新規顧客・リピート客の確保	8. 品質管理・リスクマネジメント	9. 民泊・農泊等多様な受入態勢の構築																	
10. 顧客の旅行消費行動トレンド	11. デジタル・Web マーケティング(リサーチ)	12. デジタル・Web マーケティング(プロモーション)																	
13. ICT・AI 等先進技術の観光領域への導入	14. ガイド事業やガイド育成	15. KPI・KGI・効果測定																	
16. その他( )																			
<p>ご協力ありがとうございました。</p>																			

### ①アンケート回収率

参加者のアンケート回収状況は下記の表のとおりとなった。

ニセコ会場、弟子屈会場の2会場が70%を超える回答者数となっており、ATへの関心の高さがうかがえる。

また、現地参加者とオンライン参加者を比較すると、どの会場もオンライン参加者からのアンケートの戻りが極端に低い傾向がある。中でも旭川会場、帯広会場は0となっている。理由としてはすべての会場のオンライン参加者がほぼ同じであったこと、オンライン参加者はワークショップの参加ができなかったことが考えられる。(アンケート回収に関しては、イベント終了直後にメールで催促、および1週間後に未回答者に対し、催促を行っている。)

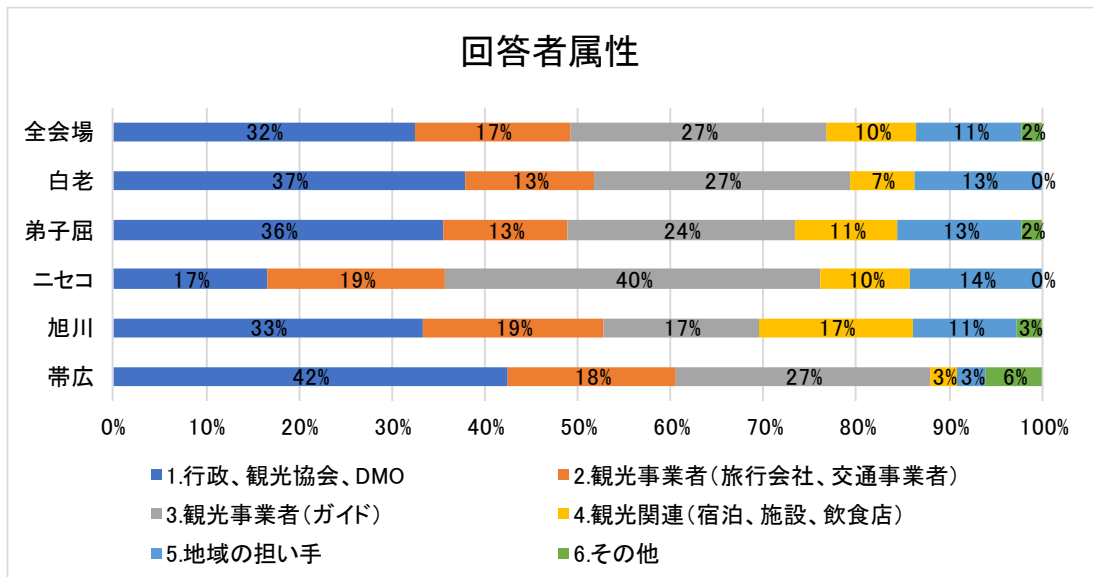
今後は、オンラインの参加者同士でのワークショップを実施するなどの工夫を行い、改善を図っていく必要がある。

参加形態	会場						
	(内訳)	白老会場	弟子屈会場	ニセコ会場	旭川会場	帯広会場	全会場
全参加者	参加者数	69	64	57	71	56	317
	回答数	30	45	42	36	33	186
	回収率	43%	70%	74%	51%	59%	59%
現地	参加者数	41	49	44	46	43	223
	回答数	29	44	38	36	33	180
	回収率	71%	90%	86%	78%	77%	81%
オンライン	参加者数	28	15	13	25	13	94
	回答数	1	1	4	0	0	6
	回収率	4%	7%	31%	0%	0%	6%

### ②回答者属性

回答者属性は、アンケートの回答結果より下記の通りとなった。

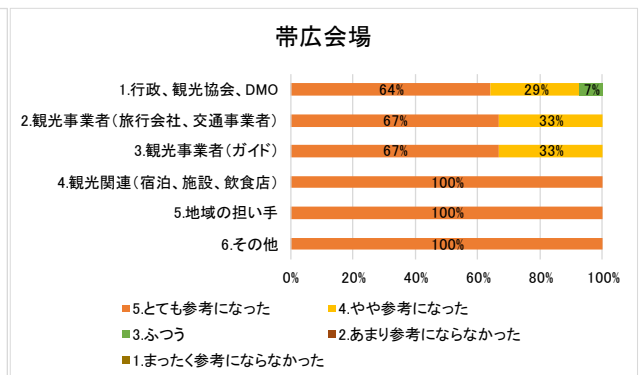
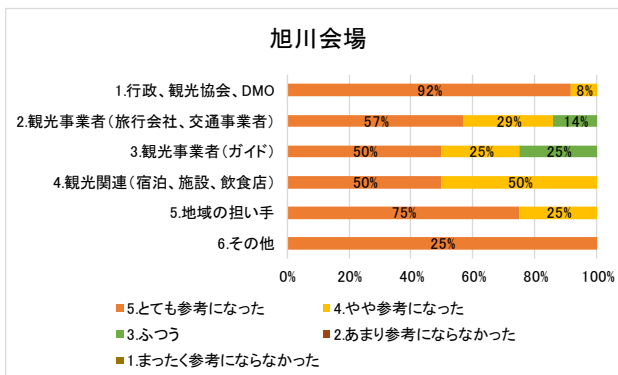
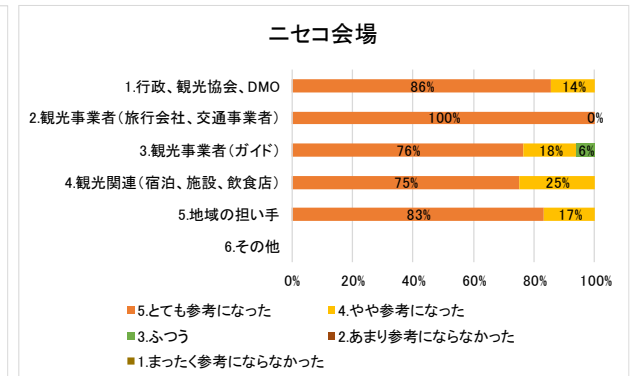
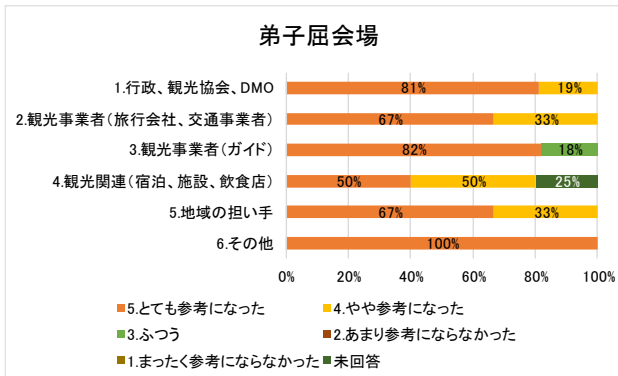
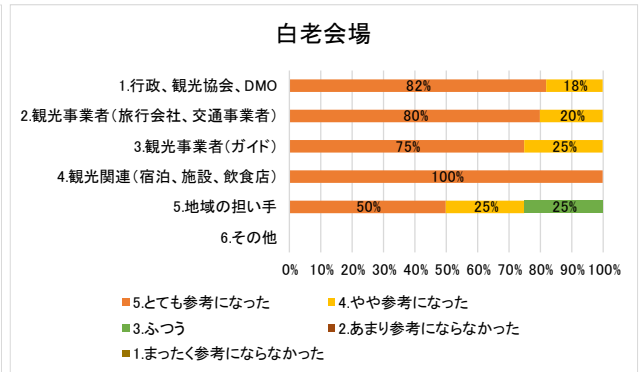
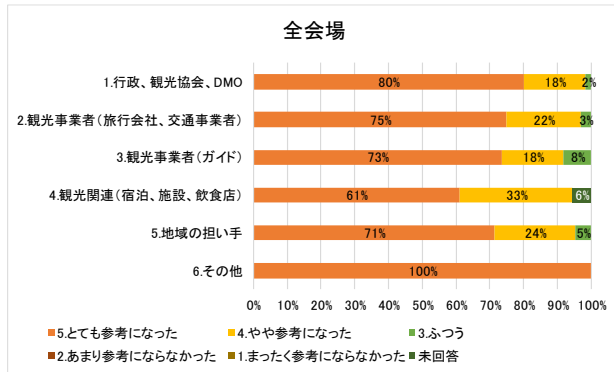
全体的に行政、観光協会、DMOに所属している回答者が多く33%を占めているが、ニセコ会場は地域の担い手(農家、漁業者、その他)の方が31%と他の会場より高い割合を示した。





### ③情報提供／AT実践者の講演

各会場、各所属共に7割以上の「とても参考になった」「やや参考になった」の回答が得られる、満足度の高いプログラムであった。特に巻き込みを図りたい属性である「地域の担い手」については「やや参考になった」以下の選択肢は見られない回答となった。



#### 【自由回答抜粋】

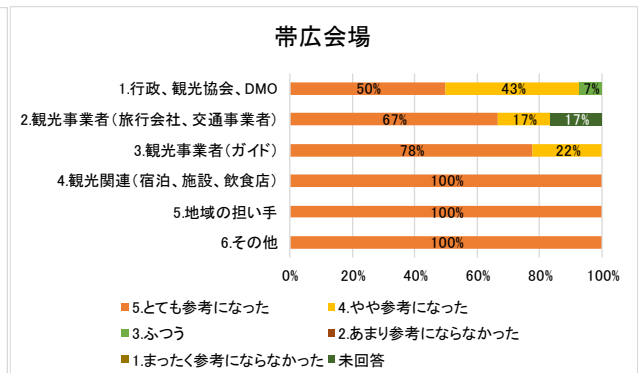
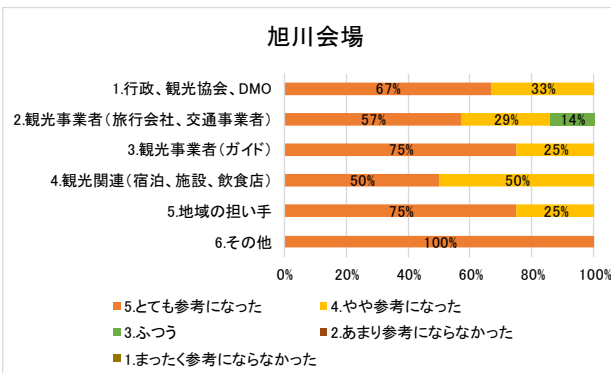
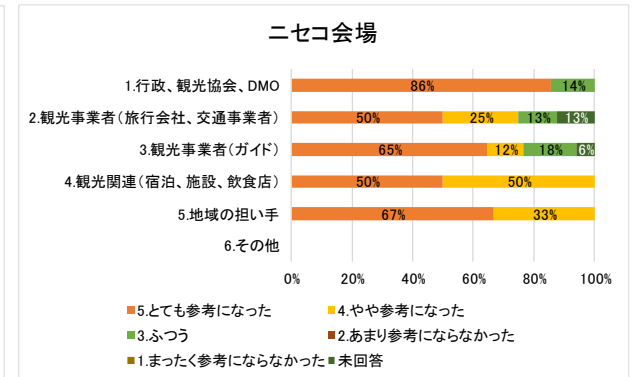
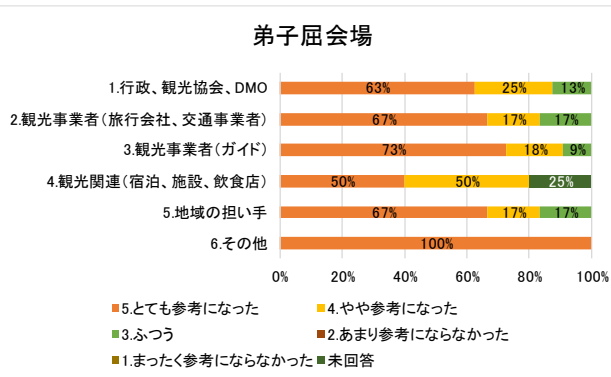
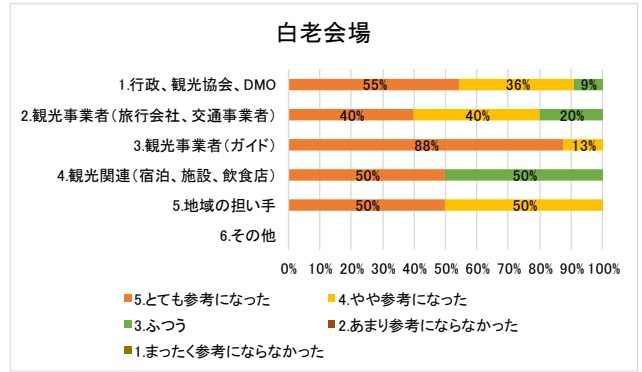
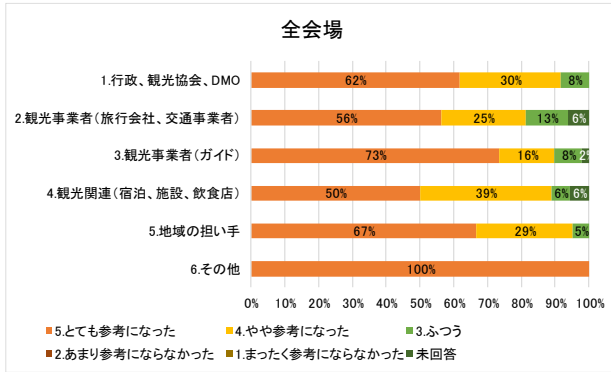
「とても参考になった」・・・ATを知らなかったので参考になった。実践例が聞けてよかった。たくさんの方々と話すことによって視野が広がりました。

「やや参考になった」・・・以前も聞いたことがある内容。実践者の講演なので参考になった。海外の成功事例やそこまでのストーリーを知れたらと思いました。

「ふつう」・・・何度も聞いた内容だったので。専門的なだけでなく広域に渡っており、関心はしたが実行が不能。画面が小さく文字が見えなかった。

#### ④ワークショップ

各会場、各所属ともに「とても参考になった」「やや参考になった」の選択が7割以上の満足度の高いプログラムであったが、自由回答を見ると、「初めて会った人とのやり取りでまとめまでに時間がかかった」など、ファシリテートや実施方法に工夫が必要な旨の記載があった。しかし、異業種の人とのやり取りがあり良かったなどの回答もあり、総じて高評価。

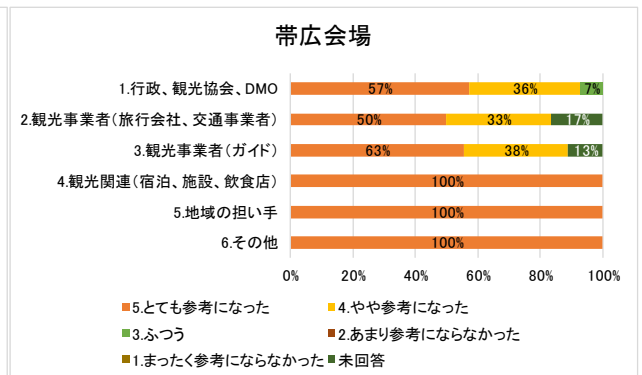
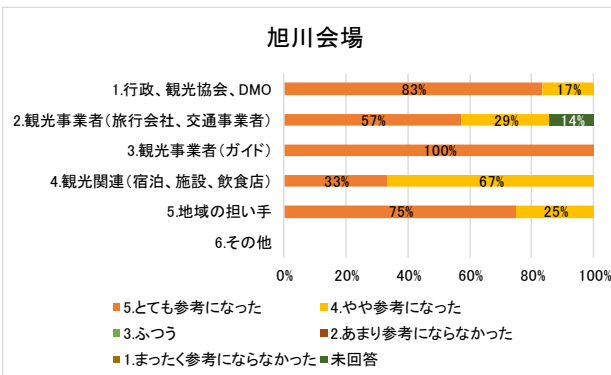
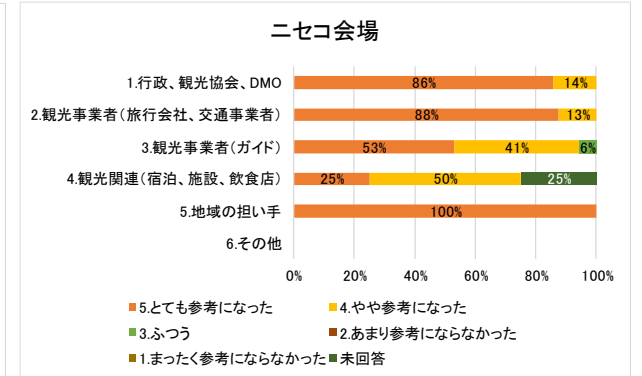
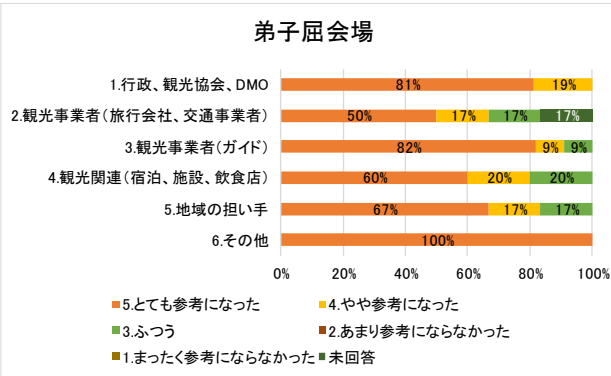
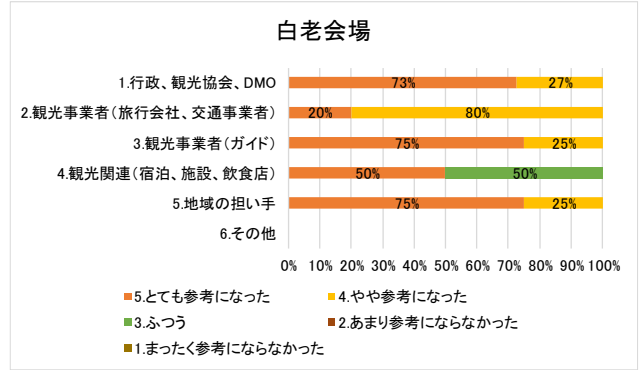
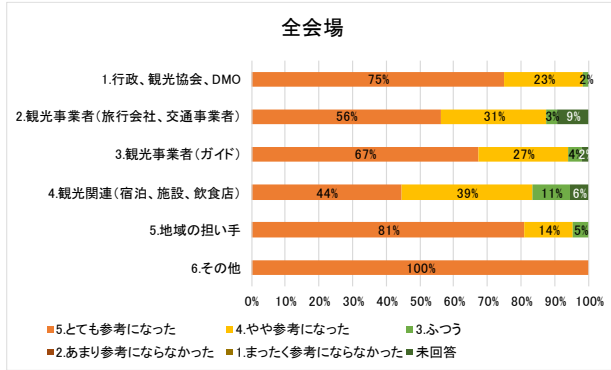


#### 【自由回答抜粋】

- 「とても参考になった」・・・コンセプトの大切さと、アクティビティの関係が勉強になった。他地域の魅力を知ることができるきっかけになった。
- 「やや参考になった」・・・色々な意見交換ができて参考になった。もう少し絞ったテーマで。内容は良かったが、まとめる時間が足りなかった。
- 「ふつう」・・・初めて会ったメンバーでは強力なリーダーシップをとることもできないため、それぞれに遠慮しそれなりのものになってしまう。目的がちよっと不明でした。時間が少なく感じました。

### ⑤ イベント全体を通じた評価

全体8割以上が「とても参考になった」「やや参考になった」と回答した。評価の理由として異業種の人々と会えたこと(ネットワークができた)、ATについて理解が促進したことが主な理由として挙げられていた。



#### 【自由回答抜粋】

「とても参考になった」・・・ATツアー造成における考え方、組み立て方を学ぶことができて大変良かったです。造成する楽しさもあり、また、色々な方と情報交換できてよかったです。

「やや参考になった」・・・様々な業種の方とお話もでき有意義でした。関係者同士の連携強化という目的は達成できたと感じる。その意味ではワークの総評が若干厳しく感じました。

「ふつう」・・・オンライン参加のため音声の中断で話の内容がハッキリしないところがあった。ワークショップの時間が少なく感じました。

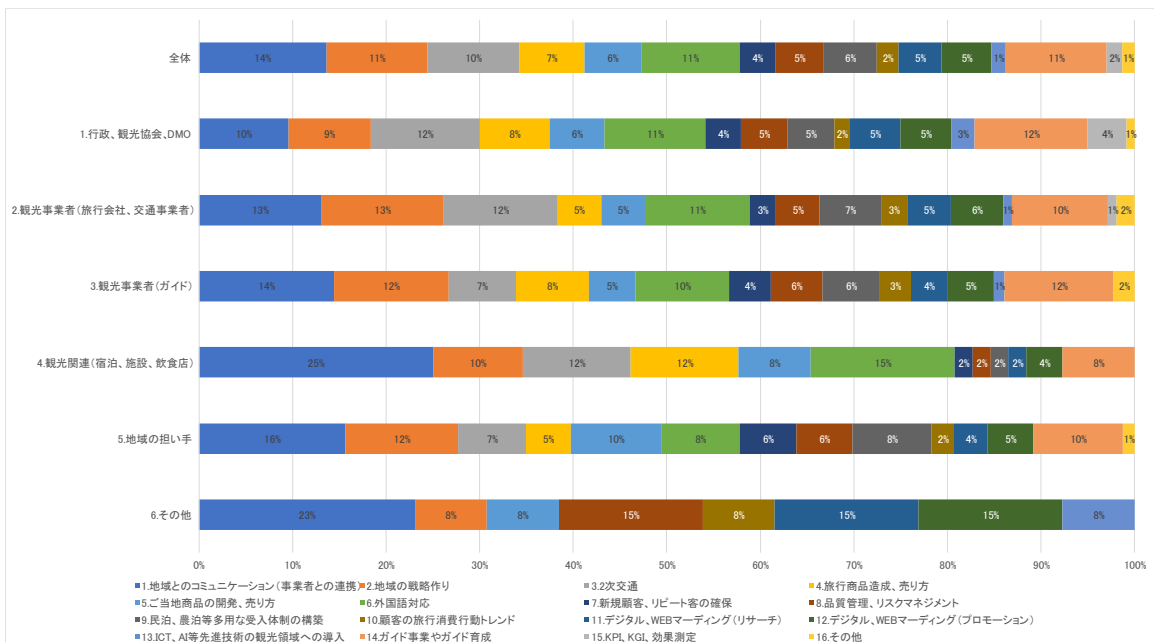
## ⑥観光の課題

全体で10%を超えた項目は「地域とのコミュニケーション(事業者との連携)」「地域の戦略作り」「2次交通」「外国語対応」「ガイド事業やガイド育成」である。

各属性における傾向としては、各属性ともに「地域とのコミュニケーション(事業者との連携)」が一番の課題に思っている事項であった。

### 【各属性における傾向】

- 1.行政、観光協会、DMO・・・他の属性より「KPI、KGI、効果測定」を挙げている割合が高く、地域の施策に対する費用対効果の測定方法について関心が高い傾向がある。
- 2.観光事業者(旅行会社、交通事業者)・・・「地域とのコミュニケーション(事業者との連携)」「地域の戦略作り」の関心が高く、同様に「2次交通」の項目も比較的高いことから、他の事業者との連携による価値の創造や、それによる地域の売り出し方に関心があるといえる。
- 3.観光事業者(ガイド)・・・「地域とのコミュニケーション(事業者との連携)」「ガイド事業やガイド育成」の関心が高く、自身のスキルアップや新たな商品価値の創造に関心があるといえる。しかし「品質管理・リスクマネジメント」の項目がそこまで他の事業者と割合が変わらないことを考えると、その点での理解促進が必要だと感じる。
- 4.観光関連(宿泊、施設、飲食店)・・・「地域とのコミュニケーション(事業者との連携)」「2次交通」「旅行商品の造成、販売」「外国語対応」が他の属性と比べ割合が高く、誘客とその対応についての関心が高い。
- 5.地域の担い手・・・「地域とのコミュニケーション(事業者との連携)」「ご当地商品の開発、売り方」「民泊、農泊等多様な受入体制の構築」の割合が高く、地域の人との連携で新たな商品づくりをし、自らも何等かの形で参画していきたいと感じていることが読み取れる。



地域ごとのネットワーキングイベントのアンケート結果より、全属性において地域とのコミュニケーション(事業者連携)が課題と感じていることが読み取れた。イベント全体の感想に「色々な方と情報交換できてよかった」などと記載があり、かつ全属性で「参考になった」との回答が大多数を占めていることから満足度の高いイベントであったことがうかがえる。

また、「非ガイド層」「ATを掴み切れていないガイド層」である地域の担い手についても同様の結果であり、イベントの当初の目的である「非ガイド層」「ATを掴み切れていないガイド層」の巻き込みについて、十分な効果が得られたと言える。



## 2-4. 地域ごとのAT機運の醸成 冬のモニターツアー

### 2-4-1. 目的

地域ごとの冬の日帰りのATエクスカージョンを造成し、地域関係者に実際に体感していただいた。当初は地域ごとのネットワーキングイベント前に実施予定であったが、各イベント参加者が出した意見を基にATエクスカージョンを組み立て、さらに体験した方が理解が促進し、巻き込みの効果が大きくなることから冬の開催とした。目的としては下記の通りである。

- ・「非ガイド層」「ATを掴み切れていないガイド層」ATへの理解促進と地域機運の醸成
- ・全道5か所の地域イベント参加者がワークショップで出したアイデアを体験してもらう。
- ・事業終了後も地域が持続的に各々で繋がりを深めてもらい、関係者の裾野の拡大を図る。

### 2-4-2 概要

ATエクスカージョンのモニターツアーを企画運営するにあたり、地域と内容の選定については、下記の通り行った。

- ・地域イベントで出たアイデアやコンセプトを活用する。
- ・事務局にて上記アイデアをAT視点で組立て直した。

同様にエクスカージョンの実施に当たって、事前にMICを周知し、かつ本番についてもスルーガイドをつけての全体説明なども実施した。

※MIC (Minimum Information for Customers)・・・全体の行程と内容、必要な携行品や装備、期待できる体験、体験上の注意点、事前に取得すべき顧客情報(年齢や身長等)、保険加入の有無(顧客側での加入可否)等に関する情報など、旅前に旅行者が得るべき最小限の情報

	開催日	エリア	コース名
1	令和3年 2月4日(木) 10:00～17:00	白老町	白老アイヌのルーツをたどる ～歴史巡り・森歩き・文化体験ツアー～
2	令和3年 2月4日(木) 8:00～15:00	網走市	北方民族 オホーツク人の足跡をたどるツアー ～ワカサギ氷下漁見学とバードウォッチング～
3	令和3年 1月26日(火) 10:00～16:00	蘭越町	米の産地蘭越で、おいしいお米の秘密を探る ～スノーシュー ツアー～
4	令和3年 1月20日(水) 9:30～14:00	美瑛町	丘のまち・びえいをめぐる ～丘のスノーシューツアー～
5	令和3年 1月22日(金) 13:00～16:00	上士幌町	十勝・糠平の歴史を探る ～冬のぬかびらスノーシューツアー～

参加者の募集方法については、北海道アドベンチャートラベルミーティング各会場の参加者へメール送付の他これまでに観光による地域づくりや体験型観光に携わってきた地域関係者へのメールや電話、対面での案内を行った。

## 2-4-3.コース概要

### コース1. 白老アイヌのルーツをたどる ～歴史巡り・森歩き・文化体験ツアー～

(難易度 1 : 緩やか 1 時間程度の森歩き)

2020 年に国立アイヌ民族博物館を含むウポポイ（民族共生象徴空間）が開業した地である白老で、過去の白老アイヌの歴史を知り、現代に技術を受け継ぐ伝承者と手仕事体験を通して交流をすることで、北海道の先住民族であるアイヌ民族・文化の未来を、参加者とともに考えるツアーです。



### コース2. 北方民族-オホーツク人の足跡をたどる ～ワカサギ氷下漁見学とスノーシューツアー～

(難易度 1 : 緩やか 2 時間半程度の野外のアクティビティ)

5 世紀～13 世紀にかけて、かつてオホーツク海沿岸に居住していたという謎の民族・オホーツク人。交易の民だったといわれているオホーツク人はカヤックで海を渡り、流氷と共に暮らし、そしてワカサギやチカ、海獣などを冬場には食して生活し、鷺の羽を交易品に外貨を稼いでいたといわれています。彼らの生活の一部を、今現在のアクティビティを通して知ることができるツアーです。



### コース3. 米の産地蘭越で、おいしいお米の秘密を探る ～スノーシューツアー～

(難易度 2 : 初級 約 2～3 時間程度のスノーシュー)

北海道屈指の美味しいお米の産地、蘭越町で美味しいお米の秘密を探るツアー。スノーシューで蘭越の魅力を堪能しつつ、この土地で美味しいお米が収穫できる理由をガイドと一緒に見つけにいけます。スノーシューを楽しんだ後は、使用するお米は全てらんこし米にこだわった街の茶屋のレストランでおにぎり作り。美味しさの秘密を知った後に、実際にらんこし米を味わいます。



### コース4. 丘のまち・びえいをめぐる ～丘のスノーシューツアー～

(難易度 1 : 緩やか 1 時間半程度の雪の中での軽ハイキング)

大雪山国立公園の西部に位置する、美瑛町の丘をスノーシューでめぐるツアーです。農地に許可を得た専属ガイドと一緒に、ふだんは農家さんしか見ることのできない特別な景色を見に行きます。活火山・十勝岳とともに生きてきた美瑛の人々と主幹産業である農業を、丘の上から俯瞰してみましょう。降りた後は美瑛でいちばん古い喫茶店でランチを楽しみます。



### コース5. 十勝・糠平の歴史を探る ～冬のぬかびらスノーシューツアー～

(難易度 1 : 緩やか 1 時間半程度の雪の中での軽ハイキング)

大雪山国立公園の南東部に位置する、糠平の森に佇む産業遺産をスノーシューで巡るツアーです。近年ではアイスバブルで有名な糠平湖で、国の有形文化財に登録された糠平川橋梁などにまつわる人々の暮らしのエピソードをガイドから聞くことができます。十勝の発展に寄与した糠平地区の産業の歴史を学ぶコースです。



2-4-4 アンケートフォーム・・・紙資源の廃止の観点から実験的にGoogleフォームでのアンケートを実施した。

アドベンチャートラベル北海道ミーティング モニターツアー参加者アンケート

\*必須

無題のセクション

1. ご所属①\*

回答を入力

2. ご所属②\*

選択

3. お名前\*

回答を入力

ご参加いただいたプログラムをお選びください（複数選択可）\*

- 1/20 モニターツアー 兵のまちひくいコース
- 1/22 モニターツアー 十勝・糠平コース
- 1/26 モニターツアー 釧路コース
- 2/4 モニターツアー 自衛コース
- 2/4 モニターツアー 剣道コース

テーマストーリーを感じることができたか。\*

- とてもよく感じることができた。
- 感じることができた。
- ほとんど感じることができなかった。
- 全く感じられなかった。

【自由記述】 テーマストーリーを感じることができたか。

回答を入力

スルーガイド（全体を通して説明するガイド）の役割に関して\*

- 必要だと感じることができた
- よくわからなかった

【自由記述】 スルーガイド（全体を通して説明するガイド）の役割に関して

回答を入力

地域について、アクティビティを通して理解することができたか\*

- よく理解することができた
- 未あお理解することができた
- ほとんど理解することができなかった
- 理解できなかった

【自由記述】 地域について、アクティビティを通して理解することができたか

回答を入力

アドベンチャートラベル北海道ミーティング モニターツアー参加者アンケート

\*必須

地域の観光の課題についてお聞かせください。

気になっているキーワード、地域の課題を感じていることについてお選びください。（複数選択可）\*

- 地域とのコミュニケーション（事業者との連携）
- 地域の戦略づくり
- 公共交通
- 旅行再訪誘導・売り方
- ご当地商売の開発・売り方
- 外国語対応
- 新規顧客・リピート客の確保
- 品質管理・リスクマネジメント
- 団体・農泊等多様な受け入れ態勢の構築
- 観光の旅行消費行動トレンド
- デジタル・WEBマーケティング（リサーチ）
- デジタル・Webマーケティング（プロモーション）
- ICT・AI等先端技術の観光領域への導入
- ガイド事業やガイド育成
- KPI・KGI・効果測定
- その他

キーワードについて気になることなどご自由にお書きください。

回答を入力

戻る 送信

Google フォームでパスワードも送信しないでください。

このフォームは株式会社北海道産業観光株式会社内で作成されました。 [不正利用の報告](#)

Google フォーム

2-4-5 冬のモニターツアー 白老コース

①MIC (Minimum Information for Customer)



**1-Day Guided Ainu Culture Tour in Shiraoi**  
白老アイヌのルーツをたどる ～歴史巡り・森歩き・文化体験ツアー～

**■ OVERVIEW | ストーリー**

日本列島北部周辺、とりわけ北海道の先住民族であるアイヌ民族。ひとえにアイヌ民族・文化といっても、実は北海道の中でも地域ごとに受け継がれる文化や風習、言葉などは、様々であり、まさに多様性そのものである。本ツアーでは、2020年に国立アイヌ民族博物館を含むウポポイ（民族共生象徴空間）が開業した地である白老で、過去の白老アイヌの歴史や自然と共に暮らす生活の知恵を知り、現代に技術を受け継ぐ伝承者と手仕事体験を通して交流をすることで、北海道の先住民族であるアイヌ民族・文化の未来を、参加者とともに考えるツアーである。

**■ HIGHLIGHT | ハイライト**

- ・前段の白老アイヌの歴史をインプットした上での、現代の伝承者との交流。
- ・アイヌと自然のかかわりについて知る、森歩き。



**GUIDE**

スルーガイド  
株式会社NEPKI（ネアキ）  
所在地：平取町宇二風谷  
米澤 諒

**ACTIVITY**

歴史巡り・森歩き・  
文化体験  
(シナノキの内皮を使ったカエカ（紐作り体験）と4本編みのプレスレット作り)

**DIFFICULTY**

レベル1  
森歩き：約1時間半  
地形：ほとんどアップダウンのない森の中の散策路

**■ WHAT TO TAKE | 持ち物**

- ・防寒着、温かい恰好、動きやすい服装（防寒、防水、防風）
- ・冬の靴（スノーブーツ）
- ※散策路は雪と水で非常に滑りやすくなっている可能性があります。すべりにくい靴でお越しください。
- ・帽子、手袋、ネックウォーマー、サングラス等
- ・水ボトル/水筒（屋食時の飲み物をご持参ください）
- ・不織布マスク（新型コロナウイルス対策）

**⚠ 雪の天候で野外に2時間程度滞在できる服装、装備でお越しください。**

汗冷えしないように、ウェアの下に速乾性のあるベースレイヤー、さらにフリースまたはライトダウンジャケット等と重ね着すると体温調節がしやすいです。

**■ ITENERY | 行程**

10:00	ポロトミンタラ（住所：高砂町1丁目1-21）集合  （行程中は貸切バスで移動）歴史巡り～アイヌ碑～白老駅通所跡～白老仙台湯跡 等
12:00	屋食@白老中央生活館  地元カフェのケータリングお弁当
13:15	ポロトの森歩き  約1時間半程度の散策路をガイドの案内で歩く
15:00	手仕事体験@白老中央生活館  ちょっとした交流（フリータイム）
17:00	ポロトミンタラ にて終了・解散

**■ INCLUDED | 料金に含まれるもの**

- ・屋食代、体験料
- ・ガイド料
- ・バス料金
- ・保険料、取扱手数料
- ※本ツアーは料金の徴収はございません

当日撮影する画像等は、事業報告のためのウェブサイト等に掲載させていただく可能性があります。支障がある場合は当日スタッフまでお知らせください。

株式会社北海道宝島旅行社（北2-597 ANTA正会員）  
〒060-0052 札幌市中央区南2条東2丁目8-1  
TEL: 011-252-2115 | <https://hokkaido-takarajima.com/>



2-4-5 冬のモニターツアー 白老コース

①MIC (Minimum Information for Customer)

■ ガイドのご紹介



アイスとソマリアのハーフ

**RYO YONEZAWA 米澤 諒**

父がアイス、母がソマリアの元で生まれ、10歳までカンボジアで生活し、日本に帰国。高校卒業まで東京で暮らし、自分の民族でもあるアイス文化について学ぼうと札幌大学に進学。

札幌大学卒業後にもっと専門的アイス文化を知るために、公益財団法人アイス民族文化財団の伝承者育成事業に参加し、アイス語・歴史・文化・技術等を3年かけて修得。

2020年4月より、アイス文化をより身近に感じ楽しんで貰うためのガイド業を始める。

**NEPKI-TOURに込める思い**

今までになかったガイドを作っていたい。  
アイス文化を様々な目線から見。

お客様の興味ある分野から見るアイス文化はどう映っているのかも知りたい。  
自分の得意な英語でアイス文化を知ってもらいたい。

■ 当日の集合場所・時間

2021年2月4日 (木) 午前 10:00 白老町 ポロトミンタラ (住所: 若草町1丁目1-21)



■ 当日の緊急連絡先・事前確認事項等の問合せ先

(株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部 担当: 常井 玄 (とこい げん)  
携帯 : 080-3303-6830 E-mail : tokoi@hokkaido-takarajima.com

■ 新型コロナウイルス対策として、以下の項目に該当する方はご参加をご遠慮いただきます。

- (1) 過去2週間以内に37.5℃以上の発熱のある方
- (2) せきのある方
- (3) のどの痛みのある方
- (4) 味覚の異常がある方
- (5) 嗅覚 (におい) の異常がある方
- (6) 過去2週間以内に、新型コロナウイルス感染者との接触があった方

なお、当日集合時にもスタッフが体温チェックを行います。  
その際に37.5℃以上の発熱があった場合にも参加をお断りさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

■ その他参考情報

- ・お車でお越しの際は、集合・解散場所であるポロトミンタラ駐車場にお停めください。安全なツアー催行のため、ツアー内における個人の車での移動はご遠慮いただいております。

[表面に記載の行程の難易度 (レベル1~5) について]

- 1 : Relaxed/Social (緩やか: 文化体験、軽いアクティビティ、野生動物観察)
- 2 : Easyactive (初級: 1日あたり2~4時間の簡単な身体的活動)
- 3 : Moderate (中級: ある程度の体力が必要、1日あたり約4~6時間の身体的活動)
- 4 : Vigorous (活発: 1日あたり5~8時間の身体的活動、それに見合う体力と経験が必要)
- 5 : Challenging (挑戦的: 最大8時間以上の身体的活動、それに見合う体力と経験が必須)

【補足資料】  
↓



【回答必須】  
ツアー後アンケート↓



株式会社北海道宝島旅行社 (北2-597 ANTA正会員)  
〒060-0052 札幌市中央区南2条東2丁目8-1  
TEL: 011-252-2115 | <https://hokkaido-takarajima.com/>

2-4-5 冬のモニターツアー 白老コース

②名簿

参加者

	所属	役職等	氏名	備考
1	Sotoasobu	代表	江川 理恵	
2	ワカサリゾート(株)	有珠山ロープウェイ 係長	飯田 理	
3	(一社)黒松内町観光協会	事務局長	本間 崇文	
4	余市エコビレッジ	スタッフ	齋藤 ともよ	
5	(一社)白老アイヌ協会	理事	阿部 敏昭	
6	(株)登別ゲートウェイセンター		紺野 由美子	
7	(一社)田辺市熊野ツーリズムビューロー	プロモーション事業部長	ブラッド トウル	
8	鹿部温泉観光協会	地域活性推進プロジェクト担当	金澤 佑	
9	胆振総合振興局	産業振興部 商工労働観光課 観光振興係	山下 知子	
10	(一社)知床羅臼町観光協会	地域おこし協力隊	土井 明子	
11	おびうん観光株式会社	旅行部 本部長	藤田 薫	
12	H2oアドベンチャー		庵 経弘	

受入

	所属	役職等	氏名	備考
1	(株)NEPKI		米澤 諒	受入側(スルーガイド)
2	(株)NEPKI		米田 哲雄	受入側(サポートガイド)
3	カフェミナパチセ	店主	田村 直美	受入側(飲食店)
4		アイヌ工芸家	河岸 麗子	受入側(手仕事体験)

事務局

	所属	役職等	氏名	備考
1	北海道運輸局		加茂 聖和	主催者
2	北海道運輸局室蘭運輸支局		阿部 泉	主催者
3	(株)北海道宝島旅行社	観光地域づくり部 コーディネーター	常井 玄	事務局

2-4-5 冬のモニターツアー 白老コース

③イベントの様子

1. 白老アイヌのルーツをたどる～歴史巡り・森歩き・文化体験ツアー～

①



白老駅北観光 インフォメーション センター (ポロミントラ)にてツアー冒頭に行程の全体像を説明。お互いの自己紹介も行い、グループマネジメントの要素も取り入れて実施。

②



行程間の移動中のバスの車内でも、アイヌ文化についてや、白老アイヌの背景知識などをスルーガイドの榎NEPKI米澤氏が説明。

③



歴史巡りのスタート地点として、元々白老のコタンがあった場所である白老町高砂のアイヌ記念広場にあるアイヌ碑前で、白老アイヌの歴史を説明。

④



昼食は、地元のコミュニティカフェミナパチセの地元食材をメインに使った現代風アイヌ料理が提供された。店主の田村氏から食材と料理の説明がなされた。

⑤



午後のポロトの森歩きでは、1時間半程度の散策の中で、アイヌ民族がどのように自然と共生してきたかをスルーガイドが解説。休憩では、アイヌのエント茶と鮭とばがサプライズで提供された。

⑥



ツアーのクライマックスは、現代に技術を受け継ぐアイヌ文化の伝承者の方に教わるシナノキの内皮を使ったカエカ(紐作り体験)と4本編みのプレスレット作り体験をした。



## 2-4-5 冬のモニターツアー 白老コース

### ④ イベントの感想




- ・敢えてウポポイを訪れず、白老コタンの起点から巡るという行程は、米澤さんならではの道 と思いました。
- ・アイヌ民族の誇りに触れ、「多様性を真に認め合うということ」とは？を考えるきっかけを頂きました。
- ・アイヌの方々の自然との関わり方がよく分かりました。お茶、コーヒーのサプライズも良かったです。



- ・自身が用意した木の内皮を工芸の方から説明してもらったなど、配慮が感じられました。
- ・アイヌ文化ならではの木材の使い方や精神性なども勉強になった

## 2-4-6 冬のモニターツアー 網走コース

## ①MIC (Minimum Information for Customer)



**北方民族-オホーツク人の足跡をたどる**  
～ワカサギ氷下漁見学とスノーシュー～

---

**■ OVERVIEW | ストーリー**

5世紀～13世紀にかけて、かつてオホーツク海沿岸に居住していたという謎の民族・オホーツク人。交易の民だったといわれているオホーツク人はカヤックで海を渡り、流水と共に暮らし、そしてワカサギやチカ、海獣などを冬場には食して生活し、鷺の羽を交易品に外貨を稼いでいたといわれています。彼らの生活の一部を、今現在のアクティビティを通して知ることができるツアーです。

**■ HIGHLIGHT | ハイライト**

- ・凍った網走湖の上を、漁師が実際の漁に活用しているスノーモービルとダッキーを使い、氷下漁のポイントまでご案内。漁師が作業している現場を見る。
- ・雑魚に群がる鷺などの姿を間近に見ながら、スノーシューで凍った網走湖を歩く。
- ・獲れたて新鮮のワカサギを油で揚げて天ぷらで食べる。
- ・地元の異業種ガイド協議会の人々との交流。

**GUIDE**

スルーガイド 田中聡志

**ACTIVITY**

産業見学  
スノーシューウォーキング  
食事

**DIFFICULTY**

レベル2  
産業見学：約1時間程度  
スノーシューハイイク：約2時間半  
地形：網走湖畔上 平坦な雪原

**■ WHAT TO TAKE | 持ち物**

- ・スキーウェアまたはそれに準ずるもの (防寒、防水、防風)
- ・スノーシューを取り付けられるブーツ
- ・ネックウォーマー等顔周りを保護できるもの (わかさぎのポイントまでが非常に冷えます)
- ・帽子、手袋、マフラー、サングラス等
- ・水ボトル/水筒
- ・不織布マスク (新型コロナウイルス対策)

**⚠️ 雪の天候で野外に4時間程度滞在できる服装、装備でお越しください。**

スノーシューは見た目以上に体力を使うスポーツです。汗冷えしないように、ウェアの下に速乾性のあるベースレイヤー、さらにフリースまたはライトダウンジャケット等と重ね着すると体温調節がしやすいです。また、終了後は着替えることをお勧めします。

**■ ITENERY | 行程**

8:30	網走湖畔 コネクトリップ (Connectrip) 集合
	集合
8:45	コネクトリップ ガイド開始
	概要説明、準備
9:00	網走湖水下待ち網漁見学
	見学ポイントまで移動 (スノーモービル、ダッキー)、見学
10:00	網走湖上 スノーシュー&バードウォッチング
	コネクトリップまで移動
12:30	コネクトリップにて昼食
	ワカサギ天ぷら、豚汁、ご飯、副菜
14:00	片付け終了後 解散

**■ INFORMATION REQUIRED | 事前にお知らせください**

- ・緊急連絡先→申し込み時に受領済み。
- ・持病、服用している薬 (あれば)
- ・アレルギーの有無、内容→申し込み時に受領済み。
- ・食事制限の有無、内容→申し込み時に受領済み。

**■ INCLUDED | 料金に含まれるもの**

- ・昼食
- ・ガイド料
- ・保険料、取扱手数料

※本ツアーは料金の徴収はございません

当日撮影する画像等は、事業報告のためのウェブサイト等に掲載させていただく可能性があります。支障がある場合は当日スタッフまでお知らせください。

株式会社北海道宝島旅行社 (北2-597 ANTA正会員)  
〒060-0052 札幌市中央区南2条東2丁目8-1  
TEL: 011-252-2115 | <https://hokkaido-takarajima.com/>

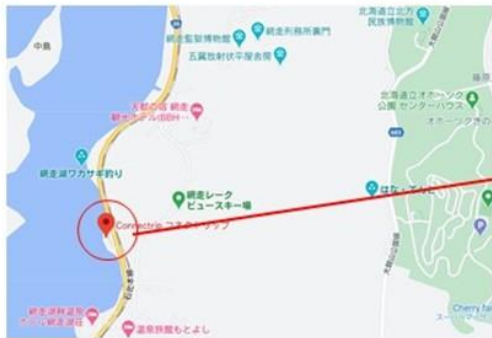


## 2-4-6 冬のモニターツアー 網走コース

### ①MIC (Minimum Information for Customer)

#### ■ 当日の集合場所・時間

2021年2月4日 (木) 午前 8:30 コネクトリップ (Connectrip) : 網走市宇呼人812-2



国道39号線を網走市から女満別方面へ向かう途中、網走湖畔温泉ホテル網走湖荘の手前の白い建物コネクトリップです。  
※駐車場あり。

#### ■ 当日の緊急連絡先

(株) 北海道宝島旅行社 観光地域づくり部 担当: 雨池 さやか (あまいけ さやか)  
携帯: 080-1973-8639

#### ■ 事前確認事項等の問合せ先

(株) 北海道宝島旅行社 観光地域づくり部 担当: 雨池 さやか (あまいけ さやか)  
携帯: 080-1973-8639 E-mail: amaike@hokkaido-takarajima.com

#### ■ 新型コロナウイルス対策として、以下の項目に該当する方はご参加をご遠慮いただきます。

- (1) 過去2週間以内に37.5℃以上の発熱のある方
- (2) せきのある方
- (3) のどの痛みのある方
- (4) 味覚の異常がある方
- (5) 嗅覚 (におい) の異常がある方
- (6) 過去2週間以内に、新型コロナウイルス感染者との接触があった方

なお、当日集合時にもスタッフが体温チェックを行います。  
その際に37.5℃以上の発熱があった場合にも参加をお断りさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

#### ■ その他参考情報

- ・お車でお越しの際は、コネクトリップ内の駐車場にお停めください。
- ・集合時には、スノーシューのできる格好でおいでください。ただし、スノーシュー前に徒歩移動や室内での説明等もございますので、温度調節のできるインナー等のご利用をお勧めします。
- ・氷下待ち網漁のポイントまでの移動がスノーモービル・スノーダッキーになります。顔周りが非常に冷える可能性がございますので、ネックウォーマー等のご準備をお勧めいたします。
- ・お食事は、コネクトリップの施設内での飲食になります。各お席にパーテーション等をご用意しておりますが、大声を出しての会話はお控えくださいますようお願い申し上げます。

[表面に記載の行程の難易度 (レベル1~5) について]

- 1: Relaxed/Social (緩やか: 文化体験、軽いアクティビティ、野生動物観察)
- 2: Easy active (初級: 1日あたり2~4時間の簡単な身体的活動)
- 3: Moderate (中級: ある程度の体力が必要、1日あたり約4~6時間の身体的活動)
- 4: Vigorous (活発: 1日あたり5~8時間の身体的活動、それに見合う体力と経験が必要)
- 5: Challenging (挑戦的: 最大8時間以上の身体的活動、それに見合う体力と経験が必須)

株式会社北海道宝島旅行社 (北2-597 ANTA正会員)  
〒060-0052 札幌市中央区南2条東2丁目8-1  
TEL: 011-252-2115 | <https://hokkaido-takarajima.com/>

## 2-4-6 冬のモニターツアー 網走コース

## ②名簿

## 参加者

	所属	役職等	氏名	備考
1	東川町産業振興課		石田 悠人	
2	オホーツク総合振興局産業振興部商工労働観光課観光室 観光振興係	主事	栗城 広賢	
3	Kussharo Factory		斎藤 敬子	
4	日本航空 北見支店	副支店長	赤間 正幸	
5	(一社)ひがしかわ観光協会	事務局長	高橋 匡	
6	のんのの森		上野 まゆみ	
7	津別町 地域おこし協力隊		吉井 晴紀	

## 受入

	所属	役職等	氏名	備考
1	mokki		田中 聡志	受入側(スルーガイド)
2	コネクトリップ		山根 様	受入側(サポートガイド)
3	西網走漁業協同組合	青年部部長	山本 正樹	受入側(氷下漁解説)
4	西網走漁業協同組合		古川 幸夫	受入側(氷下漁スノーモービル操作)
5	西網走漁業協同組合		牛渡 智之	受入側(氷下漁スノーモービル操作)
6	西網走漁業協同組合		中塚 佑哉	受入側(氷下漁スノーモービル操作)
7	大地のりんご	代表	道山 マミ	受入側(食事提供)
8	地域おこし協力隊		五十川 佳恵	受入側(食事提供)

## 事務局

	所属	役職等	氏名	備考
1	北海道運輸局		岩城 国松	主催者
2	(株)北海道宝島旅行社	観光地域づくり部 コーディネーター	雨池 さやか	事務局

2-4-6 冬のモニターツアー 網走コース

③イベントの様子



① スルーガイド田中氏による説明と参加者の自己紹介、漁師による地域の水産業の説明をコネクトリップにて実施。



② スノーモービル・ダッキーに乗り、網走湖上のワカサギ氷下漁のポイントへ。



③ ワカサギ釣りのポイントを見ながら、ガイドよりワカサギ漁についての説明があった。



④ 漁師が捨てた雑魚に群がる鷺。生活と自然が一体となり、共通の資源を活用している。



⑤ コネクトリップの施設までのスノーシュー。途中呼人半島の中に入り、アニマルトラックング。



⑥ 漁師から分けってもらったワカサギと地域の野菜を活用したピクルス、豚汁の昼食。

## 2-4-6 冬のモニターツアー 網走コース

### ④イベントの感想



- ・実際に現場を見ながら説明していただいたので、とてもリアルに暮らしぶりを感じることができました。
- ・漁の説明の他にも、野鳥や自然現象について、実際に見ながら説明を受けることができ、歩いている間も楽しく過ごすことができた。




- ・オホーツクの自然や網走湖ならではの地形なども見ることができ、今までとは違った角度からオホーツクを感じることができた。
- ・実際に間近で見たワカサギをその後食べることで、ツアーの中で繋がりを感じられて良かった。



2-4-7 冬のモニターツアー 蘭越コース

①MIC (Minimum Information for Customer)




**1-Day Guided Local Tour in Rankoshi by Snowshoe**  
 米の産地蘭越で、おいしいお米の秘密を探る～スノーシューツアー～

---

**■ OVERVIEW | ストーリー**

北海道屈指の美味しいお米の産地、蘭越町で美味しいお米の秘密を探るツアー。スノーシューで蘭越の魅力を堪能しつつ、この土地で美味しいお米が収穫できる理由をガイドと一緒に見つけにいけます。スノーシューを楽しんだ後は、使用するお米は全てらんこし米にこだわった街の茶屋のレストランでおにぎり作り。美味しさの秘密を知った後に、実際にらんこし米を味わいます。



**■ HIGHLIGHT | ハイライト**

- ・ 20年以上のガイド歴を持つ経験豊富なガイドと歩くニセコの冬の森のスノーシューツアー
- ・ 街の茶屋で地元民（店長の朝比奈隆之さん）との交流

**GUIDE**

スルーガイド  
 H20アドベンチャー（代表）  
 庵 経弘  
 （公社）日本山岳ガイド協会認定  
 登山ガイドステージⅡ

**ACTIVITY**

スノーシューハイキング

**DIFFICULTY**

レベル2  
 スノーシューハイイク：約2時間  
 地形：アップダウンのある未圧雪の森林  
 高低差：約30m

**■ WHAT TO TAKE | 持ち物**

- ・ スキーウェアまたはそれに準ずるもの（防寒、防水、防風）
- ・ スノーシューを取り付けられるブーツ  
**※大きいサイズの長靴や、大きめのスノーブーツ（ソレル等）は取付不可の場合があります。**
- ・ 帽子、手袋、ネックウォーマー、サングラス等
- ・ 水ボトル/水筒
- ・ 不織布マスク（新型コロナウイルス対策）

**⚠ 雪の天候で野外に2時間程度滞在できる服装、装備でお越しください。**

スノーシューは見た目以上に体力を使うスポーツです。汗冷えないように、ウェアの下に速乾性のあるベースレイヤー、さらにフリースまたはライトダウンジャケット等と重ね着すると体温調節がしやすいです。

**■ ITENERY | 行程**

9:45	街の茶屋（住所：蘭越町130） 集合
	受付・装備確認等・移動（貸切バス30分）
11:00	大湯沼周辺スノーシューツアー 開始  （約2時間半のスノーシュー）
13:30	大湯沼周辺スノーシューツアー 終了  大湯沼→街の茶屋 移動（貸切バス30分）
14:00	おにぎり作り・昼食@街の茶屋  ちょっとした交流（フリータイム）
15:30	街の茶屋 にて終了・解散

**■ INFORMATION REQUIRED | 事前にお知らせください**

- ・ 緊急連絡先
- ・ 持病、服用している薬（あれば）
- ・ アレルギーの有無、内容
- ・ 食事制限の有無、内容

**■ INCLUDED | 料金に含まれるもの**

- ・ 昼食代、体験料
- ・ ガイド料
- ・ バス料金
- ・ 保険料、取扱手数料

※本ツアーは料金の徴収はございません

当日撮影する画像等は、事業報告のためのウェブサイト等に掲載させていただく可能性があります。支障がある場合は当日スタッフまでお知らせください。

株式会社北海道宝島旅行社（北2-597 ANTA正会員）  
 〒060-0052 札幌市中央区南2条東2丁目8-1  
 TEL: 011-252-2115 | <https://hokkaido-takarajima.com/>



## 2-4-7 冬のモニターツアー 蘭越コース

### ①MIC (Minimum Information for Customer)

#### ■ 当日の集合場所・時間

2021年1月26日（火） 午前 9:45 蘭越 街の茶屋（住所：蘭越町130）



集合場所

#### ■ 当日の緊急連絡先

（株）北海道宝島旅行社 観光地域づくり部 担当：常井 玄（とこい げん）  
携帯：080-3303-6830

#### ■ 事前確認事項等の問合せ先

（株）北海道宝島旅行社 観光地域づくり部 担当：常井 玄（とこい げん）  
携帯：080-3303-6830 E-mail: tokoi@hokkaido-takarajima.com

#### ■ 新型コロナウイルス対策として、以下の項目に該当する方はご参加をご遠慮いただきます。

- (1) 過去2週間以内に37.5℃以上の発熱のある方
- (2) せきのある方
- (3) のどの痛みのある方
- (4) 味覚の異常がある方
- (5) 嗅覚（におい）の異常がある方
- (6) 過去2週間以内に、新型コロナウイルス感染者との接触があった方

なお、当日集合時にもスタッフが体温チェックを行います。  
その際に37.5℃以上の発熱があった場合にも参加をお断りさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

#### ■ その他参考情報

- ・お車でのお越しの際は、当日一度街の茶屋に車でご集合頂き、近くの駐車スペース（徒歩5分）をご案内します。安全なツアー催行のため、ツアー内における個人の車での移動をご遠慮いただいております。
- ・集合時には、スノーシューのできる格好でおいでください。ただ、スノーシュー前に徒歩移動や移動のバス内での説明等もございますので、温度調節のできるインナー等のご利用をお勧めします。

[表面に記載の行程の難易度（レベル1～5）について]

- 1：Relaxed/Social（緩やか：文化体験、軽いアクティビティ、野生動物観察）
- 2：Easyactive（初級：1日あたり2～4時間の簡単な身体的活動）
- 3：Moderate（中級：ある程度の体力が必要、1日あたり約4～6時間の身体的活動）
- 4：Vigorous（活発：1日あたり5～8時間の身体的活動、それに見合う体力と経験が必要）
- 5：Challenging（挑戦的：最大8時間以上の身体的活動、それに見合う体力と経験が必須）

ツアー補足資料↓



※QRコードの4ページ目以降は、指示があるまで見ないでください。

株式会社北海道宝島旅行社（北2-597 ANTA正会員）  
〒060-0052 札幌市中央区南2条東2丁目8-1  
TEL: 011-252-2115 | <https://hokkaido-takarajima.com/>

【回答必須】  
ツアー後アンケート↓



2-4-7 冬のモニターツアー 蘭越コース

②名簿

参加者

	所属	役職等	氏名	備考
1	Sotoasobu	代表	江川 理恵	
2	後志総合振興局	産業振興部商工労働観光課 観光振興係長	彌永 幸子	
3	今田農場(黒松内農家)		今田 知代	
4	NPO法人八雲元気村	事務局長	赤井 義大	
5	鹿部温泉観光協会	地域活性推進プロジェクト担当	金澤 佑	
6	(株)ニセコリゾート観光協会	旅行グループ マネージャー	小野寺 美佳	
7	後志総合振興局	産業振興部 商工労働観光課 観光戦略室 主任	関野 佐知	

受入

	所属	役職等	氏名	備考
1	H2oアドベンチャー		庵 経弘	受入側(スルーガイド)
2	株式会社まちづくりらんこし	「街の茶屋」店舗運営責任者	朝比奈 隆之	受入側(おにぎり体験)
3	(一社)蘭越町観光物産協会	事務局長	山口 要	受入側(サポートガイド)
4	(一社)蘭越町観光物産協会	旅行業務リーダー	石川 淳子	受入側(サポートガイド)

事務局

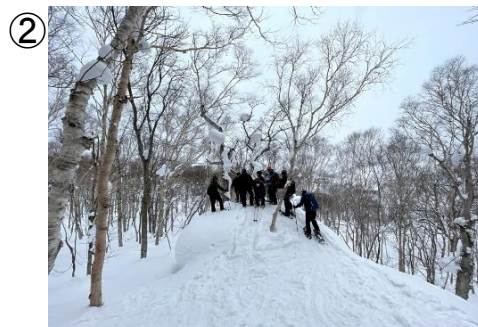
	所属	役職等	氏名	備考
1	北海道運輸局		田中 大輔	主催者
2	北海道運輸局		吉田 乙生	主催者
3	(株)北海道宝島旅行社	観光地域づくり部 コーディネーター	常井 玄	事務局

2-4-7 冬のモニターツアー 蘭越コース

③ イベントの様子



① スノーシュー開始前に、スルーガイドのH2o アドベンチャー庵氏による説明とともに、各自ギアの装着の仕方を確認。



② 大湯沼周辺で約2時間程度のスノーシュー散策。ニセコにパウダースノーが降る地形的な理由や、豊富な積雪量と品質の高い米作りとの繋がりなどの解説がされた。



③ スノーシューの休憩時には、サプライズで参加者である黒松内の農家の今田氏より、自分の所でとれたサツマイモを使った焼き芋の提供がされた。



④ スノーシューのパートの目的地である大湯沼に到着。火山の恵みである温泉を目の当たりにするとともに、火山灰の地層が水をろ過し、それもまたおいしい米作りに繋がっていることの解説がされた。



⑤ スノーシューで美味しい米作りがこの地でなされている理由を聞いた後に、実際に地元 のらんこし米を使ってのおにぎり作り体験を参加者は楽しんだ。



⑥ 街の茶屋店長の朝比奈氏によるレクチャーで参加者が自ら作ったおにぎりとともに、地元蘭越の野菜をふんだんに使った豚汁の昼食が提供された。



## 2-4-7 冬のモニターツアー 蘭越コース


### ④イベントの感想



- ・おいしい蘭越米の産地を地理・気象など多角的にガイドしており、スノーシューで雪景色を堪能できた上に知的好奇心も満たされ、ストーリーを感じることができた。
- ・ガイド中の説明も程よい長さでした。ダケカンバばかりの単調な森林歩きで、話題を提供できるのは流石です。
- ・スノーシューもテーマに沿ったガイドで分かりやすくストーリーを感じることができた。
- ・テーマに繋がる水のこと。気候や地形のこと。土壌のこと。全てをツアーの中で感じることができました。お握り作り体験は楽しかったですし、舌やお腹でも満足させるのもよいですね。

2-4-8 冬のモニターツアー 美瑛コース

①MIC (Minimum Information for Customer)



**1-Day Guided Geo Hiking Tour in "Hill Town" BIEI by Snowshoe**  
**丘のまち・びえいをめぐる丘のスノーシューツアー**

---

**■ OVERVIEW | ストーリー**  
 大雪山国立公園の西部に位置する、美瑛町の丘をスノーシューでめぐるツアーです。  
 美瑛町は「丘のまち」(Hill town)のコンセプトがあるように、そのほとんどのエリアを丘が占めています。この丘はすべて、ここに移り住んだ人々が切り拓いた「農地」です。このツアーでは、農地に許可を得た専属ガイドと一緒にスノーシューで入り、ふだんは農家さんしか見ることのできない特別な景色を見に行きます。活火山・十勝岳とともに生きてきた美瑛の人々と主幹産業である農業を、丘の上から俯瞰してみましょう。

---

**■ HIGHLIGHT | ハイライト**

- ・許可を得た専属ガイドと一緒になくては入れない場所でのスノーシューハイキング
- ・大雪山国立公園に属する十勝岳連峰を見渡す丘の上へ
- ・美瑛町の農業と活火山・十勝岳のつながりを知る

---

**GUIDE**

スルーガイド 小倉博昭

**ACTIVITY**

スノーシューハイキング

**DIFFICULTY**

レベル1  
 スノーシューハイイク：約1時間半  
 地形：アップダウンのある未庄雪の農地  
 高低差：約25m

---

**■ WHAT TO TAKE | 持ち物**

- ・スキーウェアまたはそれに準ずるもの(防寒、防水、防風)
- ・スノーシューを取り付けられるブーツ
- ・帽子、手袋、マフラー、サングラス等
- ・水ボトル/水筒
- ・カメラ
- ・不織布マスク(新型コロナウイルス対策)

**⚠ 雪の天候で野外に2時間程度滞在できる服装、装備でお越しください。**  
 スノーシューは見た目以上に体力を使うスポーツです。汗冷えしないように、ウェアの下に速乾性のあるベースレイヤー、さらにフリースまたはライトダウンジャケット等と重ねると体温調節がしやすいです。また、終了後は着替えることをお勧めします。

**■ ITENERY | 行程**

9:45	四季の情報館(JR美瑛駅横観光案内所)集合
	移動(徒歩10分)
10:00	郷土資料館「美瑛」ガイドツアー
	移動(美瑛ハイヤー)
10:55	美瑛の丘 絶景スノーシューハイイク
	移動(美瑛ハイヤー)
12:50	地元喫茶店でランチ・意見交換
	移動(徒歩5分)
13:50	四季の情報館にて解散

---

**■ INFORMATION REQUIRED | 事前にお知らせください**

- ・緊急連絡先
- ・持病、服用している薬(あれば)
- ・アレルギーの有無、内容
- ・食事制限の有無、内容

**■ INCLUDED | 料金に含まれるもの**

- ・昼食
- ・ガイド料
- ・タクシー料金
- ・保険料、取扱手数料

※本ツアーは料金の徴収はございません

---

当日撮影する画像等は、卒業報告のためのウェブサイト等に掲載させていただく可能性があります。支障がある場合は当日スタッフまでお知らせください。

株式会社北海道宝島旅行社(北2-597 ANTA正会員)  
 〒060-0052 札幌市中央区南2条東2丁目8-1  
 TEL: 011-252-2115 | <https://hokkaido-takarajima.com/>



## 2-4-8 冬のモニターツアー 美瑛コース

### ①MIC (Minimum Information for Customer)

#### ■ 当日の集合場所・時間

2021年1月20日（水） 午前 9:45 JR美瑛駅横 観光案内所「四季の情報館」カウンター前



#### ■ 当日の緊急連絡先

(株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部 担当：小濱 有希子（おばま ゆきこ）  
携帯：080-1973-6001

#### ■ 事前確認事項等の問合せ先

(株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部 担当：小濱 有希子（おばま ゆきこ）  
携帯：080-1973-6001 E-mail: obama@hokkaido-takarajima.com

#### ■ 新型コロナウイルス対策として、以下の項目に該当する方はご参加をご遠慮いただきます。

- (1) 過去2週間以内に37.5℃以上の発熱のある方
- (2) せきのある方
- (3) のどの痛みのある方
- (4) 味覚の異常がある方
- (5) 嗅覚（におい）の異常がある方
- (6) 過去2週間以内に、新型コロナウイルス感染者との接触があった方

なお、当日集合時にもスタッフが体温チェックを行います。  
その際に37.5℃以上の発熱があった場合にも参加をお断りさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

#### ■ その他参考情報

- ・お車でのお越しの際は、近隣の公共駐車場等に駐車の上お集まりください。安全なツアー催行のため、個人の車でのご移動はご遠慮いただいております。
- ・ツアー中に必要な荷物（着替え等）がある場合は、スタッフ車にてお運びします。
- ・集合時には、スノーシューのできる格好でおいでください。ただ、スノーシュー前に徒歩移動や室内での説明等もございますので、温度調節のできるインナー等のご利用をお勧めします。

[表面に記載の行程の難易度（レベル1～5）について]

- 1：Relaxed/Social（緩やか：文化体験、軽いアクティビティ、野生動物観察）
- 2：Easyactive（初級：1日あたり2～4時間の簡単な身体的活動）
- 3：Moderate（中級：ある程度の体力が必要、1日あたり約4～6時間の身体的活動）
- 4：Vigorous（活発：1日あたり5～8時間の身体的活動、それに見合う体力と経験が必要）
- 5：Challenging（挑戦的：最大8時間以上の身体的活動、それに見合う体力と経験が必須）

株式会社北海道宝島旅行社（北2-597 ANTA正会員）  
〒060-0052 札幌市中央区南2条東2丁目8-1  
TEL: 011-252-2115 | <https://hokkaido-takarajima.com/>

## 2-4-8 冬のモニターツアー 美瑛コース

## ②名簿

## 参加者

	所属	役職等	氏名	備考
1	村上農園		村上 寿裕	
2	(一社)大雪カムイミンタラDMO	地域開発部部长	佐藤 佑樹	
3	(一社)ひがしかわ観光協会	事業統括部部长	ウィルコック 香奈子	
4	東川町産業振興課	多文化多世代共生員	鄧 志貞	
5	個人		福井 明子	

## 受入

	所属	役職等	氏名	備考
1	丘のまちびえいDMO	マスターガイド	小倉 博昭	受入側(スルーガイド)
2	丘のまちびえいDMO	事業係長	泉 剛生	受入側(サポートガイド)

## 事務局

	所属	役職等	氏名	備考
1	北海道運輸局		岩城 国松	主催者
2	(株)北海道宝島旅行社	観光地域づくり部 コーディネーター	小濱 有希子	事務局

2-4-8 冬のモニターツアー 美瑛コース

③ イベントの様子

①



スルーガイド小倉氏による行程説明と参加者の自己紹介。丘のまちびえいDMOのガイド育成システムについても説明。

②



丘のまち郷土学館「美宙(みそら)」で、美瑛を巡るための導入「ゲートウェイプログラム」を体験。

③



スノーシューフィールドへ移動。20年以上のガイド経験を持つ小倉氏から、スノーシューの扱いについて楽しく説明。

④



「丘のまち」というだけありフィールドはすべて急斜面。農地をフィールドにするのは、不法侵入を防ぐための啓発の理由から。

⑤



動物の足跡を見ながら生態についてもガイドから説明。

⑥



町に戻り、美瑛で最も古い喫茶店で昼食。

## 2-4-8 冬のモニターツアー 美瑛コース

### ④ イベントの感想



- ・美宙でのイントロもコンパクトながら、美瑛の街の特性を理解するには良い施設と思います。
- ・はじめに、美宙で美瑛の歴史や自然、産業などについて学べたのでとても良かったです。  
そこで、いかに苦勞しながらも丘を大事にしてきたかということがわかりました。
- ・郷土資料館で美瑛の生い立ちを学んでから行くのが楽しかった
- ・美宙でのレクチャーで知らないこともたくさん知ることができました！




- ・おかのまち、ということはアクティビティを通して確りと感じる事が出来ました。
- ・スノーシューの運動レベルについては、初心者や子連れにはちょうど良いと思います。



2-4-9 冬のモニターツアー 糠平コース

①MIC (Minimum Information for Customer)



---

### 1-Day Guided Historical Hiking Tour in NUKABIRA by Snowshoe

十勝・糠平の歴史を探る、冬のぬかびらスノーシューツアー

---

**■ OVERVIEW | ストーリー**

大雪山国立公園の南東部に位置する、糠平の森に佇む産業遺産をスノーシューで尋ねます。タウシュベツ川橋梁やワカサギ釣り、近年ではアイスバブルで有名な糠平湖。実はこの地は、帯広周辺の発展にたいへん寄与した土地でもあります。帯広に、北海道で最後・5つめの集治監をつくるにあたり、大量の木材が必要でした。それを担ったのが、糠平の森です。糠平湖の周辺にある良質な木材を運び出すため、糠平湖と音更川が活用され、またそこに林業鉄道も敷かれました。周辺には林業に携わる人々が集落をつくり、糠平のまちが出来ていきました。これらが、帯広のまちの発展にもつながっています。やがて役目を終えた歴史の遺産は、橋梁群として残り、糠平川橋梁はその歴史と堂々たる姿から、国登録有形文化財に指定されています。

**■ HIGHLIGHT | ハイライト**

- ・大雪山国立公園内の糠平湖を糠平専門ガイドとスノーシューハイキング
- ・帯広の発展に寄与した糠平の歴史と今の姿を体感
- ・国の登録有形文化財である糠平川橋梁の間近に迫る

**GUIDE**

スルーガイド 木村健太郎  
(NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンター)

**ACTIVITY**

スノーシューハイキング

**DIFFICULTY**

レベル1  
スノーシューハイイク：約1時間半  
地形：アップダウンのある未圧雪の森の中

**■ WHAT TO TAKE | 持ち物**

- ・スキーウェアまたはそれに準ずるもの (防寒、防水、防風)
- ・スノーシューを取り付けられるブーツ
- ・帽子、手袋、マフラー、サングラス等
- ・水ボトル/水筒
- ・カメラ
- ・不織布マスク (新型コロナウイルス対策)

**⚠️ 雪の天候で野外に2時間程度滞在できる服装、装備でお越しください。**

スノーシューは見た目以上に体力を使うスポーツです。汗冷えしないように、ウェアの下に速乾性のあるベースレイヤー、さらにフリースまたはライトダウンジャケット等と重ね着すると体温調節がしやすいです。また、終了後は着替えることをお勧めします。

**■ ITENERY | 行程**

13:00	ひがし大雪自然館 集合
	展示を見ながらのガイダンス
13:30	スノーシューツアー スタート
	ティータイム休憩あり
15:00	スノーシュー 終了
	解散
	希望者は温泉入浴 (情報提供)

---

**■ INFORMATION REQUIRED | 事前にお知らせください**

- ・緊急連絡先
- ・持病、服用している薬 (あれば)
- ・アレルギーの有無、内容
- ・食事制限の有無、内容

**■ INCLUDED | 料金に含まれるもの**

- ・ガイド料
- ・保険料、取扱手数料

※本ツアーでは料金の徴収はございません

---

当日撮影する画像等は、事業報告のためのウェブサイト等に掲載させていただく可能性があります。支店がある場合は当日スタッフまでお知らせください。

株式会社北海道宝島旅行社 (北2-597 ANTA正会員)

T 060-0052 札幌市中央区南2条東2丁目8-1

TEL: 011-252-2115 | <https://hokkaido-takarajima.com/>



2-4-9 冬のモニターツアー 糠平コース

①MIC (Minimum Information for Customer)

■ 当日の集合場所・時間

2021年1月22日 (金) 13:00 ひがし大雪自然館内 (上士幌町ぬかびら源泉郷48-2/国道273沿い)



■ 当日の緊急連絡先

(株) 北海道宝島旅行社 観光地域づくり部 担当: 小濱 有希子 (おばま ゆきこ)  
携帯: 080-1973-6001

■ 事前確認事項等の問合せ先

(株) 北海道宝島旅行社 観光地域づくり部 担当: 小濱 有希子 (おばま ゆきこ)  
携帯: 080-1973-6001 E-mail: obama@hokkaido-takarajima.com

■ 新型コロナウイルス対策として、以下の項目に該当する方はご参加をご遠慮いただきます。

- (1) 過去2週間以内に37.5℃以上の発熱のある方
- (2) せきのある方
- (3) のどの痛みのある方
- (4) 味覚の異常がある方
- (5) 嗅覚 (におい) の異常がある方
- (6) 過去2週間以内に、新型コロナウイルス感染者との接触があった方

なお、当日集合時にもスタッフが体温チェックを行います。  
その際に37.5℃以上の発熱があった場合にも参加をお断りさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

■ その他参考情報

- ・スノーシュー後の温泉入浴はガイドは帯同いたしません。入浴情報を提供いたしますので、ご自身で各施設にてご入浴ください。(別途料金)
- ・入浴道具はご自身でご用意ください。

[表面に記載の行程の難易度 (レベル1~5) について]

- 1: Relaxed/Social (緩やか: 文化体験、軽いアクティビティ、野生動物観察)
- 2: Easy active (初級: 1日あたり2~4時間の簡単な身体的活動)
- 3: Moderate (中級: ある程度の体力が必要、1日あたり約4~6時間の身体的活動)
- 4: Vigorous (活発: 1日あたり5~8時間の身体的活動、それに見合う体力と経験が必要)
- 5: Challenging (挑戦的: 最大8時間以上の身体的活動、それに見合う体力と経験が必須)

株式会社北海道宝島旅行社 (北2-597 ANTA正会員)  
〒060-0052 札幌市中央区南2条東2丁目8-1  
TEL: 011-252-2115 | <https://hokkaido-takarajima.com/>

## 2-4-9 冬のモニターツアー 糠平コース

## ②名簿

## 参加者

	所属	役職等	氏名	備考
1	通訳案内士		手塚 睦	
2	上士幌町観光協会	地域おこし協力隊	鈴木 宏	
3	(一社)知床羅臼町観光協会	事務局長	若林 育代	
4	(株)ヤマイチ	サイクリングガイド	齊藤 慎吾	
5	(株)ヤマイチ	カフェ店長	齊藤 恵	

## 受入

	所属	役職等	氏名	備考
1	ひがし大雪自然ガイドセンター	ガイド(フリー)	木村 健太郎	受入側(スルーガイド)
2	ひがし大雪自然ガイドセンター	ガイド	上村 潤也	受入側(サポートガイド)

## 事務局

	所属	役職等	氏名	備考
1	北海道運輸局		森 恭平	主催者
2	北海道運輸局		岩城 国松	主催者
3	(株)北海道宝島旅行社	観光地域づくり部 コーディネーター	小濱 有希子	事務局

2-4-9 冬のモニターツアー 糠平コース

③ イベントの様子



① スルーガイド木村氏による説明と参加者の自己紹介。環境省と町の共有施設「ひがし大雪自然館」でフィールド全体の説明。



② 自然館すぐ裏手のフィールドへスノーシューで向かう。国道や糠平の市街地と隣接しており、暮らしとの接点を感じられる場所。



③ 十勝の町を作った林業の名残が感じられる遺構を見学しながら、川へ向かって下っていく。



④ 橋梁を列車が走っていた当時の貴重な写真を観光客からいただいたというエピソードも紹介。



⑤ 目的地である橋梁は、ツアーの最後にハイライトとして下から見学。



⑥ 十勝の牛乳と、上士幌町のスパイスマスターが作ったオリジナルスパイスを使って、ホットドリンクを提供。



## 2-4-9 冬のモニターツアー 糠平コース

### ④イベントの感想



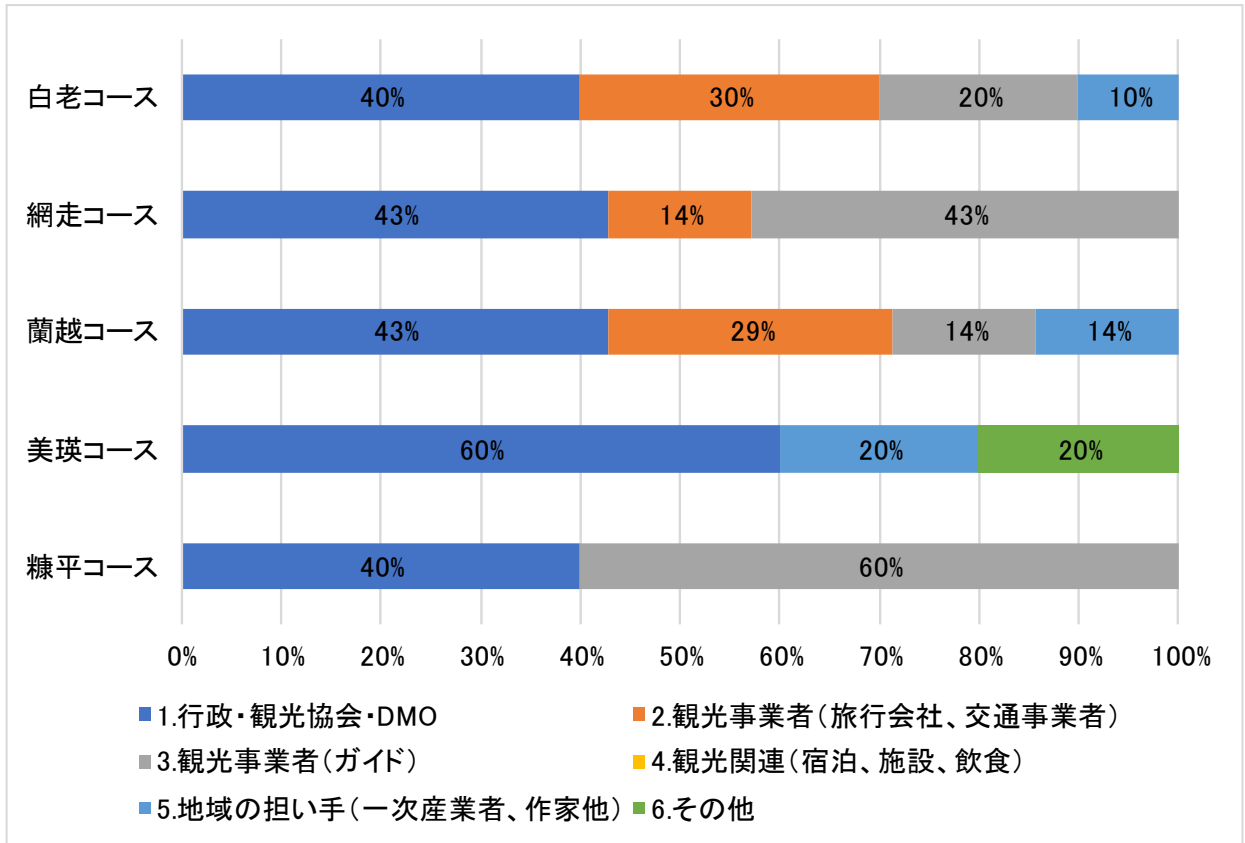
- ・最初に歴史をわかりやすく解説され、その解説がアクティビティ中の各ポイントとしっかりリンクしていたのが良かった。
- ・林業の繁栄と衰退が、街や鉄道やダムを歴史を作ったこと。消えた鉄道の遺構やダムを実際に見ながら回復途中の森林の中を歩いて、糠平の自然への人の関わり方が変化してきたことを感じ、将来の糠平がどう変化していくかも考えました。
- ・タウシュベツ橋梁は知っていましたが、それに関わる鉄道や人々の歴史などがとても分かりやすく学べました。
- ・自然や動植物だけでなく、出発前に聞いた糠平湖やタウシュベツの鉄道の歴史についてをSnowshoeで歩きながら確かめていくのが大人から子供まで楽しめると感じました。



## 2-4-10 アンケート集計結果

### ①参加者属性

コース毎の参加者属性は下記のグラフのようになった。全体的に「1.行政・観光協会・DMO」に所属する方々の参加が多かった。新型コロナウイルス感染拡大の状況で少人数での実施となったが、総じて様々な所属の関係者に参加いただいた。

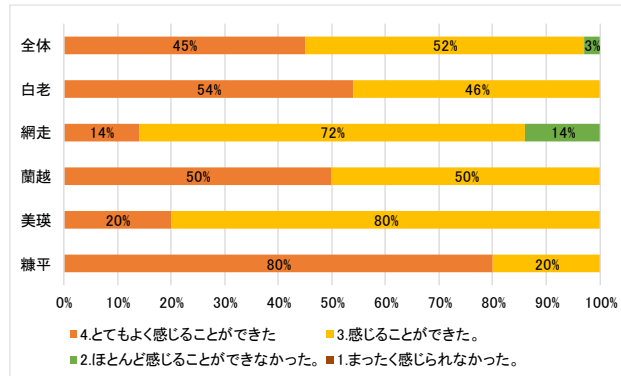


## 2-4-10 アンケート集計結果

### ②参加プログラムの感想

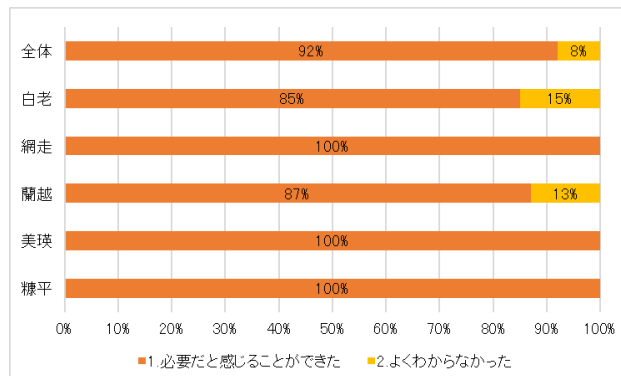
#### 【1】テーマやストーリーを感じることができたか。

全体で「とてもよく感じることができた」「感じることができた」が97%を占める割合となった。網走で「ほとんど感じることができなかった」を挙げたのは1名であり、理由として「私の観光の知見が浅いため、ツアーの開催時に改めて当モニターの開催意図を挙げさせていただきたい」と挙げている。



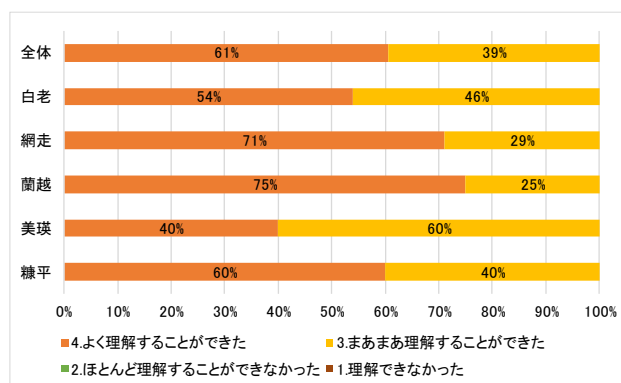
#### 【2】スルーガイド(全体を通して説明するガイド)の役割に関して必要だと感じることができたか。

全体で92%の人が「必要だと感じることができた」と回答した。「よくわからなかった」を挙げた理由としては、「今回はスポットガイドが全てを統括していた(蘭越)」とあるように、そもそもがスルーガイドを必要としないツアーだった可能性があった。



#### 【3】地域について、アクティビティを通して理解することができたか

全体で61%が「よく理解することができた」、39%が「まあまあ理解することができた」と回答している。1日という限られた時間ではあるが、地域事象含めガイドより案内があったことが挙げられている。



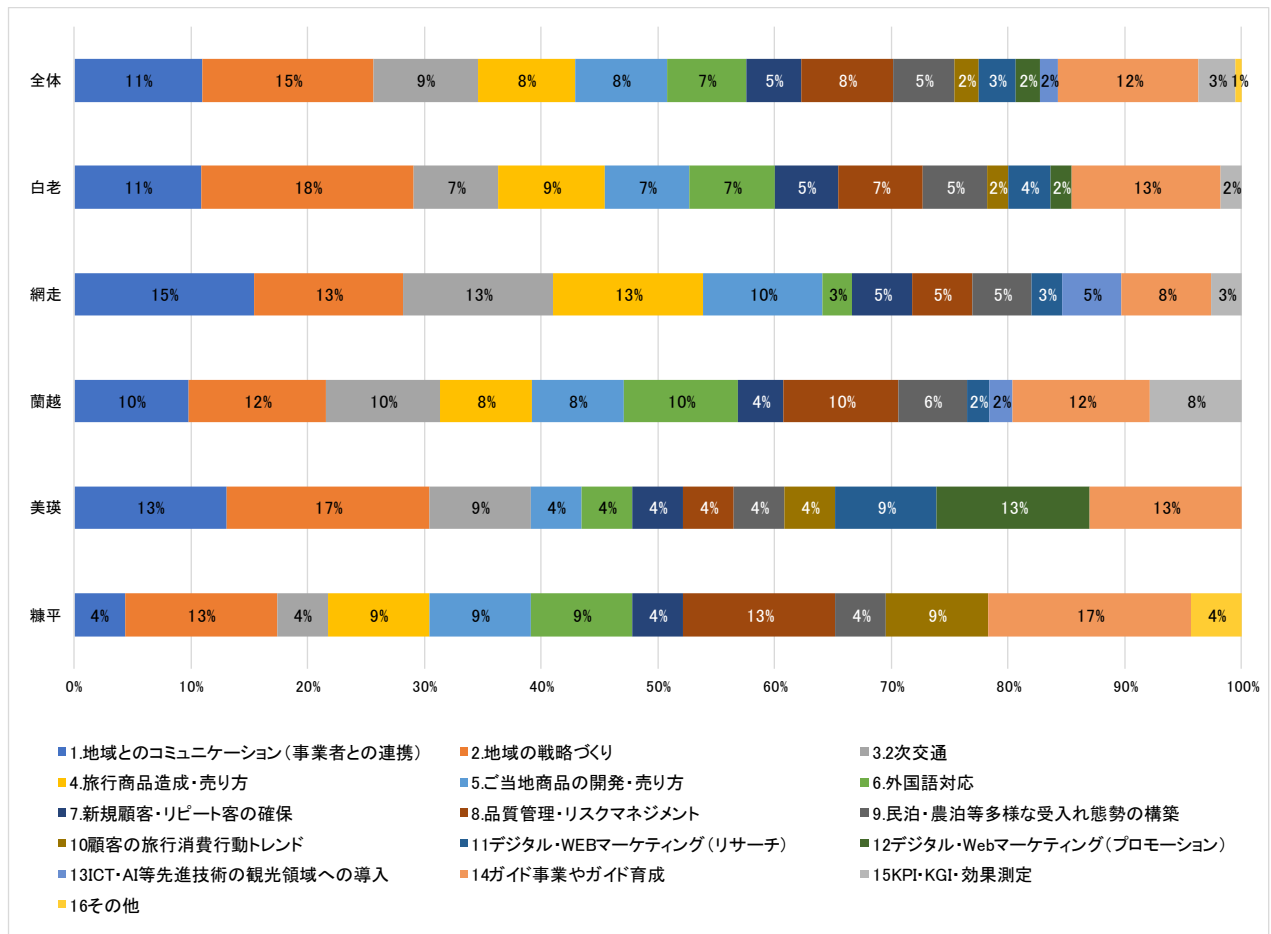
## 2-4-10 アンケート集計結果

### ③地域の観光の課題

各開催地ごとに集計したアンケート結果は下記のグラフのようになった。

地域のネットワークイベント時の結果同様、「地域とのコミュニケーション」「地域の戦略作り」「ガイド事業やガイド育成」については、10%を超える関心を集めている。

各地域の特色としては、白老では「ICT・AI等先進技術の観光領域への導入」以外全て選択されているなど課題感を感じやすい地域であった。網走では「2次交通」「旅行商品造成・売り方」「ご当地商品の開発・売り方」といった商品企画とそれをつなぐ動線に関する課題を感じている。蘭越については「外国語対応」が10%、「顧客の旅行消費行動トレンド」「KPI・KGI・効果測定」などが比較的高い傾向にあるなど、ニセコ周辺ならではの観光地としての課題を抱えている。美瑛については「地域の戦略作り」「デジタル・Webマーケティング(プロモーション)」を選択する傾向が比較的高く、広告・販売についての課題を抱えている。糠平については「地域とのコミュニケーション」が他の地域と比べ圧倒的に低いが、「品質管理・リスクマネジメント」「ガイド事業やガイド育成」の項目が比較的高く、既存ガイドや商品に課題を感じていることが読み取れた。



## 2-5. アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-1. アドベンチャートラベル北海道ミーティングの全体概要

#### ①目的

2021年に北海道開催が内定している Adventure Travel World Summit に向けて、関係者間の連携強化、実践的な知識習得、機運の醸成を図ることを目的としたイベント「アドベンチャートラベル北海道ミーティング(ATHM)」を開催した。各地域のネットワーキングイベントを開催し、ATについて興味を持った層に対しても参加を促し、彼らの質的向上に役立てた。

#### ②イベント概要

開催時期と場所については、ガイドや非ガイドの人々の参加のしやすさや、新型コロナウイルス感染の対策など検討した結果、下記の計画にて実施することとなった。

- 日時 令和2年11月11日(水)-12日(木)
- 場所 札幌コンベンションセンター
- 住所 〒003-0006 北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1
- 施設説明 白石区にある札幌コンベンションセンターは、ATWS2021の会場としての利用が予定されている。



#### ■実施スケジュール

日時	時間	実施内容			
11月11日(水)		エクスカージョン			
	7:30~	白老	余市	洞爺湖	旭川
11月12日(木)		セミナー&ネットワーキングイベント			
	9:30	北海道アドベンチャートラベル協議会 総会			
	10:30	アドベンチャートラベル北海道ミーティング開会			
	10:35	アドベンチャートラベル討論会			
	12:00	休憩			
	13:00	基調講演			
	14:00	セミナー①	ミニセミナー①		
	15:00	セミナー②	ミニセミナー②		
16:00	クロージングスピーチ				

#### ■アドベンチャートラベル北海道ミーティング参加者数

1日目	2日目	合計人数(延べ)
35名	104名	139名



## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### ③事前告知

主催：国土交通省北海道運輸局  
～北海道におけるアドベンチャートラベルのつながりづくり～

# アドベンチャートラベル 北海道ミーティング

北海道運輸局では、自然のなかでのアクティビティや異文化体験を通じて自分の内面が変わっていくような旅のスタイル「アドベンチャートラベル(AT)」を、国内外世界中の誰もが楽しめる北海道に相応しい新たな旅のスタイルとして定着させるために推進しています。

そこで、2021年に北海道開催が内定しているAdventure Travel World Summitに向けて、関係者間の連携強化、実践的な知識習得、機運の醸成を図ることを目的としたイベント「アドベンチャートラベル北海道ミーティング(ATHM)」を開催しますので、皆様のご参加をお待ちしております。

**【1日目】11月11日(水) エクスカーション (65名限定)**  
日帰りアドベンチャー体験の実施  
～詳細は別紙をご確認ください

**【2日目】11月12日(木) セミナー&ネットワーキングイベント**  
【会場】札幌コンベンションセンター

### セミナー講師一覧



**荒井 一洋氏**  
北海道アドベンチャートラベル協会の会長



**Aaron Jamieson氏**  
ニセコ在住プロカメラマン、NISEKO「powderlife」誌写真編集者



**吉川 彩香氏**  
Adventure Hokkaido合同会社代表。アドベンチャーガイド



**基調講演**  
**Lina Annab氏**  
駐日ヨルダン・ハシェミット王国大使  
(元ヨルダン観光・考古大臣)



**今野 佑一郎氏**  
ユナイテッド・コムモンズ法律事務所所属弁護士

**開催日：2020.11.11(水)～12(木)**

**【1日目】道内各所 (定員/65名) 7:30～18:00頃**

**【2日目】札幌コンベンションセンター (定員/120名) 10:30～17:00**

申込締切：11月4日(水) (両日とも、定員になり次第締め切ります)

申込方法：必要事項を、1日目は別紙参加申込書、2日目は裏面申込書にご記入のうえ、下記FAXまたはメールアドレスまでお申し込みください。

事務局：(株)北海道宝島旅行社 (担当：常井、雨池、小濱、齊藤)

FAX: 011-252-2117 E-mail: at-info@hokkaido-takarajima.com

**参加  
無料**

## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### ③事前告知

【11月12日（木）プログラム内容】会場：札幌コンベンションセンター（札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1）

- ① アドベンチャートラベル討論会 10:30～12:00 会場：中ホール  
登壇者：北海道アドベンチャートラベル協議会会長 荒井一洋氏、英語自然ガイド 馬上千恵氏、  
蘆花リゾート(株)取締役アドベンチャー事業部部長 高田茂氏、(一社)黒松内可観光協会事務局長 本間崇文氏
- ② 基調講演 『Sustainable Adventure Travel in Jordan』 13:05～13:50 会場：中ホール  
講師：Lina Annab氏 駐日ヨルダン・ハシメット王国大使  
内容：ヨルダンをアドベンチャートラベルの目的地として急成長させた功労者。「ヨルダンの持続可能なアドベンチャートラベルについて」ご講演いただきます。
- ③ セミナー 『Eyes on HOKKAIDO』 14:00～14:45 会場：中ホール  
講師：Aaron Jamieson氏 ニセコ在住プロカメラマン、NISEKO『powderlife』誌写真編集者  
内容：Eyes on HOKKAIDO = 北海道に熱視線・注目が集まっている。その視線（eye）はどういった人の視線で、  
どういったメディアで見ているのか（情報収集）、そのeyeが好む（＝目に留まる）コンテンツとは一体何なのか？
- ④ セミナー 『ガイド実践英会話』 14:00～14:30 会場：204会議室  
講師：吉川 彩香氏 Adventure Hokkaido合同会社代表、アドベンチャーガイド  
内容：ATの現場で使える英会話を、ニュージーランドで7年間のガイドの「お」作経験を持つ吉川氏から学び。
- ⑤ セミナー 『スルーガイドの役割について』 15:00～15:45 会場：中ホール  
講師：芹澤 健一氏 アルパインツアーサービス(株)代表取締役社長  
内容：ツアーを最初から最後までガイドするスルーガイドを中心に、世界のATガイドはどのような対応をしているのか。
- ⑥ セミナー 『ガイド事業の法的視点』 15:00～15:30 会場：204会議室  
講師：今野 佑一郎氏 ユナイテッド・コモンズ法律事務所所属弁護士  
内容：主にBtoBの取引が想定されるAT市場での事業展開にむけて、準備しておくべきことは何か。
- ⑦ クロージングスピーチ 『SDGsと観光』 16:00～16:45 会場：中ホール  
講師：荒井 一洋氏 北海道アドベンチャートラベル協議会会長  
内容：観光業界におけるSDGsのトレンドと、ATWS2021を契機にした持続可能な観光の実現について。
- ⑧ ネットワーキングスペース 14:00～16:00 会場：206会議室  
ガイド事業者の方が、参加者に対してPR・商談・交流などを行うためのスペースをご用意します。5ブース程度を設置。  
イベント参加者は自由に入退が可能です。（入室人数に上限があります）  
※PRブースご利用のガイド事業者様の募集状況次第では、フリーのネットワーキングスペースとしての運営を予定。

### 2日目プログラム 参加申込書

下記、申込書に必要な事項を記入のうえ、FAXまたはメールにてお申し込みください。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各会場ごとに入室人数に上限があります。事務局からの連絡をもって参加受付完了となりますので、ご了承ください。※電話番号かメールアドレスのいずれかを必ずご記入ください。

ATHM事務局：株式会社北海道宝島旅行社 観光地域づくり部 担当：常井、雨池、小濱、齊藤  
TEL: 011-252-2115 FAX: 011-252-2117  
E-mail: at-info@hokkaido-takarajima.com

所属	TEL	
	代表者メールアドレス	
お申込みの1名様ごとに、参加希望のプログラムに○をお付けください。		
フリガナ	役職	参加希望 ① ② (③or④) (⑤or⑥) ⑦
氏名		
フリガナ	役職	参加希望 ① ② (③or④) (⑤or⑥) ⑦
氏名		
フリガナ	役職	参加希望 ① ② (③or④) (⑤or⑥) ⑦
氏名		

### <ガイド事業者の皆様へ> PRブース出展申込書

⑧ネットワーキングスペースで自身のPRブースを設けるための出展申込書です。会場スペースの都合上、先着10事業者様程度の募集となります。出展申し込みを頂いた方へは、別途出展についての詳細・要綱をお送りいたします。

所属	TEL	
	代表者メールアドレス	
フリガナ	役職	希望時間 ①14時から ②15時から
氏名		

## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### ④アンケートフォーム

アンケートに関しては、紙資源節約の観点からgoogleフォームを活用し、実施した。

下記の様式にてアンケートを実施した。アンケートは全日程参加および日程のいずれかに参加した人を対象に実施した。

アンケートについては回答者数は44名となっており、この44名の回答を分母とし集計する。

アドベンチャートラベル北海道ミーティング 参加者アンケート

このページはご参加いただいた皆様、ありがとうございます。  
皆さまのご意見を今後の活動の参考にさせていただきますので、アンケートへの記入のご協力を  
お願いいたします。  
このアンケートは無償で発行するものです。また、本事業以外の用途で使用することはございません。

\*必須

1. ご所属\*

回答を入力

2. お名前\*

回答を入力

3. ご参加いただいたプログラムをお選びください。(複数選択可)\*

- 11/11 エクスカーション 白老・豊後コース
- 11/11 エクスカーション 洞爺コース
- 11/11 エクスカーション シモン 旭川コース
- 11/11 エクスカーション シモン 旭川コース
- 11/12 アドベンチャートラベル協議会
- 11/12 基盤講座『Sustainable Adventure Travel in Jordan』—Lina Annab 氏
- 11/12 セミナー『Eyes on HOKKAIDO』—Aaron Jamieson 氏
- 11/12 セミナー『ガイド実践交流会』—吉川 智哉氏
- 11/12 セミナー『スルーガイドの役割について』—岸澤 健一氏
- 11/12 セミナー『ガイド事業の法的視点』—今野 祐一郎氏
- 11/12 クロージングスピーチ『SDGs と観光』—見村 一洋氏

戻る 次へ

アドベンチャートラベル北海道ミーティング 参加者アンケート

ご参加いただいたプログラムへご感想をお書きください。

選択されていないプログラムの情報はスキップして大丈夫。

【感想記入】11/11 エクスカーション 白老・豊後コース

回答を入力

【感想記入】11/11 エクスカーション 洞爺コース

回答を入力

【感想記入】11/11 エクスカーション 豊後コース

回答を入力

【感想記入】11/11 エクスカーション 旭川コース

回答を入力

【感想記入】11/12 アドベンチャートラベル協議会

回答を入力

【感想記入】11/12 基盤講座『Sustainable Adventure Travel in Jordan』—Lina Annab 氏

回答を入力

【感想記入】11/12 セミナー『Eyes on HOKKAIDO』—Aaron Jamieson 氏

回答を入力

【感想記入】11/12 セミナー『ガイド実践交流会』—吉川 智哉氏

回答を入力

【感想記入】11/12 セミナー『スルーガイドの役割について』—岸澤 健一氏

回答を入力

【感想記入】11/12 セミナー『ガイド事業の法的視点』—今野 祐一郎氏

回答を入力

【感想記入】11/12 クロージングスピーチ『SDGs と観光』—見村 一洋氏

回答を入力

戻る 次へ

アドベンチャートラベル北海道ミーティング 参加者アンケート

\*必須

3. 全体に関するご感想をお聞かせください。

全体を通しての感想をお聞かせください。\*

5. とても良かった

4. 満足度を良かった

3. ちょうど

2. あまり良くなかった

1. 良くなかった

全体を通してのご感想をお書きください。\*

回答を入力

戻る 次へ

アドベンチャートラベル北海道ミーティング 参加者アンケート

\*必須

4. 今後の活動の感想、今後の開催に向けてご意見をください。

高にしているキーワード、集約の語彙を掲げることについてお選びください。(複数選択可)\*

- 参加者のコミュニケーション(事務局との連携)
- 参加者の気づき
- 交流
- 参加者の成長・気づき
- 北海道の観光・文化
- 外国語
- 観光振興・PR・広報の発信
- 参加者のスキルアップ
- 長年・長距離多様な参加者の確保
- 参加者の参加動機
- デジタル・WEBマーケティング(プロモーション)
- ICT・IT等先端技術の導入・活用
- ガイド事業のガイド育成
- KPI・KQI・効果測定
- その他

キーワードについて気になることなどご自由に書きください。

回答を入力

戻る 次へ

## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-2.エクスカージョンの開催概要

#### ①目的

次年度開催されるATWS本番と同様に、参加者が実際にATを体験し、他地域のAT資源について理解を深めていくことを目的とし、4本のエクスカージョンを開催した。

#### ②開催概要

札幌から発着可能な場所にてワンデーのエクスカージョンを実施した。※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各組織・団体からの参加者は、1コースにつき1名までとした。参加者の選定については受付締切り後、事務局にて調整を行った。

また各エクスカージョンのコース選定にあたっては、2021年に開催予定であるATWS本番と同様に、札幌発着の日帰りエクスカージョンを実施できるコースを4つ選定した。

#### ■開催日時

令和2年11月11日(水) 7:30～18:00(コースにより異なる)

#### ■コース概要

日程	エリア	コース名
令和2年 11月11日(水) 7:45～18:30	登別・白老	<b>ウポポイ(民族共生象徴空間) &amp; 登別地獄谷ウォーキングツアー</b> 北海道の自然と人間との共生について、さまざまな視点から学ぶツアーです。白老町では「ウポポイ—民族共生象徴空間」の見学と、アイヌのお母さんたちが運営する地元レストランでアイヌ料理を堪能。登別地獄谷のガイドウォークでは、自然の偉大さを体感します。
令和2年 11月11日(水) 8:15～18:00	余市	<b>余市サイクリング &amp; 地域住民との交流</b> 余市の暮らしを、地域住民とともに楽しむライトなツアーです。余市の名産である果樹園が並ぶエリアをロードバイクで移動しながら、初冬の余市の景色や産業を堪能。存分に走ったあとは、地域住民と交流しながらのランチタイムを楽しみましょう。
令和2年 11月11日(水) 7:45～19:00	洞爺	<b>洞爺湖有珠山ジオパークガイドウォーキングツアー</b> 火山マイスターによる、洞爺湖有珠山ジオパークのガイドツアーです。 噴火のたびに姿かたちを変える活火山・有珠山とともに生きる人々の暮らしの中を歩き、この土地の人々の「自然との付き合い方」について学びます。北海道の大地の成り立ち、自然の驚異を体感する一日です。
令和2年 11月11日(水) 7:30～17:00	旭川	<b>アイヌとゆく歴史散策：日帰りガイド付き先住民文化ツアー</b> 日本遺産登録を受けた上川アイヌが歩んできた歴史、自然との関わり方、現代に伝承された文化や営みに触れる先住民文化交流ツアーです。日本最古で唯一の私設アイヌ資料館「川村カ子トアイヌ記念館」や、アイヌが信仰する山をアイヌガイドと共に歩き、アイヌの暮らしについて学びます。



#### ④.新型コロナウイルス感染拡大防止のために施した内容

北海道宝島旅行社において実施の基本対応を基に、新型コロナウイルス感染拡大防止策を図った。

##### コロナ発生に対する弊社の基本対応

弊社の日本国内におけるコロナ発生に関しての対応は、日本国政府からの各通達を踏まえ、旅行契約時の弊社約款および全国旅行業協会が作成する「新型コロナウイルス感染が旅行中に発生した場合の対応マニュアル」を基準に対応を判断します。

##### ◆旅行出発前

- 1) コロナ感染の不安（報道などの情報）によるキャンセル  
→お客様の都合によるキャンセルとし、規定のキャンセルチャージが発生します。
- 2) 政府や行政の命令が出た場合で、かつ安全な実施が不可能となるおそれがある場合  
→キャンセル料は取りません。  
但し、受注型企画旅行の場合、事前に明示しておいた企画料は返金になりません。

##### ◆旅行開始当日

旅行開始前まで

基準：ATでは、タクシーの乗車前、係員の受付がある場合は受付の終わるまで、  
IBでは、空港着で受けた場合は、手配をした車に乗る前まで。

※検温で熱が37.5℃以上や、受付のアンケートで体調が悪いとなった場合

中止した場合のキャンセル料

- ・旅行会社が中止した場合は、キャンセル料は取れません。
- ・本人がとりやめた場合は、キャンセル料は規定通りです。

弊社の対応として：参加者との話し合いで、実質のチャージだけいただくのが弊社の着地点と思われる。（要検討）

※さらに、コロナの対応として（対応マニュアルより）

参加者が海外から到着した外国人

コロナの疑いがあれば、管轄の保健所に連絡し、判断を仰ぐ。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/tkh/hokensho/hokensho-kikokusyasessyokusya.htm>

参加者が日本人

コロナの疑いがあれば、本人から保健所に連絡を取っていただく。

#### ④新型コロナウイルス感染拡大防止のために施した内容

##### ◆旅行開始後

熱が37.5℃以上や、アンケートで体調が悪いとなった場合は、参加者に理由を説明し、旅行の取りやめをします。

##### ※途中キャンセルした場合の旅費精算の考え方

すでに終了したサービスは契約が終了したものとし、その時点から将来に向かって受ける予定であったサービスは、キャンセル料など差し引きしたものを計算して30日以内に返金します。(コロナ感染だから特別ではなく、弊社の不測の事態はすべて同じ対応になります。)

※コロナの疑いの場合(日本人外国人とも)は、弊社から保健所に連絡します。

本人だけの診察か、同行者も濃厚接触者として扱うかも含め、保健所と相談をします。

その際、係員のフォローや通訳対応など費用が発生するものは、参加者への請求となります。

##### ◆コロナ発生の対応で、旅程が変更になる場合

1) 受注型企画旅行は、お客様と相談しながら旅程を変更できるため、状況判断して進めていきます。追加金額がでる場合は相談し、返金のある場合は精算します。

2) 募集型企画旅行の場合は、会社側で変更する旅程を決め、参加者へ説明します。

元の旅程内容を最少の変更するよう努力しますが、大きな変更の場合はツアー自体を中止する場合があります。

##### ◆コロナ発生時に備える対応は、全旅作成の対応マニュアルに準じます。



全旅コロナ対応マニュアル.pdf

##### ◆保険

特別補償(参加者全員にかけてる)について

この補償は、傷害事故を対象にするもので、疫病(コロナ)には対応できません。

※対応(2020年12月現在)

参加者自身が、自国で販売している海外旅行保険でコロナに対応する保険に加入していただくことがベストで、帰国のための旅費、家族が来日する費用、遺体を運ぶ費用などがつけた保険を選ぶことをお勧めします。

日本人のためのコロナ補償付きの海外旅行保険は、日本国内で発売されていますが、外国人は申し込みできません。今後コロナに対応のインバウンド保険を販売するかもしれません。

参考: 航空会社の対応(2020年12月現在)

JAL コロナカバー(国際線)

国際線利用者対象: コロナ陽性判定された場合の医療費、検査費、隔離費用の補償

エミレーツ航空(ドバイの航空会社)

航空券購入者にJAL同様の補償

#### ④新型コロナウイルス感染拡大防止のために施した内容

参加者への事前案内のメールに下記の内容を記載し、注意と適切な行動を促した。

明日11/11（水）のエクスカーションは、感染予防対策を行った上で、実施予定でございます。

つきましては、度重ねてのご連絡にもなり恐れ入りますが、下記の新型コロナウイルス感染拡大防止に関する事項へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

当日運営側では、以下の対策を徹底いたします。

- 1 アルコール消毒液の設置
- 2 消毒・換気・広めの席配置
- 3 運営関係者の検温・マスクの着用の徹底・手指の消毒
- 4 参加者の検温・マスクの着用・手指の消毒
- 5 参加者管理の徹底  
事前に全参加者の氏名、連絡先を把握しています。
- 6 ソーシャルディスタンスの確保

また、イベント開催にあたり、参加者様へご協力をお願いがございます。

- ・集合前、自宅等で検温の実施をお願いします。
- ・集合時に検温と消毒、行程中のマスクの着用のご協力をお願いします。
- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をご利用いただき、当日までに陽性者との接触確認がないことをご確認ください。
- ・ツアー中の大きな声での会話はお控えくださいますようお願いいたします。
- ・当イベントに関わらず他の会議、行事及び飲食等におかれましても三密の回避をお願いします。
- ・その他、感染防止のために主催者が決めた措置及び指示の遵守をお願いします。

○以下に該当する方のご参加はお断りいたします。

- ・マスクの着用をいただけない方  
マスクを外さないことにご理解、ご協力をいただけない方
- ・37.5℃以上の発熱・倦怠感・息苦しさ・咳・嘔頭痛など、風邪と疑わしい症状がある方
- ・上記に限らず、体調の優れない方
- ・ご家族やお勤め先、学校など、ご自身の身近に新型コロナウイルス感染症に感染した方、またはその可能性のある方がいらっしゃる方
- ・入管法に基づく入国制限の対象となっている地域から、日本への入国後14日間経過していない方  
※ご参考：水際対策の抜本的強化に関するQ & A（厚生労働省）
- ・コロナウイルス感染症の陽性と判明した方とのイベント参加日の14日以内に濃厚接触がある方
- ・保健所等の健康観察下にある方

イベント終了後は体調不良者がいなかったかスタッフ間の確認と、メールでの確認を行った。

## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-3 エクスカーション

#### 2-5-3-1 白老・登別コース

##### ①MIC (Minimum Information for Customer)



### 1-Day Guided Indigenous Cultural Tour in Shiraoi & Noboribetsu ウポポイ (民族共生象徴空間) & 登別地獄谷ウォーキングツアー

#### ■ OVERVIEW | ストーリー

本ツアーは、アクティビティを通じて「北海道の先住民族であるアイヌ民族の文化」に触れるツアーです。現地での行程の冒頭で、ウポポイ (民族共生象徴空間) を訪れ、一日を通してスルーでガイドを行う、自身もアイヌのバックグラウンドを持ち、白老に暮らす登別ゲートウェイセンター代表の阿部敏昭さんと合流します。ウポポイでは、まず「国立民族共生公園」内にあるアイヌの伝統的家屋であるチセの見学等 (10:00~11:00) を通じて、アイヌ文化についての基本的な知識を得ます。その後、「国立アイヌ民族博物館」内を自由見学 (11:00~12:00)、アイヌの世界観や自然観についての知識を深めます。昼食は、地元の (一社) 白老アイヌ協会が運営するカフェラサレにて、アイヌの伝統料理「オハウ」に挑戦。午後は、支笏洞爺国立公園内に位置する登別温泉地獄谷でガイドウォーキングツアー。多少アップダウン (上り 60m 下り 80m) のある自然探勝路 (未舗装路含む) を約 2km 程度歩きます。登別に残るアイヌ語に由来する地名の話や、地域に伝承されるアイヌにまつわる物語の話ガイドの阿部さんから聴きながら、野趣あふれる天然の足湯スポットを目指します。一説には、温泉を薬湯として重宝していたとされるこの地の先人であるアイヌの方々には思いをはせ、自然の中の天然足湯に浸かります。知識として見聞きする又は知るだけではなく、アクティビティやガイド、出会う人々とのインタラクション (関わり合い) を通じてアイヌの世界観や自然観に触れることを目指します。

#### ■ HIGHLIGHT | ハイライト

- 先住民族アイヌの歴史と文化を主題とした日本初・日本最北の国立博物館を訪問
- 地元の (一社) 白老アイヌ協会が運営するカフェラサレにて、アイヌの伝統料理「オハウ」に挑戦
- 多泉質で毎分 3,000L もの豊富な温泉が湧きだしていると言われる登別温泉地獄谷周辺でのガイドウォーキングツアー

#### GUIDE

アクティビティガイド  
(株)登別ゲートウェイセンター  
阿部 敏昭

#### ACTIVITY

軽ハイキング

#### DIFFICULTY

レベル2  
軽ハイキング: 約 2km / 約 2 時間  
地形: 未舗装路を含む散策道  
高低差 約 80m  
(上り 60m 下り 80m)

#### ■ WHAT TO TAKE | 持ち物

- マスク着用
- 履きなれた運動靴又はトレッキングシューズ
- リュックサック
- 防風/防寒/防水用のジャケット
- 運動しやすい服装
- 帽子 (風に飛ばされないもの)、手袋、マフラー等
- 雨具 (カサは NG。風が強い場合があるため)
- 水筒 (飲み物)
- (必要であれば) タオルやサングラス、日焼け止め、トレッキングポール

**【重要】雪の天候でも野外を歩ける服装、装備でお越しください。**

雨具の下に速乾性のあるベースレイヤー、さらにフリースまたはライトダウンジャケットの重ね着をすると体温調整がしやすいです。雪の場合は、足元は滑りやすく濡れる可能性が高いため、登山靴がある方は登山靴、または長靴 + 暖かい靴下をお持ちください。

#### ■ INFORMATION REQUIRED | 事前にお知らせください

- 緊急連絡先
- 持病、服用している薬 (あれば)
- アレルギーの有無、内容
- 食事制限の有無、内容

#### ■ ITINERARY | 行程

7:45	札幌駅集合 (貸切バス移動)
10:00	ウポポイ到着 国立民族共生公園 散策 国立アイヌ民族博物館 見学
12:45	昼食 (オハウ定食)
14:30	地獄谷ウォーキング 地獄谷〜大湯沼〜天然足湯 ※天候等の状況によりルート変更の可能性あり
16:45	登別 出発
18:30 頃	札幌駅北口着・解散

#### ■ INCLUDED | 料金に含まれるもの

- 大人 1 名様 16,500 円 (税込)
- バス代、昼食代、ガイド料、入館料、保険料、取扱手数料  
※ 今回は料金の徴収はありません

当日撮影する画像は事業報告のためのウェブサイト等に掲載させていただく可能性があります。支障がある場合は当日スタッフまでお知らせください。



## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-3 エクスカーション

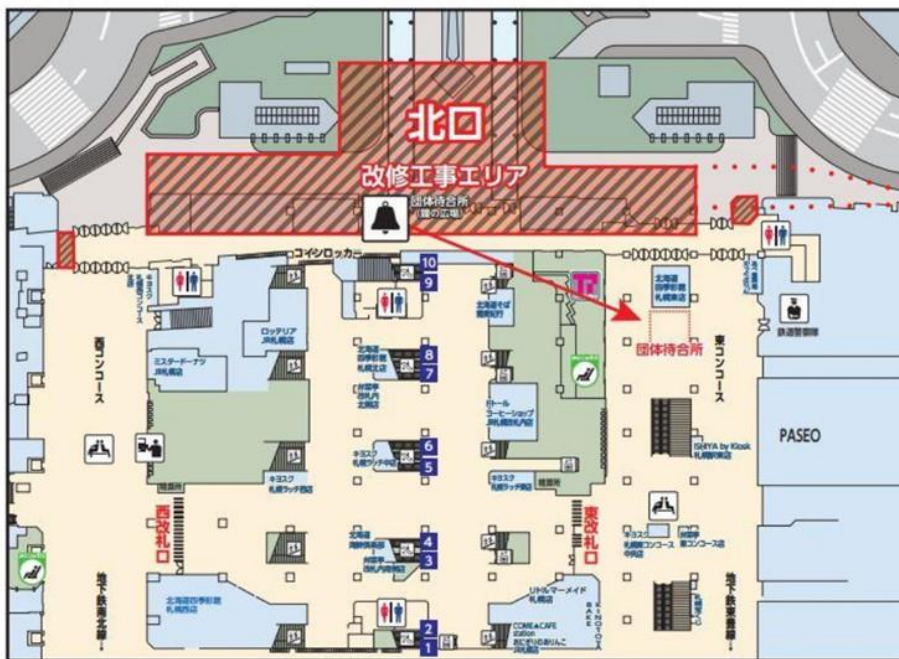
#### 2-5-3-1 白老・登別コース

##### ①MIC (Minimum Information for Customer)

【裏面】

■当日の集合場所・時間

2020年11月11日(水) 午前7:45 JR札幌駅 <団体待合所> 集合 (8:15 貸切バス出発)  
(札幌駅構内 東コンコース<団体待合所> ※北海道四季彩館札幌東店前)



(JR 北海道 HPより)

■当日の緊急連絡先

(株)北海道宝島旅行社 営業部 担当: 梶田 奏絵 (かじた かなえ)  
携帯: 080-4083-6895

■事前確認事項等の問合せ先

(株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部 担当: 常井 玄 (とこい げん)  
携帯: 080-3303-6830 E-mail: tokoi@hokkaido-takarajima.com

その他参考情報 [表面に記載の行程の難易度 (レベル1~5) について]

- 1 : Relaxed/Social (緩やか: 文化体験、軽いアクティビティ、野生動物観察)
- 2 : Easy active (初級: 1日あたり2~4時間の簡単な身体的活動)
- 3 : Moderate (中級: ある程度の体力が必要、1日あたり約4~6時間の身体的活動)
- 4 : Vigorous (活発: 1日あたり5~8時間の身体的活動、それに見合う体力と経験が必要)
- 5 : Challenging (挑戦的: 最大8時間以上の身体的活動、それに見合う体力と経験が必須)

以上

## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

## 2-5-3 エクスカーション

## 2-5-3-1 白老・登別コース

## ②名簿

## 参加者

	ご所属	担当課/役職	お名前	備考
1	(株) 近畿日本ツーリスト北海道	北海道DM支店営業	若木 なつみ	参加者
2	(公社) 北海道観光振興機構	AT推進本部事業支援部次長	竹田 晴香	参加者
3	礼文島自然ガイド	代表	鹿川 明美	参加者
4	七飯町	経済部商工観光課観光係係長	三浦 啓輔	参加者
5	後志総合振興局	商工労働観光課主任	関野 佐知	参加者
6	N P O法人Yakumo Village		深田 麻友	参加者
7	ナイストラベル (株)	営業所長	関原 潔	参加者
8	ANAセールス(株)	訪日旅行部マネジャー	柴田 佳郎	参加者
9	オーシャンデイズ		相澤 浩一	参加者
10	M's English	通訳案内士・森林インストラクター	馬上 千恵	参加者

## 受入側

	ご所属	担当課/役職	お名前	備考
1	(株)登別ゲートウェイセンター	代表	阿部 敏昭	ガイド

## 関係者

	ご所属	担当課/役職	お名前	備考
1	北海道運輸局	観光部観光企画課 調査係	吉田 乙生	関係者
2	(株)北海道宝島旅行社	取締役営業部 部長	本間 友紀	スタッフ
3	(株)北海道宝島旅行社	営業部	梶田 奏絵	スタッフ

## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-3 エクスカーション

#### 2-5-3-1 白老・登別コース

#### ③ イベントの様子

①



スルーガイドはアイヌのバックグラウンドを持つ(株)登別ゲートウェイセンター阿部氏が務めた。

②



国立民族共生公園内にあるアイヌの伝統的の家屋を再現したチセの見学。

③



昼食は、地元の(一社)白老アイヌ協会が運営するカフェピラサレでオハウ(アイヌの言葉で汁物のこと)定食が提供された。

④



午後は、登別温泉に移動し、アイヌ語由来の地名やこの地に残るアイヌの物語をスルーガイドの阿部氏から聞きながらの約1時間半の地獄谷ウォーキングを楽しんだ。

⑤



支笏洞爺国立公園内である登別温泉の地獄谷でのガイドウォーキングツアー。

⑥



ツアーのクライマックスは、登別温泉の天然足湯で旅の疲れを癒した。



## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-3 エクスカーション

#### 2-5-3-1 白老・登別コース

#### ④イベントの感想

##### 【国立民族共生公園散策・国立アイヌ民族博物館見学】

- ・現地ガイドの阿部さんの人気があるのがわかりました。歴史や生立ちを含めてのお話しはとても面白かったし勉強になった。
- ・アイヌ民族の歴史や文化、物語に触れ知識が深まりました。ウポポイは又訪れたい。
- ・ウポポイは自分が思っていたよりも見学時間を長く設定しないとゆっくりとした見学が出来ないと感じましたし半日の設定をしても全て回り切れない施設だと思った。



##### 【地獄谷～大沼湯～天然足湯】

- ・地獄谷の散策はガイドの内容も興味深く、話題や気の引き方など非常に上手かった。歩くコースも程よい起伏で、自然の足湯もサプライズ的に紹介してくれて、満足度は高いと感じた。
- ・地域ガイドの方のお話は面白く、その地域の歴史や自然環境について学ぶことができとても良かった。
- ・地獄谷のガイディングはとてもわかりやすく、アイヌのことも少しずつ取り入れていた印象。足湯は大好評で、スタッフが先でタオル等持って待ってしてくれるのは嬉しい。全員足湯に浸かった結果に。





## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-3 エクスカーション

#### 2-5-3-1 白老・登別コース

#### 【白老・登別コース感想】

#### エクスカーション参加者のコメント

##### 【良い評価】

- ・時間配分はとてもよく、1つのアクティビティが長すぎず短すぎず程よく設定されていた。
- ・ランチでは白老アイヌ協会の方やスタッフのお母さんから話も聞いたのが好評！
- ・地域ガイドの方のお話は面白く、その地域の歴史や自然環境について学ぶことができとても良かったと思います。
- ・ウポポイ施設を実際に訪問できて、今後のAT企画の面でも参考になった。
- ・日帰りツアーでは、個人ではできないガイド付き体験も出来、とても勉強になりました。
- ・お昼の時に白老アイヌ協会の方がご飯の説明をしてくれ、お母さんがエント茶の説明してくれたのがよかった。

##### 【中性的な評価】

- ・午後の地獄谷の案内が良かったので、午前部分はかなり内容的にも弱く感じた。
- ・リピーターを想定して、ウポポイでは他にこんなショーがあります、アイヌの慰霊祭が白老であります、白老の食べ物はこんなものがあります、登別の地獄谷はこんなルートがあつてこう楽しめますなど。また来たい、知りたい案内を入れたい、と感じた。
- ・アイヌの世界観、自然観に触れることを目指していた反面、アイヌ文化には確かに触れたものの、自然観には触れていないと感じた。

##### 【改善点】

- ・知ってる前提で話が進んだため、アイヌについての説明がほとんどなく、外国からの方が参加した場合のバックグラウンドについてどのように理解をしてもらうのか疑問が残った。
- ・全体を通じて、日本語の内容を英語にそのままでも今のままでは理解されないのではないかとおもった。
- ・まず、札幌～ウポポイ、登別～札幌の移動については、ほとんど移動するだけという感じだったので、ウポポイに向かっている最中なら、ウポポイの説明をする等しても良かったのかなと思います。本当なら地域ガイドの方が添乗して、もう少しお話し頂けるとのことでしたので、そのお話を聞いてみたかったなとは思いました。
- ・ウポポイでは、阿部さんによるガイディングをもっとくわしく聞きたかったのは参加者の総意と感じた。ウポポイスタッフがいるとウポポイスタッフが参加者の質問に答えがちなため、外のガイディングを充実させたり、阿部さんも3回目のウポポイとの話だったのでオススメのショーやシアターなど、自由行動の前に案内してもよかったのでは。
- ・昼食時、白老アイヌ協会の方がいらっしゃったが、もう少しふれあいたかった。

## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-3 エクスカーション

#### 2-5-3-2 余市コース

##### ①MIC (Minimum Information for Customer)



---

### 1-Day Guided Cycling & Cultural Tour in Yoichi

#### 余市サイクリング&地域住民との交流

---

#### ■ OVERVIEW | ストーリー

本ツアーは、アクティビティを通じて「果樹の街の豊かな暮らしぶり」に触れるツアーです。また、移動は公共交通機関である JR を活用し、現地での移動は全てサイクリングで行うなど、環境に配慮したツアー内容です（※注：新型コロナウイルス感染拡大の状況により、11/11 に関しては電車移動部分を貸切バスに変更）。

北海道の中でも温暖な気候（北に暖流が流れる石狩湾、西には冬の季節風を遮る積丹山塊、厳冬期に果樹を凍害から守るのに十分な積雪）で果樹栽培が盛んな余市・仁木エリア。余市町では、古くは明治時代に日本で初めてりんごの民間栽培に成功するなどといった歴史もあり、りんご、なし、ぶどう（ワイン加工用、生食用ともに）については生産量国内第1位を誇ります。余市駅について、まずサイクリングガイドと合流。ギアの使い方の確認や装備を確認したのち、果樹園が続く丘陵地帯など、約 22km（約 1 時間半）のアップダウンのあるサイクリング。昼食会場を兼ねた地域交流拠点である余市エコビレッジに到着し、近隣で農家を営み、持続可能な生活を目指す「じきの台所」のむらたえりさんによる地元食材を使ったケータリングランチを楽しみます。また、地元の農家で生産されたリンゴの複数種類の食べ比べを楽しみます（タッチオープンで焼き林檎に）。最後に、近隣のリンゴ農家を訪問し、生産の現場を直接見ることや農家との対話を通じて、改めて余市の果樹栽培の歴史のバックヤードの物語について知ります。復路は、余市エコビレッジから JR 余市駅までサイクリングで移動し、JR に乗って札幌に戻ります。

#### ■ HIGHLIGHT | ハイライト

- ・ 丘陵地帯を巡る約 22km（約 1 時間半）の果樹園の景観を楽しむサイクリング
- ・ 地域の豊かさを食で実感（地元食材を使ったランチ、地元の農家で生産されたリンゴの複数種類の食べ比べ）
- ・ 近隣の果樹農家を訪問し、生産の現場を直接見ることや農家との対話

GUIDE

アクティビティガイド  
SAPPORO ACTIVE  
NAVIGATION  
上田 浩朗

ACTIVITY

サイクリング  
地域交流体験

DIFFICULTY

レベル 2  
サイクリング：約 22km / 約 1 時間半  
地形：アップダウンのある丘陵地域  
累積標高 286m  
最大斜度 約 13%

#### ■ WHAT TO TAKE | 持ち物

- ・ マスク着用
- ・ 動きやすく汚れても良い服装、靴
- ・ サイクリングウェアはもちろんカジュアルな服装でも構いません  
通気性がよく速乾性のある服装であればなお快適です
- ・ スポンジについては裾が広がっているものはお避けください。（自転車にはチェーンガードはついていませんので裾があると巻き込んで危険です。）当日、スタッフが確認させて頂いて、対処が必要な場合は裾バンドの装着など対応いたします。
- ・ 必要に応じてスマホ、携帯、カメラ、お金などお持ち下さい。
- ・ ショルターバックやウエストポーチなどがあれば便利です。
- ・ ツアー中に飲み飲料水をご用意ください。
- ・ 自転車にはボトルケージが付いているので収納可能です。  
S P D および S P D - S L ペタルのご用意も致しますのでご希望の方はお知らせください。

季節に応じた服装：当日は気温も 10 度以下が予想されますので、防寒対策は各自ご準備ください。肌着は綿を避け、ヒートテックなど化繊の物の着用、中間着はフリース、上着は防水透湿性の防寒ウェアの着用をおすすめします。（雨雪強風の場合はサイクリング中止）

#### ■ ITINERARY | 行程

8:15	札幌駅集合（貸切バス移動）
10:00	余市道の駅 到着
	ギア装着等、準備
11:00	サイクリング（約 22km）
13:00	余市エコビレッジ到着
	昼食、リンゴ食べ比べ、農家訪問
15:00	サイクリング（約 5km）
16:30	余市道の駅 出発 （貸切バス移動）
18:00 頃	札幌駅北口着・解散

#### ■ INFORMATION REQUIRED | 事前にお知らせください

- ・ 緊急連絡先
- ・ 持病、服用している薬（あれば）
- ・ アレルギーの有無、内容
- ・ 食事制限の有無、内容

#### ■ INCLUDED | 料金に含まれるもの

大人 1 名様 21,000 円（税込）

- ・ JR 代、昼食代、ガイド料、体験料、保険料、取扱手数料
- ※ 今回は料金の徴収はありません

当日撮影する画像は事業報告のためのウェブサイト等に掲載させていただく可能性があります。支障がある場合は当日スタッフまでお知らせください。

## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

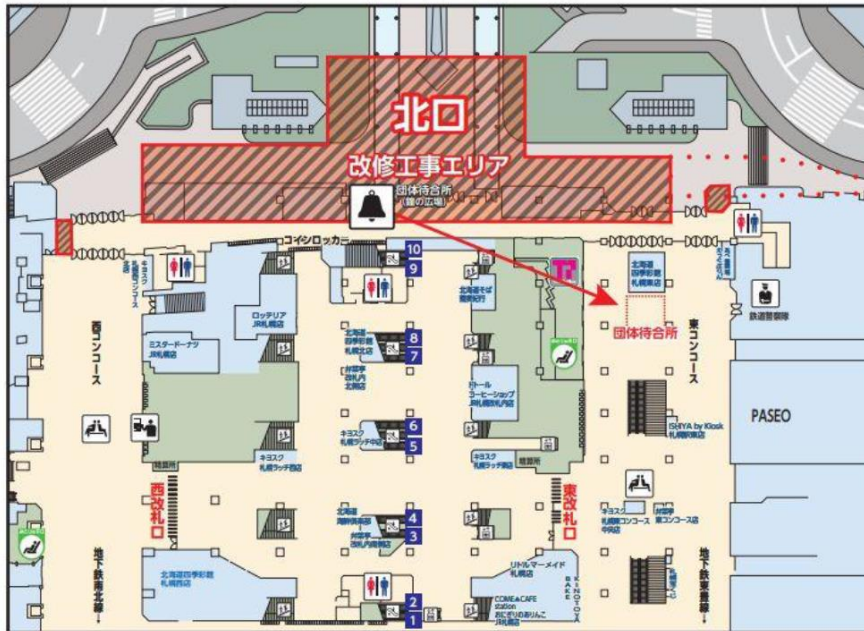
### 2-5-3 エクスカーション

#### 2-5-3-2 余市コース

##### ①MIC (Minimum Information for Customer)

###### ■当日の集合場所・時間

2020年11月11日(水) 午前8:15 JR札幌駅 <団体待合所> 集合 (8:30 貸切バス出発)  
(札幌駅構内 東コンコース<団体待合所> ※北海道四季彩館札幌東店前)



###### ■当日の緊急連絡先

(株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部 担当: 常井 玄 (とこい げん)  
携帯: 080-3303-6830

###### ■事前確認事項等の問合せ先

(株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部 担当: 常井 玄 (とこい げん)  
携帯: 080-3303-6830 E-mail: tokoi@hokkaido-takarajima.com

その他参考情報 [表面に記載の行程の難易度(レベル1~5)について]

- 1 : Relaxed/Social (緩やか: 文化体験、軽いアクティビティ、野生動物観察)
- 2 : Easy active (初級: 1日あたり2~4時間の簡単な身体的活動)
- 3 : Moderate (中級: ある程度の体力が必要、1日あたり約4~6時間の身体的活動)
- 4 : Vigorous (活発: 1日あたり5~8時間の身体的活動、それに見合う体力と経験が必要)
- 5 : Challenging (挑戦的: 最大8時間以上の身体的活動、それに見合う体力と経験が必須)

## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-3 エクスカーション

#### 2-5-3-2 余市コース

##### ①MIC (Minimum Information for Customer)

###### 【雨・雪・強風でサイクリングを中止にする場合の行程】

- ・ 11/9（月）夕方時点の天気予報にて、エクスカーション当日の天候が雨・雪・強風・路面凍結等、サイクリングに適さない状況であると判断した場合は、悪天候時用の代替コースに切り替えます。

※ 代替コースに切り替える場合は、11/10（火）午前 9:00 までにメールでご連絡予定です。

###### ■代替コースの場合の「行程」|「持ち物」

サイクリングの部分を中止にし、代わりに余市水産博物館での「余市のニンシ〜果樹〜ウイスキーの歴史についての探訪」、ニッカウイスキー余市蒸溜所での「蒸溜所ガイドツアー」に振り替えます。ツアー行程を通じて「果樹の街の豊かな暮らしぶり」に触れるという全体のテーマは変わりません。

■ ITINERARY   行程	
8:15	札幌駅集合（貸切バス移動）
10:00	余市道の駅 到着 ギア装着等、準備
11:00	サイクリング（約 22km）
13:00	余市エコビレッジ到着 昼食、リンゴ食べ比べ、農家訪問
15:00	サイクリング（約 5km）
16:30	余市道の駅 出発 （貸切バス移動）
18:00 頃	札幌駅北口着・解散



###### 【代替コース】

■ ITINERARY   行程	
8:15	札幌駅集合 （全行程貸切バス移動）
10:00	余市水産博物館 見学
11:30	ニッカウイスキー余市蒸溜所 見学
13:00	余市エコビレッジ到着 昼食、リンゴ食べ比べ、農家訪問
15:00	余市エコビレッジ 出発
17:00 頃	札幌駅北口着・解散

###### ■ WHAT TO TAKE | 持ち物

- ・ マスク着用
- ・ 汚れてもよい動きやすい靴（運動靴等）  
（※農家さん圃場に、ぬかるみあり）
- ・ リュックサック
- ・ 防風/防寒/防水用のジャケット
- ・ 帽子（風に飛ばされないもの）、手袋、マフラー等
- ・ 雨具（カサはNG。風が強い場合があるため）
- ・ 水筒（飲み物）

■ 【重要】雪の天候でも野外を歩ける服装、装備でお越しください。

雨具の下に速乾性のあるベースレイヤー、さらにフリースまたはライトダウンジャケットの重ね着をすると体温調整がしやすいです。雪の場合は、足元は滑りやすく濡れる可能性が高いため、登山靴がある方は登山靴、または長靴+暖かい靴下をお持ちください。

以上



## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

## 2-5-3 エクスカーション

## 2-5-3-2 余市コース

## ②名簿

## 参加者

	ご所属	担当課/役職	お名前	備考
1	(一社)大雪カムイミンタラDMO	地域開発部長	佐藤 佑樹	参加者
2	ガイドオフィス風	代表	鳥羽 晃一	参加者
3	ディスカバリーズ	代表	弘中 祐	参加者
4	Discover Southern Hokkaido		山口 颯一朗	参加者
5	NPO法人南富良野まちづくり観光協会	事務局理事	小林 茂雄	参加者
6	SAPPORO ACTIVE NAVIGATION	代表	上田 浩朗	参加者
7	Giro21	代表	松山 淳	参加者
8	(一社)黒松内町観光協会	事務局長	本間 崇文	参加者

## 受入側

	ご所属	担当課/役職	お名前	備考
1	(株)北海道宝島旅行社	観光地域づくり部	常井 玄	ガイド

## 関係者

	ご所属	担当課/役職	お名前	備考
1	北海道運輸局	観光部 観光企画課長	倉信 二郎	関係者
2	(株)北海道宝島旅行社	営業部	梶田 奏絵	関係者

## 2-5. アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-3 エクスカーション

#### 2-5-3-2 余市コース

#### ③ イベントの様子

①



ツアーの導入として、余市水産博物館にて館長の浅野氏より、余市のリンゴのストーリーとニッカウキスキー蒸留所との繋がりについて説明がなされた。

②



ニッカウキスキー余市蒸留所を見学。蒸留所設立当時は、ウイスキーの熟成に年数が必要なこともあり、当時から豊富に栽培されていたリンゴで最初はリンゴジュースなどを作って売っていたストーリーなどが紹介された。

③



余市町登地区の余市エコビレッジに移動し、地元食材をふんだんに使った野菜中心のお弁当(昼食)と、地元の農家が作った多品種のリンゴの食べ比べを行った。

④



リンゴの食べ比べでは、全て余市で生産された約10種類のリンゴがカットされ食べやすい形で提供され、それぞれに好みの味を選びながら味の違いを楽しんだ。

⑤



リンゴの食べ比べの後は、実際に生産者である余市のリンゴ農家を訪問。余市ならではの品種である「緋の衣」を復活させるための取組などの話を生産現場で伺った。

⑥



リンゴ農家への訪問では、小さいリンゴは登山の時に需要があるなどのアイデアが参加者から訪れた先の農家に提供され、消費だけではなく、訪れた先で参加者自身が何かを与えるという関わり方が見られた。

## 2-5. アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-3 エクスカーション

#### 2-5-3-2 余市コース

#### ④ イベントの感想

##### 【余市水産博物館見学・ニッカウヰスキー蒸留所】

- ・余市水産博物館自体はとても興味深いものだった。館長さんの話は面白かった。
- ・水産博物館は日本人として興味深かったが、展示内容が多すぎると思った。テーマに沿った絞り込んだ説明を受けたほうが、良かったのでは。
- ・ニッカは初めてガイドによる説明を受け、理解が深まりましたが、ウイスキーと鯉、リンゴは繋がりませんでした。(ウイスキー製造までジュースを作っていた話は多少繋がるのかも知れませんが弱いと感じました)。



##### 【余市エコビレッジ】

- ・ツアーの最後で、リンゴ農家さんに対して、参加者の一人の登山ガイドが、山に行くには、小さいリンゴの方が良いという話をして、農家さんにそういった需要もあるのか、という気付きを与えられた。
- ・旅行客が地域を訪れることで、地域から何かを得るのではなく、今日みたいに参加者が一つのチームとなって、例えば農家さんのリンゴの販路の一つに関して提案をするみたいなのは、旅行客が地域から得るのみではなく、与えるというコミュニケーションになって、ATらしいのではないかと。
- ・エコビレッジのリンゴ食べ比べは良かったし、お昼ご飯も良かった。登場された方々も。農家さんでの絆の衣の接ぎ木の話は良かったと。
- ・リンゴ農家の阿部さんは本物のプロ。ここでのエコビレッジ坂本さんの案内、質問も良かった。その上、リンゴの直売もあれば更に良かった。



## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-3 エクスカーション

#### 2-5-3-2 余市コース

##### 【余市コース感想】

##### エクスカーション参加者のコメント

##### 【良い評価】

- ・団体向けではなく、個人や小グループに特化して、地域の人とのコミュニケーションの機会を増やすコース設定だと良いと思う(今日はそうになっていた)。
- ・スルーガイドさんの一生懸命さと余市地域ガイドさん達の相愛と余市の歴史、日常に触れられてとても良かったです。
- ・ツアー冒頭、博物館で余市の歴史に関係するリンゴ緋の衣(ひのころも)の話を聞き、それを最後に食べて、生産場所まで見学できる、という流れは良かった。
- ・水産博物館の館長さんの話は面白かったです。
- ・余市ツアーに参加した方と、荒井さんと名刺交換して、少しお話できたのが良かったです。
- ・古民家喫茶は良かった。ニシン番屋の暮らしぶりを感じられた。

##### 【中性的な評価】

- ・今日の最後のリンゴ農家さんとのやりとりみたいに、全体を貫くリンゴのストーリーがあって、それを最後に地域の人との交流等を通して、触れることができると、ツアーがより立体的になって良かった。
- ・一人で活動しているガイドでは、中々(ATのツアーを)形にするのが難しいと感じた。
- ・スルーガイドの大切さを実感した。
- ・ニシン番屋で昼食を食べられればと思った。

##### 【改善点】

- ・ツアー運営の上で、コーディネーターが誰で、グループリーダーが誰で、ということをもっとはっきりさせた方が良い。
- ・天候不順による代替案になったのは仕方無いかと思いますが、“今日は代替案で良かったですね！こっちの方がラッキーでしたね！”という進行にできなかったため、ツアーの最後まで『今日はBプランで残念』という印象は拭えませんでした。多分こういったケースでスルーガイドの力量が試されるんだろうな、と感じた次第です。
- ・今回は鯨・リンゴ(果樹)・ウイスキーの3つがストーリーだったと思いますが、繋がりを感ずるのが難しかったです。
- ・サイクリングで海を見ながら走ったり、農家を巡ったりで体感出来れば、また違った印象だったのかもしれませんが、水産博物館で話を聞いただけでは(博物館自体はとても興味深いものでした)、その3つがイマイチ繋がりがありませんでした。
- ・今回はジュースだけでなく、お土産をもう少し買ってあげられればと思った。



## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-3 エクスカーション

#### 2-5-3-3 洞爺湖コース

#### ①MIC (Minimum Information for Customer)



---

### Toya-Usu UNESCO Global Geopark : 1-Day Guided Walking Tour

#### 洞爺湖有珠山ジオパークガイドウォーキングツアー

---

#### ■ OVERVIEW | ストーリー

本ツアーは、アクティビティを通じて「変動する大地（火山）との共生」の物語に触れるツアーです。このエリアで起こったことを基本的には時系列で巡ることで、その物語に触れることを目指します。行程の冒頭は、有珠山ロープウェイに乗りし、火口原展望台にて、洞爺湖有珠山ジオパークの全体像と有珠山という火山の成り立ちについて知るから始まります。その後、麓の記念館を訪れ、主に 1943 年～45 年にかけての昭和火山誕生に紐づく大地と人の物語を聴きます。昼食を地元の和食レストラン「仙堂庵」で楽しめます。午後は、2000 年の噴火で形成された火口群などを巡る約 1.8km の西山山麓コースを歩きます。途中、入域に必要な規制区域に特別に火山マイスターと立ち入り、生活区域での大地の変動の凄まじさを体感します。最後に、ツアーのクローージングとして、金比羅火口展望台からの眺望を臨むことにより、火山と人々の暮らしがどれほど近い距離にあるのかについて、また、「バランスをとりつつ暮らす = 共生」について、まとめます。

#### ■ HIGHLIGHT | ハイライト

- ・ 火口原展望台にて、洞爺湖有珠山ジオパークの全体像と有珠山という火山の成り立ちについて知る。
- ・ 麓の三松正夫記念館を訪れ、昭和火山誕生に紐づく大地と人の物語を聴く。
- ・ 入域に特別許可が必要な規制区域に火山マイスターと立ち入り、生活区域での大地の変動の凄まじさを体感する。

GUIDE

アクティビティガイド  
Sotoasobu 江川 理恵

ACTIVITY

軽ハイキング

DIFFICULTY

レベル2  
軽ハイキング：約 2km/約 2 時間  
地形：未舗装路を含む散策道  
(一部足場の悪いぬかるみ有り)  
高低差 50m

#### ■ WHAT TO TAKE | 持ち物

- ・ マスク着用
- ・ トレッキングシューズが長靴を必携  
(※コース上に一部、ぬかるみあり。登山用スパッツがあると尚良い)
- ・ リュックサック
- ・ 防風/防寒/防水用のジャケット
- ・ 帽子 (風に飛ばされないもの)、手袋、マフラー等
- ・ 雨具 (カサは NG。風が強い場合があるため)
- ・ 水筒 (飲み物)
- ・ (必要であれば) タオルやサングラス、日焼け止め、トレッキングポール

**【重要】雪の天候でも野外を歩ける服装、装備でお越ください。**  
雨具の下に速乾性のあるベースレイヤー、さらにフリースまたはライトダウンジャケットの重ね着をすると体温調整がしやすいです。雪の場合は、足元は滑りやすく濡れる可能性が高いため、登山靴がある方は登山靴、または長靴+暖かい靴下をお持ちください。

#### ■ ITINERARY | 行程

7:45	札幌駅集合 (貸切バス移動)
10:30	昭和火山バス駐車場着
	有珠山ロープウェイ
	火口原展望台
11:50	三松正夫記念館
12:40	昼食 (ほたておこわ御膳)
13:50	西山山麓遊歩道 (ぬかるみあり)
	途中、規制区域入域
16:00	金比羅火口展望台
16:30	洞爺湖 出発
19:00 頃	札幌駅北口着・解散

#### ■ INFORMATION REQUIRED | 事前にお知らせください

- ・ 緊急連絡先
- ・ 持病、服用している薬 (あれば)
- ・ アレルギーの有無、内容
- ・ 食事制限の有無、内容

#### ■ INCLUDED | 料金に含まれるもの

大人 1 名様 19,000 円 (税込)

- ・ バス代、昼食代、ガイド料、ロープウェイ代、入館料、保険料、取扱手数料
- ※ 今回は料金の徴収はありません

当日撮影する画像は事業報告のためのウェブサイト等に掲載させていただく可能性があります。支障がある場合は当日スタッフまでお知らせください。

株式会社北海道宝島旅行社 (北 2-597 ANTA 正会員)  
〒060-0052 札幌市中央区南 2 条東 2 丁目 8-1  
TEL : 011-252-2115 | <http://hokkaido-takarajima.com> |

## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-3 エクスカーション

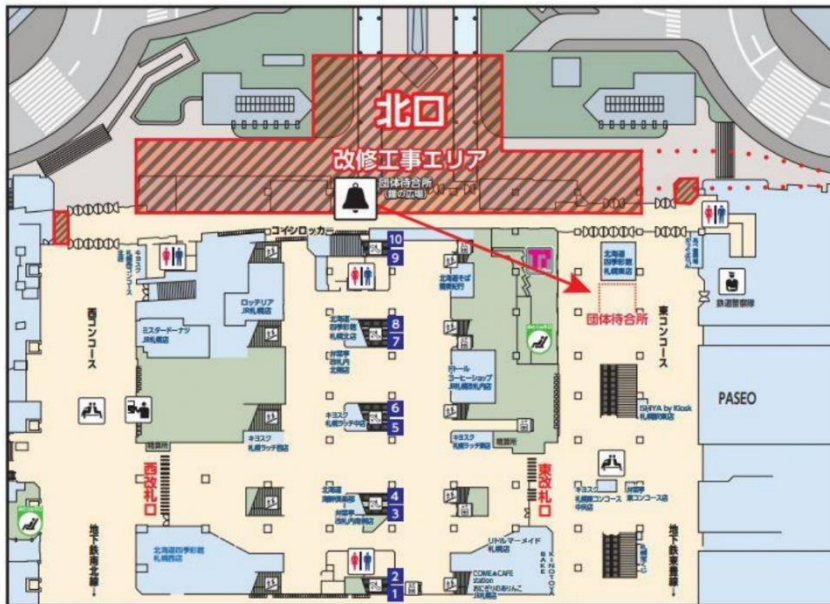
#### 2-5-3-3 洞爺湖コース

##### ①MIC (Minimum Information for Customer)

【裏面】

■当日の集合場所・時間

2020年11月11日(水) 午前7:45 JR札幌駅 <団体待合所> 集合 (8:00 貸切バス出発)  
(札幌駅構内 東コンコース<団体待合所> ※北海道四季彩館札幌東店前)



(JR北海道 HPより)

■当日の緊急連絡先

(株)北海道宝島旅行社 営業部 担当:角館 江利子 (かくだて えりこ)  
携帯:080-4114-5906

■事前確認事項等の問合せ先

(株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部 担当:常井 玄 (とこい げん)  
携帯:080-3303-6830 E-mail:tokoi@hokkaido-takarajima.com

その他参考情報 [表面に記載の行程の難易度(レベル1~5)について]

- 1: Relaxed/Social (緩やか:文化体験、軽いアクティビティ、野生動物観察)
- 2: Easy active (初級:1日あたり2~4時間の簡単な身体的活動)
- 3: Moderate (中級:ある程度の体力が必要、1日あたり約4~6時間の身体的活動)
- 4: Vigorous (活発:1日あたり5~8時間の身体的活動、それに見合う体力と経験が必要)
- 5: Challenging (挑戦的:最大8時間以上の身体的活動、それに見合う体力と経験が必須)

以上

## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

## 2-5-3 エクスカーション

## 2-5-3-3 洞爺湖コース

## ②名簿

## 参加者

	ご所属	担当課/役職	お名前	備考
1	胆振振総合振興局	商工労働観光課	山下 知子	参加者
2	(公社)北海道観光振興機構	AT推進本部第1事業部部長	岩田 昌之	参加者
3	七飯町	経済部商工観光課観光係	河村 綾一	参加者
4	H-SEG	代表社員	遠藤 昌子	参加者
5	千歳の観光を考える会	企画運営部 部会長	鈴木 靖彦	参加者
6	株式会社JALパック	訪日事業部部長	遠藤 剛樹	参加者
7	オーシャンデイズ		甲斐 洋臣	参加者
8	ブルーーツーリズム北海道	企画チーフプランナー	福田 公代	参加者
9	ANAセールス(株)	訪日旅行部部長	黒木 美紀	参加者
10	北海道経済部観光局	主任	中本 知世	参加者
11	札幌観光バス(株)		佐藤 圭祐	参加者

## 受入側

	ご所属	担当課/役職	お名前	備考
1	Sotoasobu	代表	江川 理恵	ガイド
2	洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会		加賀谷 にれ	現地サポート

## 関係者

	ご所属	担当課/役職	お名前	備考
1	北海道運輸局	観光部 観光企画課	岩城 国松	関係者
2	(株)北海道宝島旅行社	代表取締役社長	鈴木 宏一郎	スタッフ
3	(株)北海道宝島旅行社	観光地域づくり部 部長	菊地 敏孝	スタッフ
4	(株)北海道宝島旅行社	営業部	角館 江利子	スタッフ

## 2-5. アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-3 エクスカーション

#### 2-5-3-3 洞爺湖コース

#### ③ イベントの様子



① ツアーの冒頭、有珠山ロープウェイに乗車し、洞爺湖有珠山ジオパークの全体像と有珠山の成り立ちについて説明がされた。



② ロープウェイ下車後、麓の三松正夫記念館を訪れ、館長の三松三朗氏より、昭和新年誕生に紐づく人と大地の物語の説明がなされた。



③ 昼食は、地元のレストラン仙堂庵（わかさいも本舗）にて、噴火湾の恵みであるホタテ御膳が提供された。



④ 午後は、2000年の噴火で形成された火口群などを巡る約1.8kmの西山山麓コースを歩いた。



⑤ 途中、入域に許可が必要な規制区域に特別に火山マイスターと立ち入り、生活区域での大地の変動の凄まじさの話がスルーガイドのSotoasobu江川氏よりなされた。



⑥ ツアーのクライマックスは、金比羅火口展望台からの眺望。参加者は、火口と温泉街（人々の生活区域）の近さを改めて視覚的に実感した。



## 2-5. アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-3 エクスカーション

#### 2-5-3-3 洞爺湖コース

#### ④ イベントの感想

##### 【有珠山ロープウェイ・火口原展望台】

・トレッキング中にチャレンジングなコースを歩いたりATトラベラーの要求を満たすことができそうな内容が組み込まれていたのも良かった。



##### 【三松正夫記念館】

・三松三郎様の生話しも大変貴重な体験となりました。



##### 【西山山麓遊歩道】

・西山山麓火口の入域制限区域に入れるのは、かなりのアドベンチャーだった。特別感があってよかった。

・西山山麓火口後のバス乗車時の足ふきタオルを用意していたことに、感心した。



##### 【金比羅火口展望台】

・最後には、それでも火山と共生しますというストーリーの締めの部分、洞爺湖と町と被災箇所を一度にみれる場所で話すことによって、フィナーレ演出が盛り上がったように感じました。



## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-3 エクスカーション

#### 2-5-3-3 洞爺湖コース

#### 【洞爺コース感想】

##### エクスカーション参加者のコメント

##### 【良い評価】

- ・火山マイスターのご説明、配慮に、感動でした。
- ・ガイドさんが素晴らしいと思います。コースもよく練られていました。
- ・ガイドの江川さんの案内があったので、各スポットの辿ってきた歴史・経緯を知ることができた。普段は立ち入り禁止のエリアに入ることができたのも新鮮だった。
- ・それぞれのコンテンツがしっかりと地域に関わっているもので、一貫したストーリー作りがなされていると感じた。
- ・ATに求められる5つの体験価値が感じられるコースだった。
- ・ストーリーの流れ、構成が良く練られていて楽しめるコースでした。ガイドングも素晴らしかったです。
- ・プログラムの構成がとても良かったです。はじめに有珠山の基礎知識を、後半に被災の過去を辿りました。途中で三松さんから直接お話いただいたことや、トレッキング中にチャレンジなコースを歩いたりATトラベラーの要求を満たすことができそうな内容が組み込まれていたのも良かったです。
- ・気温、装備、ビューポイント、休憩場所の説明が適宜行われていました。バス乗車時にドライバーさんからも挨拶があったことで気持ちよくスタートできました。
- ・エキサイティングさはそれほどではなかったと思うが、ガイドの案内(自作の絵も含め)があつて理解が深まり充実感を得られた。この手のツアーにおけるガイドの重要性を認識した。

##### 【中性的な評価】

- ・メディアの報道等を通じて認識していた火山噴火の遺構を目の当たりにして、自然の威力をまざまざと見せつけられたような気持ちになった。特に、旧国道230号線の破壊の様子は印象的だった。

##### 【改善点】


- ・食事について、内容はとてもよかったが、より本コースとの関連性が感じられる説明があればと感じた。
- ・訪日(海外の方)向けと考えると、少し理解が難しい内容かなと思ったことと、スケール感に不足があるかもと感じました。
- ・有珠山ロープウェイで頂いたお土産がプラスチックが目立ったことと、参加者同士の交流は参加者まかせであったことは少し残念でした。
- ・導入部分として、もっと大きなところから始めてはどうだろうか？日本の火山・火口湖・環太平洋火山帯・地震・温泉・噴火、その影響で日本人の宗教観や精神性が作られてきたこと、北海道が日本人が開拓したという点では新しい地域であること、ただ原日本人という縄文の人からの歴史は絶えず続いてきたことなど、前提となる日本の世界での位置、日本での洞爺湖周辺の位置付きがあると良いと思った。
- ・地域の方が地震と共生していることは話だけではなく、果樹園などを訪問して果物をいただき農家の方に話を伺うのもリアリティがあつてよいと思う。

## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-3 エクスカーション

#### 2-5-3-4 旭川コース

##### ①MIC (Minimum Information for Customer)



ADVENTURE  
HOKKAIDO  
LOCAL TRAVEL SPECIALIST

---

### Travel the Time with Ainu : 1-Day Guided Indigenous Cultural Tour

#### アイヌとゆく歴史散策：日帰りガイド付き先住民文化ツアー

---

**■ OVERVIEW | ストーリー**

「カムイと共に生きる上川アイヌ」として日本遺産登録を受けた上川アイヌが歩んできた歴史、自然との関わり方、現代に伝承された文化や営みに触れる先住民文化交流ツアーです。アイヌが「我ら祈る山」と称し信仰する嵐山チノミシリを歩き、アイヌが生活用具や食材として用いた草木について学びながら、旭川市や大雪山の山々が一望できる展望台を目指します。昼食後、1916年に設立された川村カチト記念館を訪問し、アイヌガイドによる案内のもと施設を見学し、アイヌ文化を体験します。

**■ HIGHLIGHT | ハイライト**

- ・日本最古で唯一の私立のアイヌ資料館を訪問
- ・アイヌ伝統楽器の演奏体験、施設見学等を通じたアイヌとの文化交流
- ・アイヌガイドの案内により聖地「チノミシリ」嵐山を軽ハイキング

**GUIDE**

スルーガイド 荒井一洋  
アイヌガイド 川村久恵

**ACTIVITY**

軽ハイキング  
先住民文化体験

**DIFFICULTY**

レベル1  
ハイキング：約2km/約1時間半  
地形：未舗装の散策道  
上り120m 下り120m

**■ WHAT TO TAKE | 持ち物**

- ・ 防風/防寒/防水用のジャケット
- ・ 運動靴
- ・ 運動しやすい服装/地べたに座りやすい服装
- ・ 帽子、手袋、マフラー等
- ・ 水ボトル/水筒
- ・ カメラ

**⚠️ 雷の天候でも野外を歩ける服装、装備で起こしてください。**

雨具の下に速乾性のあるベースレイヤー、さらにフリースまたはライトダウンジャケットの重ね着すると体温調整がしやすいです。雪の場合は、足元は滑りやすく濡れる可能性が高いため、登山靴がある方は登山靴、防水性の高い運動靴、もしくは長靴+温かい靴下がおすすです。

**■ ITINERARY | 行程**

7:30	札幌集合
	移動 (約2時間)
	嵐山ハイキング (約1時間半)
	昼食 (お蕎麦)
	アイヌ記念館見学および文化体験
	移動 (約2時間)
17:00	札幌解散

**■ INFORMATION REQUIRED | 事前にお知らせください**

- ・ 緊急連絡先
- ・ 持病、服用している薬 (あれば)
- ・ アレルギーの有無、内容
- ・ 食事制限の有無、内容

**■ INCLUDED | 料金に含まれるもの**

- ・ 昼食
- ・ ガイド料
- ・ アイヌ記念館入館料
- ・ 保険料

当日撮影する画像や映像は弊社ウェブサイト等に掲載させていただきます。支障がある場合は当日スタッフまでお知らせください。

---

Adventure Hokkaido 合同会社 (旅行業 2-789)  
〒071-1404 北海道上川郡東川町西4号北46  
TEL 050-5534-9420 | www.adventure-hokkaido.com | info@adventure-hokkaido.com



## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-3 エクスカーション

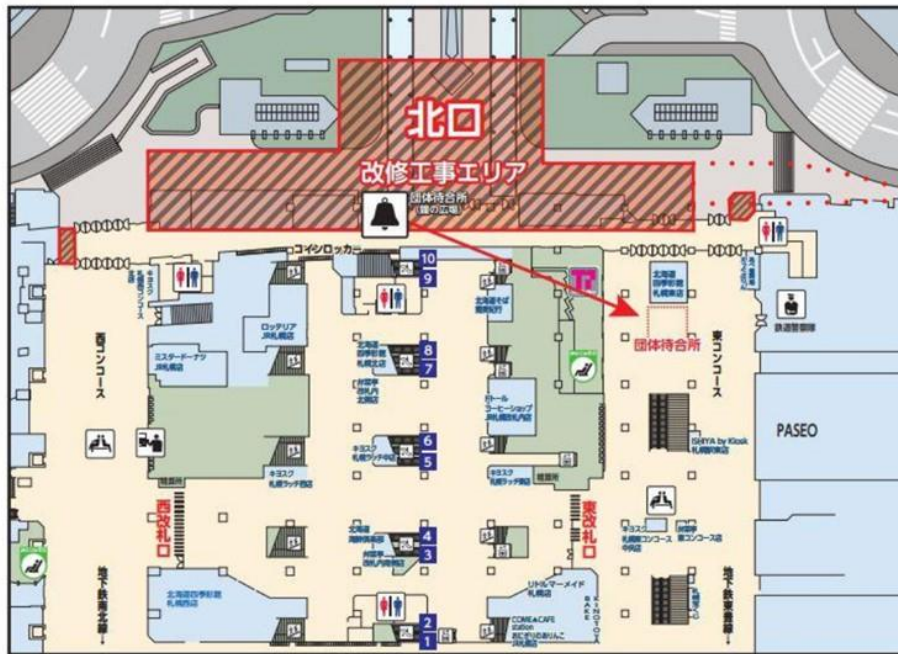
#### 2-5-3-4 旭川コース

##### ①MIC (Minimum Information for Customer)

【裏面】

■ 当日の集合場所・時間

2020年11月11日(水) 午前7:15 JR札幌駅 <団体待合所> 集合 (7:30 貸切バス出発)  
(札幌駅構内 東コンコース<団体待合所> ※北海道四季彩館札幌東店前)



(JR北海道 HPより)

■ 当日の緊急連絡先

(株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部 担当:小濱 有希子 (おばま ゆきこ)  
携帯:080-1973-6001

■ 事前確認事項等の問合せ先

(株)北海道宝島旅行社 観光地域づくり部 担当:小濱 有希子 (おばま ゆきこ)  
携帯:080-1973-6001 E-mail:obama@hokkaido-takarajima.com

その他参考情報 [表面に記載の行程の難易度(レベル1~5)について]

- 1: Relaxed/Social (緩やか:文化体験、軽いアクティビティ、野生動物観察)
- 2: Easy active (初級:1日あたり2~4時間の簡単な身体的活動)
- 3: Moderate (中級:ある程度の体力が必要、1日あたり約4~6時間の身体的活動)
- 4: Vigorous (活発:1日あたり5~8時間の身体的活動、それに見合う体力と経験が必要)
- 5: Challenging (挑戦的:最大8時間以上の身体的活動、それに見合う体力と経験が必須)

以上



## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

## 2-5-3 エクスカーション

## 2-5-3-4 旭川コース

## ②名簿

## 参加者

	ご所属	担当課/役職	お名前	備考
1	国立アイヌ民族博物館	アソシエイトフェーロ	劉高力	参加者
2	H-SEG		中島 保代	参加者
3	北海道上川総合振興局	産業振興部商工労働観光課観光振興係長	荒木 洋祐	参加者
4	H-SEG		藤澤 邦子	参加者
5	Discover Southern Hokkaido	会長	赤井 義大	参加者
6	NPO法人北海道通訳案内士協会	副理事長	高島 のり	参加者

## 受入側

	ご所属	担当課/役職	お名前	備考
1	Adventure Hokkaido (合)		荒井 一洋	ガイド
2	Adventure Hokkaido (合)		吉川 彩香	ガイド

## 関係者

	ご所属	担当課/役職	お名前	備考
1	北海道運輸局	観光部国際観光課国際第一係	上野 和宏	関係者
2	(株)北海道宝島旅行社	観光地域づくり部	小濱 有希子	スタッフ

## 2-5. アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-3 エクスカーション

#### 2-5-3-4 旭川コース

#### ③ イベントの様子

①



スルーガイド荒井氏によるガイドは、札幌を出発した車内からスタート。移動に伴いアイヌ語地名などの説明を加えた。

②



会場の嵐山は各場所にアイヌ語の説明看板もあり、本ツアーのテーマに沿ったフィールド。

③



雪の中、嵐山の軽ハイキングへ。ネイチャーガイドでもある荒井氏は、嵐山の植生にアイヌのエピソードを交えてガイドができる。

④



30分ほどの山歩きの後は、旭川の町を見下ろす展望台へ。アイヌの人々が飲んでいる朴の実茶で休憩。

⑤



川村カ子トアイヌ記念館へ移動。副館長の川村久恵氏によるガイドツアーへ。

⑥



ちょうど鮭とばを作っている時期で、チセの中には煙に燻される鮭が大量に吊るされていた。

## 2-5. アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-3 エクスカーション

#### 2-5-3-4 旭川コース

#### ④ イベントの感想

##### 【嵐山ハイキング】

- ・嵐山を歩いて登り、頂上で朴の木茶(自家製)と、東川米のおせんべい(岩塚製菓・味しらべ)の提供があった。こんなおもてなしは初めてでびっくりした！
- ・雪の中での登山だったが意外と想像よりも楽で、要所要所でガイドの説明があったので終始楽しめた。



##### 【加藤カ子トアイヌ記念館見学および文化体験】

- ・副館長川村久恵さんの案内(カ子トさんの息子さん・健一さんの奥様。東京から嫁いできてアイヌ民謡グループを結成している)アイヌの暮らしに触れるテーマで、ちょうど先週末に行われた鮭とばづくりの経過を見学。
- ・記念館を案内してもらい、暖かい部屋で野草茶とキハダの実入りパウンドケーキ(手作り)を食べながら質疑応答を行った。
- ・鮭とばづくり、しかもチセの中なんて見る事ができない！貴重な体験だった。



## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-3 エクスカーション

#### 2-5-3-4 旭川コース

#### 【旭川コース感想】

#### エクスカーション参加者のコメント

##### 【良い評価】

- ・適度なトレッキングと川村カ子ト記念館の訪問をお茶とおやつ付きで楽しめました。
- ・アイヌの歴史をアクティビティを通して、直接アイヌの人に教えてもらうことができてとても楽しかった。
- ・アイヌ博物館では今まで知らなかったアイヌのディープな部分を知ることができて良かった。
- ・言葉だけではなく体感を通して楽しんでもらう感じてもらうエコツアーの楽しさを学びました。
- ・荒井ガイドによるエクスカーションはその土地の植生や上川アイヌの文化、生活など、その土地に根付いたストーリーを感じながら行程を回ることができた。
- ・自然に親しむハイキングとそこにあるアイヌの文化に触れるという2つの要素を組み合わせであって、大変充実したツアーだったと思います。
- ・ツアー中に織り込まれている「おもてなし」の心が大変嬉しかったです。とてもきめ細かなご配慮をいただけて感謝しております。
- ・多くの方にオススメしたいツアーだと思いました。
- ・ガイドさんが参加者を見て、ガイド研修のような内容にしようと判断。(参加者…通訳案内士3名、ガイド&ゲストハウス、ウポポイ研究者)行きバスの中でも、通りがかりにアイヌ語地名の説明や、地形とアイヌ語のつながりなどをじっくり話しながら行ってくれた。
- ・ガイドさんがネイチャーガイドとしての視点、観光ガイドとしての視点と、さまざまな視点でのガイドのコツや小ネタのはさみ方を実演してくれた。
- ・スルーガイドの役割について理解できた。

##### 【中性的な評価】

- ・コロナ後は参加者にムックリのお土産がついているツアーにして、実際に演奏も教えるようにできればいいと思います。

##### 【改善点】

- ・私はアイヌに関する知識がある程度あったので理解できましたが、何も知らない観光客には、もう少しアイヌに関する事前情報を提供すると、よりこのコースを楽しんでもらえるのではと思いました。
- ・少し寒かったので、冬期間の暖房対策は必要かもしれないと感じた。
- ・雪の日に山登りがちょっとしんどいと思います。天気次第調整したほうが良いかもしれません。



## 2-5. アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-4 HATA(北海道アドベンチャートラベル協議会)総会の運営

HATA(北海道アドベンチャートラベル協議会) 総会の受付窓口業務、場所の設定、運営を行った。



## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-5 セミナーの運営

#### 2-5-5-1 目的

北海道全体の機運の醸成、関係者間の連携の強化と、実践的な知識の習得によるガイドの質的向上を目的とし、セミナーの企画・運営を行った。

#### 2-5-5-2 概要

セミナーの内容および、講師の選定については、即活用できる実践的な知識を習得することができ、ガイドの質的向上に繋がる話題を検討し、講師の選定にあたった。

#### ①アドベンチャートラベル討論会

【登壇者】北海道アドベンチャートラベル協議会会長 荒井一洋氏  
英語自然ガイド 馬上千恵氏  
鶴雅リゾート(株)取締役アドベンチャー事業部部長 高田茂氏  
一般社団法人黒松内町観光協会事務局長 本間崇文氏  
【ファシリテーター】株式会社北海道宝島旅行社 鈴木宏一郎  
【内容】地域ネットワーキングイベントの講師による、イベントの講評と、実践例の共有。

#### ②基調講演『Sustainable Adventure Travel in Jordan』 Lina Annab氏

駐日ヨルダン・ハシェミット王国大使。

【内容】ヨルダンをアドベンチャートラベルの目的地として急成長させた功労者より、ヨルダンの持続可能なアドベンチャートラベルについての講演。

#### ③セミナー『Eyes on HOKKAIDO』 Aaron Jamieson氏

ニセコ在住プロカメラマン。NISEKO「powderlife」誌写真編集者。

【内容】Eyes on HOKKAIDO=北海道に熱視線・注目が集まっており、その視線(eye)はどういった人の視線で、どういったメディアを見ているのか。情報収集、そのeyeが好む(=目に留まる)コンテンツに関するレクチャー。

#### ④セミナー『ガイド実践英会話』 吉川彩香氏

Adventure Hokkaido 合同会社 代表。アドベンチャーガイド

【内容】ATの現場で使える英会話を、ニュージーランドで7年間のサイクリングガイド経験を持つ吉川氏からレクチャー。

#### ⑤セミナー『スルーガイドの役割について』 芹澤健一氏

アルパインツアーサービス株式会社 代表取締役社長

【内容】ツアーを最初から最後までガイドするスルーガイドを中心に、世界のATガイドはどのような対応をしているのかの講演。

#### ⑥セミナー『ガイド事業の法的視点』 今野佑一郎氏

ユナイテッド・コモンズ法律事務所 所属弁護士

【内容】主にBtoBの取引が想定されるAT市場での事業展開にむけて、準備しておくべきことは何かのレクチャー。

#### ⑦クロージングスピーチ『SDGsと観光』 荒井一洋氏

北海道アドベンチャートラベル協議会 会長

【内容】観光業界におけるSDGsのトレンドと、ATWS2021を契機にした持続可能な観光の実現について。

## 2-5. アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-5 セミナーの運営

#### ① 当日配布資料(2日目セミナー)

#### 札幌コンベンションセンター 会場図

二階へ

中ホール：メインステージ：各種セミナー開催場所  
 204会議室：第二会場：各種セミナー開催場所  
 206会議室：ネットワークスペース：休憩・ラウンスペース

※会場内での飲食事は禁止とさせていただきます。  
 ※喫煙場所は会場の敷地内には設けておりません。お近所の施設の喫煙所をご利用ください。

主催：国土交通省北海道運輸局  
 ～北海道におけるアドベンチャートラベルのつながりづくり～

## アドベンチャートラベル 北海道ミーティング

北海道運輸局では、自然のなかでのアクティビティや異文化体験を通じて自分の内面が変わっていくような旅のスタイル「アドベンチャートラベル(AT)」を、国内外世界中の誰もが楽しめる北海道に相応しい新たな旅のスタイルとして定着させるために推進しています。  
 そこで、2021年に北海道開催が予定されているAdventure Travel World Summitに向けて、関係者間の連携強化、実証的な知識習得、種々の議論を図ることを目的としたイベント「アドベンチャートラベル北海道ミーティング(ATHM)」を開催しますので、皆様のご参加をお待ちしております。

**【1日目】11月11日(水) エクスカーション(65名限定)**  
 日帰りアドベンチャー体験の実施  
 ※事前申込が必要となります

**【2日目】11月12日(木) セミナー&ネットワークイベント**  
 【会場】札幌コンベンションセンター

#### セミナー講師一覧

**基調講演**

**Lina Annab氏**  
 駐日ヨルダン・ハシェミット王国大使  
 (元ヨルダン観光・考古大使)

2018年 ヨルダン観光・考古大使就任。  
 2019年 観光庁長官賞「AdventureNEXT」を主催。  
 観光庁長官賞「AdventureNEXT」を主催。  
 観光庁長官賞「AdventureNEXT」を主催。  
 2018年 観光庁長官賞「National Geographic Traveler」を  
 受賞。  
 2019年 「旅する人」を主催。2018年「旅する人」を  
 主催。2019年 駐日ヨルダン・ハシェミット王国大使就任。

**基調講演**

**Aaron Jamieson氏**  
 ニセコ在住プロカメラマン、  
 NISEKO「powdernet」誌写真編集長

2018年 アドベンチャートラベル  
 協会会長

**基調講演**

**西川 彰吾氏**  
 Adventure Hokkaido 発起人  
 代表、アドベンチャーガイド

2018年 アドベンチャートラベル  
 協会会長

**基調講演**

**今野 裕一郎氏**  
 エイテック・コモンズ  
 法律事務所 代表弁護士

**開催日：2020.11.11(水)～12(木)**  
**【1日目】道内各所(定員/65名) 7:30～18:00頃**  
**【2日目】札幌1111コンベンションセンター(定員/120名) 10:30～17:00**

申込時期：11月1日(水)～(日)まで、定員になり次第締め切ります  
 申込方法：必要事項を、1日目は紙で申込し、2日目は郵封申込書にご記入の上、下記FAXまたは  
 メールアドレスまでお申し込みください。  
 事務局：(株)北海道主催旅行社、(担当)：滝井、黒田、小澤、貞雄  
 FAX: 011-525-2117、E-mail: at-info@hokkaido-takarajima.com

参加  
無料

#### セミナースケジュール

中ホール	204会議室
<p>10:00-10:30</p> <p>アドベンチャートラベル討論会</p> <p>■登壇者：                      ○北海道アドベンチャートラベル協議会 荒井一洋氏                      ○英語自然ガイド 馬上千穂氏                      ○職種リソート(株) 取締役アドベンチャー事業部長 高田茂氏                      ○一社 黒松内町観光協会 事務局長 本間崇文氏</p> <p>■ファシリテーター                      株式会社北海道主催旅行社 代表取締役社長 鈴木寛一郎</p>	<p>10:00-10:30</p> <p>10:30-12:00</p> <p>アドベンチャートラベル                      討論会</p>
<p>11:00-11:30</p> <p>基調講演                      『Sustainable Adventure Travel in Jordan』</p> <p>■登壇者：                      駐日ヨルダン・ハシェミット王国大使                      Lina Annab氏</p>	<p>11:00-11:30</p> <p>13:00-13:30</p> <p>基調講演                      『Sustainable Adventure                      Travel in Jordan』</p>
<p>12:00-12:30</p> <p>セミナー                      「スルーガイドの役割について」</p> <p>■登壇者：                      アドベンチャーサービス(株) 代表取締役社長 坪澤 謙一氏</p>	<p>12:00-12:30</p> <p>13:00-13:30</p> <p>基調講演                      『Sustainable Adventure                      Travel in Jordan』</p>
<p>13:00-13:30</p> <p>セミナー                      「スルーガイドの役割について」</p> <p>■登壇者：                      アドベンチャーサービス(株) 代表取締役社長 坪澤 謙一氏</p>	<p>13:00-13:30</p> <p>14:00-14:45</p> <p>セミナー                      『SDGsと観光』</p>
<p>14:00-14:30</p> <p>セミナー                      「スルーガイドの役割について」</p> <p>■登壇者：                      アドベンチャーサービス(株) 代表取締役社長 坪澤 謙一氏</p>	<p>14:00-14:45</p> <p>セミナー                      『Sustainable Adventure                      Travel in Jordan』</p>
<p>15:00-15:30</p> <p>セミナー                      「スルーガイドの役割について」</p> <p>■登壇者：                      アドベンチャーサービス(株) 代表取締役社長 坪澤 謙一氏</p>	<p>15:00-15:30</p> <p>16:00-16:45</p> <p>クロージングスピーチ                      『SDGsと観光』</p>
<p>16:00-16:30</p> <p>クロージングスピーチ                      『SDGsと観光』</p> <p>■登壇者：                      北海道アドベンチャートラベル協議会                      会長 荒井一洋氏</p>	<p>16:00-16:45</p> <p>クロージングスピーチ                      『SDGsと観光』</p>
<p>17:00</p>	<p>17:00</p>

コロナウイルス感染拡大防止のために・・・

マスクの着用、手指のこまめな消毒、会場内における対面でのコミュニケーションには、大声でのやり取りを避け、できるだけお隣の方との距離をとることにご協力をお願いします。  
 受付に消毒液を配置しておりますので、ご自由にお使いください。  
 また、講演と講演の間の休憩時間にて、会場内のテーブルの消毒を行います。お座りの方はご了承ください。

#### 参加者名簿・アンケート・講演資料 二次元バーコード

環境への配慮の観点より、紙での資料の配布を行っておりません。  
 参加者名簿・講師資料に関しては、二次元バーコードを読み取っていただき、ご確認ください。  
 ご希望の方は、後日資料を電子メールにてお送りいたしますので、お近のスタッフまでお知らせください。

本日ご参加の皆様の名簿

★アンケートにご協力をお願いします。

#### 中ホール

10:30-12:00

アドベンチャートラベル  
 討論会

14:00-14:45

セミナー  
 『Eyeson HOKKAIDO』

13:05-13:50

基調講演  
 『Sustainable Adventure  
 Travel in Jordan』

14:00-14:45

セミナー  
 『Eyeson HOKKAIDO』

15:00-15:45

セミナー  
 『スルーガイドの役割について』

16:00-16:45

クロージングスピーチ  
 『SDGsと観光』

#### 204会議室

14:00-14:30

セミナー  
 『ガイド実証英会話』

15:00-15:30

セミナー  
 『ガイド事業の法的視点』



## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-5 セミナーの運営

#### ②講師略歴

#### 【基調講演】ヨルダン・ハシェミット王国大使館 特命全権大使 リーナ・アンナーブ 閣下



ヨルダンをアドベンチャートラベルの目的地として急成長させた功労者。  
2016年に観光大臣に就任し、2017年、世界的イベント「Adventure NEXT」を開催、全長650kmに及ぶ「ヨルダントレイル」を世界に発信。2018年に同トレイルが、National Geographic Traveller誌「訪れるべき場所2018」に選定される。  
2019年に駐日ヨルダン・ハシェミット王国大使に就任。

#### 【討論会】

北海道アドベンチャートラベル協議会会長 荒井 一洋氏 (【クロージングスピーチ】も同様)

英語自然ガイド 馬上千恵氏

鶴雅リゾート(株) 取締役アドベンチャー事業部部長 高田茂氏

一般社団法人黒松内町観光協会事務局長 本間崇文氏

※上記4名の略歴については「2-3 地域ごとのネットワークイベント」を参照

#### 【セミナー】ニセコ在住プロカメラマン Aaron Jamieson 氏



13年前からニセコを拠点に活動するオーストラリア出身のプロカメラマン。  
活動の初期にオーストラリアのアドベンチャー雑誌の依頼で訪れたグリーンランドやパタゴニアでの取材がアドベンチャーとの関わりを深くした。  
広告とクリエイティブ・メディアを専門とするビジネス・コミュニケーションの学位を持つ。

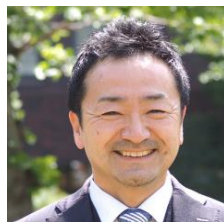
#### 【ミニセミナー】Adventure Hokkaido合同会社代表 吉川彩香氏



高校卒業後、ニュージーランドの大学でレクリエーション管理とアウトドアリーダーシップの学士号を取得して卒業し、同国で主にハイキングを取り扱う旅行会社にガイドとして就職。2012年から2年間、エルサルバドルで地域社会で観光を促進する開発援助ボランティアに従事。

その経験を基に、地域の地域社会により多くの機会をもたらす、訪問者と北海道のユニークな文化を共有するため、昨年同社を設立。

#### 【セミナー】アルパインツアーサービス 株 代表取締役社長 芹澤 健一 氏



大学在学中の長期研修で滞在したニュージーランドでトレッキングや登山に親しみ、帰国後にハイキング、トレッキング、登山を中心とする旅行会社であるアルパインツアーサービス株式会社に入社。

販売促進のみならず、環境保護・ガイド教育体制・地域振興の観点から世界中のトレッキング・ハイキングコースのプロデュース全般に深く関わる。

#### 【ミニセミナー】ユナイテッド・コモンズ法律事務所弁護士 今野 佑一郎氏



2012年に弁護士登録。「北海道アウトドアフォーラム2019」にてアウトドア事業に関係する法令やツアー中の事故による責任について解説するなど、アウトドアに関する知見も持つ札幌弁護士会所属の弁護士。



## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-5 セミナーの運営

#### ③コロナ対策

コロナウイルス感染症拡大防止のガイドラインとして、会場である札幌コンベンションセンターのガイドライン、および弊社の旅行催行のガイドライン等に従い、添付の内容にてガイドラインを作成した。常にスタッフ全員が対策を確認できるよう、常に携行した。

11月10日（水）  
株式会社北海道宝島旅行社

#### ATHM コロナウイルス感染対策ガイドライン（案）

##### ◆全会場

##### \*換気

- ・休憩時間はドア、窓を全て開放して空気を入れ替えを行う。

##### \*飛沫防止対策

- ・参加者、登壇者、スタッフのマスクを着用の徹底。  
マスクを着用した人と人の距離は2m以上空ける。  
(※長机一つにつき基本は1人。スクール形式の場合は、2名、1名と交互に座ることは可能)
- ・催事運営スタッフは原則マスクとフェイスシールドを両方着用。
- ・長机に2名以上着席して会話する場合は、人と人との間にアクリル板を設置。
- ・マスクの代わりにマスクシールド、フェイスシールドでも代用可能。
- ・討論会の際は、司会者は前方にアクリル板の設置、  
登壇者は横のみアクリル板の設置、マスクシールドの着用を行う。
- ・講演の際は、司会者、登壇者の前方にアクリル板を設置。
- ・休憩時間に机の消毒を徹底。

##### \*スタッフ

- ・催事運営に関わる前に必ず検温を実施する。
- ・マスクとフェイスシールドは必ず着用（必要に応じてビニール手袋を着用）
- ・スタッフの体調がすぐれない場合は、催事運営に関わらせない。

##### \*マイク

- ・使用者が変わる度にウェットティッシュで消毒を行う。

##### \*受付時の対応

- ・各会場の定員数（施設規模の半分以下）を厳守。
- ・受付にて事前に申し込みのあった参加者をチェックし、それ以外に関しては定員に余裕のある場合のみ参加承認を実施する。
- ・事前に参加申し込みのない場合、参加者情報（氏名、居住地、緊急連絡先）を受付名簿に控え、参加者を追跡できるように催行する。
- ・参加者の検温（37.5度以下）、手指消毒を徹底
- ・待機の際は間隔をあけるよう誘導する。
- ・セミナー途中で体調不良にて退場された場合、イベント終了後に追跡を行う。
- ・下記の参加者がいた場合、入場制限を行う。

## 2-5. アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-5 セミナーの運営

#### ③コロナ対策

会場内でマスクの着用をいただけないお客様  
 また、途中で外さないことをご理解、ご協力いただけないお客様  
 37.5℃以上の発熱・倦怠感・息苦しさ・咳・嘔頭痛など、風邪と疑わしい症状があるお客様  
 ご家族やお勤め先、学校など、ご自身の身近に新型コロナウイルス感染症に感染した方、またはその可能性のある方がいらっしゃるお客様  
 上記に限らず、体調の優れないお客様  
 入管法に基づく入国制限の対象となっている地域から、日本への入国後 14 日間経過していないお客様  
 ※ご参考：水際対策の抜本的強化に関するQ&A（厚生労働省）  
 スタッフの指示や注意事項をお守りいただけない場合は、  
 参加お断り、もしくは会場より強制退場とさせていただきます。

#### \* 飲食について

- ・会場での飲食スペースは設けず、原則禁止とする。  
 （各自持ち込みの飲み物は可）

#### 【206 会議室】

- \* ネットワーキングスペースに関しては、会場定員を超えないよう受付にて人数制限を行う。（サプライヤー側の参加者は各事業者 2 名まで）
- \* ネットワーキングスペースに関しては、長机 1 本ごとに 1 名着席。
- \* ネットワーキングスペースのフリートークに関しては、必ず着席してガイドライン（マスク・フェイスマスク着用）から外れないように会話していただく。
- \* 1 時間ごとに机の消毒を徹底。

#### ◆事前お知らせ

以下内容をイベント開催前に、ご来場者予定の方へメールにてご案内。

- ・来館前、自宅等で検温の実施をお願いします。
- ・入館時に検温と消毒、マスクの着用のご協力をお願いします。
- ・施設内備品は勝手に動かさず、できる限り触れないように願います。
- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をご利用いただき、  
 当日までに陽性者との接触確認がないことをご確認ください。
- ・イベント中の大きな声での会話はお控えくださいますようお願いいたします。
- ・当イベントに関わらず他の会議、行事及び飲食等におかれましても三密の回避をお願いします。
- ・ごみのお持ち帰りのご協力をお願いします。
- ・その他、感染防止のために主催者が決めた措置及び指示の遵守をお願いします。
- ・お手洗い等の混雑を防止するため、休憩時、順番に退室していただく場合がございます。

## 2-5. アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-5 セミナーの運営

#### ③コロナ対策

<札幌コンベンションセンター ガイドライン>

- ・受付では、主催者関係者はビニール手袋を着用する等、手指の直接接触を回避する。
- ・主催者はアルコール消毒液、体温計、ビニール手袋等、その他予防に必要な備品を用意する。
- ・主催者は、休憩時間などエントランスや廊下を使用の際、一度に休憩する人数を減らし、対面での会話や飲食を控えるよう周知する。

以上

## 2-5. アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-5 セミナーの運営

#### ③コロナ対策

参加者への事前案内のメールに下記の内容を記載し、注意と適切な行動を促した。

なお、未だ新型コロナウイルスの収束が見えない中、  
ご出席にあたりご心配な面もありと拝察しておりますが、  
当日は十分な予防対策を行わせていただきます。

当日会場では、以下の対策を徹底いたします。

- 1 アルコール消毒液の設置
- 2 館内消毒・換気・広めの席配置
- 3 運営関係者の検温・マスク、フェイスシールドの着用の徹底・手指の消毒
- 4 ご来場者の検温・マスクの着用・手指の消毒
- 5 入場管理の徹底

参加者（出展者・来場者・その他関係者等）の氏名、連絡先を把握し、必要な際は保健所への連絡に使用する。

- 6 ソーシャルディスタンスの確保

講演者演台へのアクリルパネルの設置、セミナー会場におけるレイアウト調整（密を避けるレイアウト）、スタッフ配置箇所（受付等）へのアクリルパネルの設置およびマスク着用

また、イベント開催にあたり、ご来場者様へご協力をお願いがございます。

- ・来館前、自宅等で検温の実施をお願いします。
- ・入館時に検温と消毒、マスクの着用のご協力をお願いします。
- ・施設内備品は勝手に動かさず、できる限り触れないように願います。
- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をご利用いただき、当日までに陽性者との接触確認がないことをご確認ください。
- ・イベント中の大きな声での会話はお止めくださいますよう、お願いします。
- ・ごみのお持ち帰りのご協力をお願いします。
- ・イベント前後のミーティングや懇親会等における「三つの密」の回避をお願いします。
- ・その他、感染防止のために主催者が決めた措置や主催者指示の遵守をお願いします。
- ・お手洗い等の混雑を防止するため、休憩時、順番に退室していただく場合がございます。ご協力をお願いします。

○以下に該当する方のご来場はお断りいたします。

- ・会場内でマスクの着用をいただけない方  
また、途中で外さないことをご理解、ご協力いただけない方
- ・37.5℃以上の発熱・倦怠感・息苦しさ・咳・嘔頭痛など、風邪と疑わしい症状がある方
- ・上記に限らず、体調の優れない方
- ・ご家族やお勤め先、学校など、ご自身の身近に新型コロナウイルス感染症に感染した方、  
またはその可能性のある方がいらっしゃる方
- ・入管法に基づく入国制限の対象となっている地域から、日本への入国後14日間経過していない方  
※ご参考：水際対策の抜本的強化に関するQ & A（厚生労働省）
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した方とのイベント参加日の14日以内に濃厚接触がある方
- ・保健所等の健康観察下にある方

皆様にはご不便をおかけいたしますが、  
感染拡大防止に何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-5 セミナーの運営

#### ③コロナ対策



受付には飛沫防止パネルを設置。受付時には検温を実施した。会場スタッフはフェイスシールドマスクの完全着用を徹底した。



受付に消毒液とマスクを設置し、参加者にも入場時の手指の消毒、マスク着用の徹底を促した。また、非接触検温計にて参加者の体温を検温した。



講演台には飛沫防止パネルを設置し、講演者はアクリルマスクの着用を徹底した。



机の間隔を広く設置し、席配置も一人分空けるなどの対策を施した。

また、休憩時間に入る際は、空いた席をスタッフにて消毒し、使ったマイクも同様に消毒して、次のセミナーに備えた。

## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-5 セミナーの運営

#### ④参加者

■参加者数 104名

No.	所属名	お名前	①討論会	②基調講演	③Eyes on HOKKAIDO	④ガイド実践英会話	⑤スルーガイドの役割について	⑥ガイド事業の法的視点	⑦SDGsと観光
1	(株) 近畿日本ツーリスト北海道	若木 なつみ	●	●		●	●		●
2	(株) 近畿日本ツーリスト北海道	齋藤 充	●	●	●			●	●
3	(一社) 黒松内町観光協会	本間 崇文	●	●	●		●		●
4	(一社) 黒松内町観光協会	澤田 奈那恵	●	●		●		●	●
5	Sotoasobu	江川 理恵	●	●		●		●	●
6	石狩市	吉田 学	●	●	●		●		
7	後志総合振興局	関野 佐知	●	●	●		●		
8	七飯町	三浦 啓輔	●	●					
9	七飯町	河村 綾一	●	●					
10	北海道大学	木村 宏	●	●	●		●		
11	胆振総合振興局	山下 知子	●	●	●		●		●
12	(一社) 大雪カムイミンスターDMO	佐藤 佑樹	●	●	●		●		●
13	H-SEG	遠藤 昌子	●	●		●	●		●
14	国立アイヌ民族博物館	劉高力	●	●	●			●	
15	平岸ハイヤー (株)	川合 将平	●	●	●		●		
16	阿寒観光協会まちづくり推進機構	香川 謹吾	●	●		●		●	●
17	ガイドオフィス風	鳥羽 晃一	●	●		●	●		●
18	千歳の観光を考える会	鈴木 靖彦	●	●	●			●	●
19	フリーランス	村上 さいち	●	●	●			●	●
20	礼文島自然ガイド	鹿川 明美	●	●			●		●
21	全国通訳案内士 (英語)	横山 研児	●	●	●		●		●
22	日本航空株式会社	白石 将	●	●					●
23	北海道上川総合振興局	荒木 洋祐	●	●		●		●	●
24	(株) スポーツピア富良野	門馬 慶	●	●	●		●		●
25	(株) スポーツピア富良野	千田 文子	●	●		●	●		●
26	デイスカバリーズ	弘中 祐	●	●	●		●		●
27	(株) JTB北海道事業部	谷内 将一	●	●	●		●		●
28	(株) JTB北海道事業部	越智 綾美	●	●		●		●	●
29	(株) JALパック	遠藤 剛樹	●	●	●		●		●
30	Giro21	松山 淳	●	●		●	●		●
31	公益財団法人はまなす財団	小倉 龍生		●	●			●	●
32	公益財団法人はまなす財団	佐々木 ひろこ		●	●			●	●
33	(公社) 北海道観光振興機構	工藤 真司	●	●	●		●		●
34	(公社) 北海道観光振興機構	岩田 昌之	●	●	●		●		●
35	(公社) 北海道観光振興機構	竹田 晴香	●	●		●	●		●
36	N P O 法人 Yakumo Village	深田 麻友	●	●		●	●		●
37	N P O 法人 Yakumo Village	堀内 深雪	●	●		●	●		
38	公益財団法人札幌国際ブラザ	岸 光石	●	●	●				
39	公益財団法人札幌国際ブラザ	荻 麻里子	●	●			●		●
40	公益財団法人札幌国際ブラザ	稲垣 恵	●	●	●		●		●
41	北海道開発局	長南 哉	●	●					●
42	北海道開発局	門間 俊也	●	●					●
43	日本航空 (株)	越 桂二郎	●	●	●				
44	全日本空輸 (株)	中野 伸一	●	●					
45	全日本空輸 (株)	滝川 徹也	●	●	●		●		●
46	全日本空輸 (株)	林 功之	●	●	●		●		●
47	(株) プリンスホテル	江利 喜久男	●	●	●		●		●
48	Discover Southern Hokkaido	赤井 義大	●	●		●	●		●
49	Discover Southern Hokkaido	山口 纈一朗	●	●	●			●	●
50	NPO法人北海道通訳案内士協会 (HOTGIA)	高島 のり	●	●	●		●		●
51	NPO法人南富良野まちづくり観光協会	小林 茂雄	●	●			●		●
52	ナイストラベル (株)	関原 潔	●	●		●	●		●
53	ブルーツーリズム北海道	福田 公代	●	●	●		●		●
54	(公社) 北海道観光振興機構	澤 康幸	●	●	●		●		●
55	(公社) 北海道観光振興機構	石橋 静江	●	●		●	●		●
56	(一社) ひがしかわ観光協会	高橋 匡	●	●					
57	ANAセールス㈱	黒木 美紀	●	●	●			●	●
58	ANAセールス㈱	柴田 佳郎	●	●		●	●		●
59	札幌商工会議所	高橋 いずみ	●	●	●				
60	(一社) 北海道開発技術センター	佐賀 彩美	●	●	●			●	
61	余市エコビレッジ	齋藤 ともよ	●	●	●		●		●
62	(株) エゾシカ旅行社	中根 宏樹	●	●				●	●
63	(株) エゾシカ旅行社	中根 萌	●	●	●		●		
64	H-SEG	藤澤 邦子				●			

## 2-5.アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-5 セミナーの運営

#### ④参加者

No.	所属名	お名前	①討論会	②基調講演	③Eyes on HOKKAIDO	④ガイド実践英会話	⑤スルーガイドの役割について	⑥ガイド事業の法的視点	⑦SDGsと観光
65	公益財団法人札幌国際プラザ	アザロフ デイマ		●	●		●		●
66	全日本空輸(株)	富樫 博文		●	●		●		
67	日本航空(株)	前田 瑞貴	●	●	●			●	●
68	大地みらい信用金庫地域みらい創造センター	倉又 一成	●	●	●			●	●
69	大地みらい信用金庫地域みらい創造センター	石井 絢子	●	●		●	●		●
70	北海道開発局開発監理部	林 憲裕	●	●					●
71	北海道グレートアドベンチャー	岸 浩明	●	●	●		●		●
72	北海道経済部観光局	池田 和明		●		●	●		
73	北海道経済部観光局	長山 由起夫		●	●			●	●
74	北海道経済部観光局	福士 裕紀展		●		●	●		
75	北海道議会	広田 まゆみ	●	●					
76	北海道経済連合会 会長	真弓 明彦		●					
77	一般社団法人 北海道商工会議所連合会 会頭	岩田 圭剛		●					
78	一般社団法人 北海道商工会議所連合会 (随伴)	高橋勇一		●					
79	北海道経済同友会 代表幹事	石井 純二		●					
80	北海道経済同友会 (随伴)	樋口理義		●					
81	北海道商工会連合会 会長	荒尾 孝司		●					
82	北海道商工会連合会 (随伴)	中畑雅幸		●					
83	公益社団法人 北海道観光振興機構 会長	小磯 修二		●					
84	経済産業省北海道経済産業局 総務企画部長	小柳津 直哉		●					
85	経済産業省北海道経済産業局 (随伴)	高橋 司		●		●			
86	株式会社 りんくう観光	植田 拓史					●		
87	ユナイテッド・コモンズ法律事務所 弁護士	今野 佑一郎		●					
88	(一社) 大雪カムイミントラDMO 関係者	鈴木 あやの	●	●	●	●	●		●
89	M's English	馬上 千恵		●		●			
90	Adventure Hokkaido (合)	吉川 彩香		●					
91	札幌不動産開発	立山 正之		●			●		
92	札幌不動産開発	氏名不明		●			●		
93	Adventure Hokkaido (合)	荒井一洋				●		●	
94	国土交通省北海道運輸局	村松 智司							
95	鶴雅リゾート(株)	高田 茂							
96	アルバイツアーツアーサービス(株)	芹澤 健一							
97	駐日ヨルダン大使館	Lina Annab							
98	国土交通省北海道運輸局	笹野 康幸							
99	国土交通省北海道運輸局	森谷 健一							
100	国土交通省北海道運輸局	加藤 進							
101	国土交通省北海道運輸局	安田 稔幸							
102	国土交通省北海道運輸局	水口 猛							
103	国土交通省北海道運輸局								
104	北海道宝島旅行社	鈴木 宏一郎							

## 2-5. アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-5 セミナーの運営

#### 2-5-5-3 AT討論会

各地の関係者の様子を全道で共有すべく、各地のイベントの講師であった、荒井氏、馬上氏、高田氏、本間氏に登壇いただき、各地の様子のフィードバックを行った。

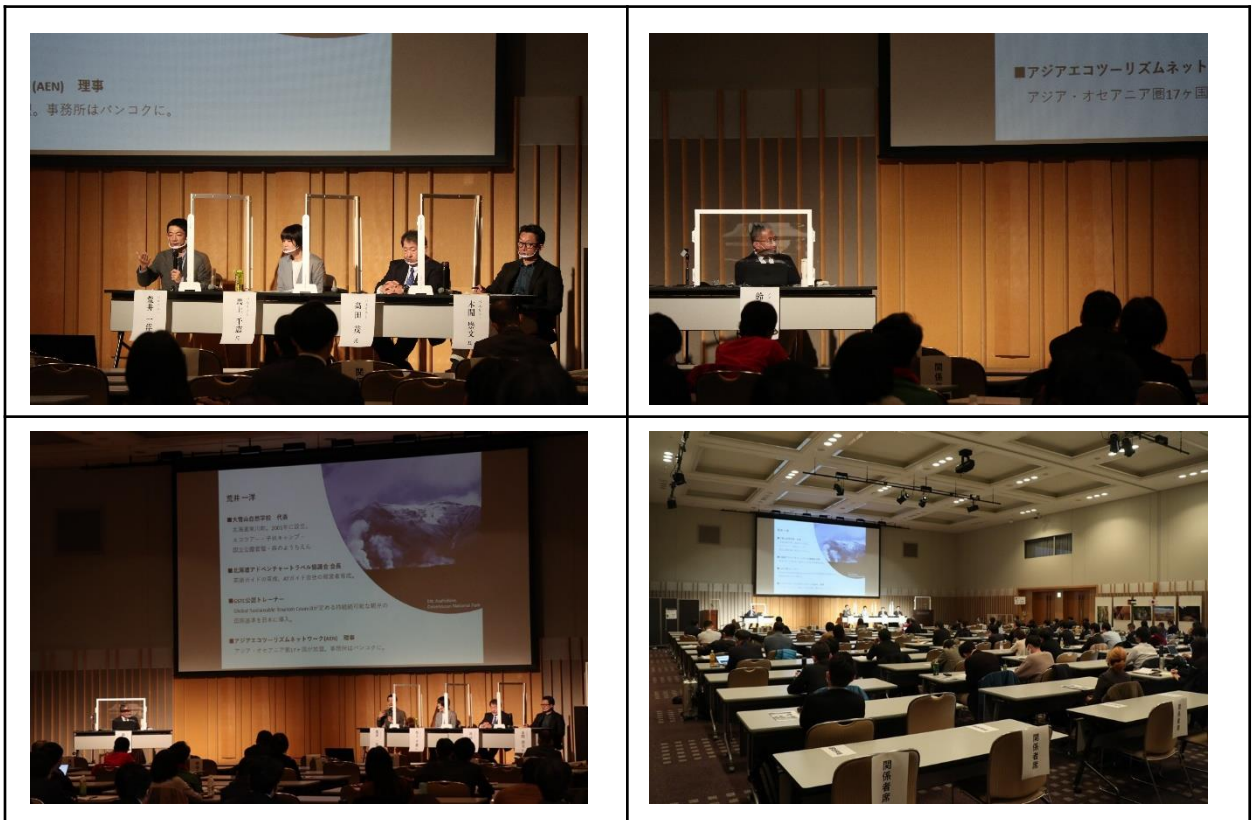
また、講師自身の実践例を講師同士で共有いただき、自身の質の向上を図ったほか、参加者に対してもATに対する理解の促進、および自身の地域に置き換えればどのような活動が可能か、を考える場とした。

【登壇者】※略歴に関しては「2-3 地域ごとのネットワークイベント」を参照

北海道アドベンチャートラベル協議会会長 荒井 一洋氏  
 英語自然ガイド 馬上千恵氏  
 鶴雅リゾート(株) 取締役アドベンチャー事業部部長 高田茂氏  
 一般社団法人黒松内町観光協会事務局長 本間崇文氏

【ファシリテーター】

株式会社北海道宝島旅行社 代表取締役社長 鈴木宏一郎





## 2-5. アドベンチャートラベル北海道ミーティングの開催

### 2-5-5 セミナーの運営

#### プログラムの感想

##### 参加者のコメント

###### 【討論会自体に関する内容】

- ・それぞれの分野で活躍されている方々で、気付きを与えていただいた。特に鶴雅の方の話は実体験に基づいてお話しされていて、身近なところにアイデアが転がっていることに気付かされた。
- ・スピーカーの皆様のお話しが興味深いものばかりで、メモ帳がいっぱいになりました。英語の勉強をより一層頑張りたいです。社長にはツアーを誉めていただき、心より感謝いたしております。
- ・様々な分野で活動している人たちのリアルな話が聞けてとても参考になった。
- ・登壇者の皆さまからの情報は勉強になりました。実際に経験されていることで、今までの考えを見直すことも必要かと感じるところもありました。
- ・来年の9月に向けての皆さんの意気込みを感じる討論会でした。
- ・実体験に基づく討論で非常に興味深い内容でした。PSA/DOAの公募前に実施いただけたとより良い企画づくりの参考になったと感じました。

###### 【受入に関する内容】

- ・地域ガイドの重要性について再認識し、また自治体主導でのガイド育成は難易度が高いと感じた。
- ・もともと地域ガイドとして活動されている方との取り組みを大切に、事業を継続していきたいと考える。
- ・討論会を通じて英語ガイドの必要なこととして英語力は必要ではあるが、それ以上にコミュニケーション能力が最も重要であると再認識した。考えてきれいに話すのではなく、どうすれば正解か分からないけども取りあえず旅行客を盛り上げることが重要。また、ガイドを育成するための経営者側の育成が急務というも課題であると感じた。
- ・回答者ひとりひとりの個性が光っていて、1時間半、ワクワクしながら拝聴できました。ATでは、ストーリー付けが大切、ということや、安全配慮の面など、色々気を配ることがありますが、何よりゲストを楽しませることが大切！とみなさまの話を聞いていて思いました。私もガイディングツアーに参加したことがあります。ジョークを言うとか、サプライズを用意するとか、そういったこと、日本のガイドさんとっても苦手だと思います。
- ・アドベンチャートラベルだから、というわけではなく、今後のアウトドア業界がこういう方向になっていくのかなあと感じました。
- ・初めてAT海外市場に取組まれる方々にとっては、大変興味深い内容であったかと思いません。

###### 【運営や進捗に関する内容】

- ・さまざまの分野のパネリストの方の意見をモデレーターの鈴木さんがうまくすくいあげていてとても面白かったです。
- ・40分という短い時間であったため、十分な議論の時間があまりなかったのではないかと思います。
- ・実際のガイドの方の工夫や取り組み、前日のエクスカージョンでもこうしたほうがいいのかという意見が聞けてとても面白かった。
- ・もう少し内容における議論や質疑が行われるものと思っていました。

2-5-5-4 基調講演『 Sustainable Adventure Travel in Jordan 』

実施時間 11月12日(木)13:05～13:50

実施場所 中ホール

講師 Lina Annab氏

基調講演として、ATの先進地の事例として、駐日ヨルダン・ハシェミット王国特命全権大使 リーナ・アンナーブ 閣下 に講演いただいた。ATWSを実施した国として、北海道に及ぼす経済的な影響についてお話いただいた。また、自身が作り出したヨルダントレイルが官民・幅広い関係者が連携してできたコースであり、地域の文化やストーリーを広めることができる手段として機能していることを伝えた。



冒頭、加藤北海道運輸局長より挨拶



会場には両国の国旗とともにヨルダントレイルのパネルを展示



講演は参加者にレシーバーを配布しブースを構えて同時通により行った



ヨルダントレイルが出来るまでの経緯及び地域に与えた影響についてお話いただいた



ご講演されるリーナ・アンナーブ閣下



途中、具体的な数値や動画などを用いて効果的にお話いただいた



ヨルダントレイルをイメージしやすいように動画による紹介もいただいていた

## プログラムの感想

## 参加者のコメント

**【ヨルダントレイルに関する内容】**

- ・ヨルダントレイルのみでの協会立ち上げと商品開発、販売は理想的なDMOの姿と感じました。
- ・正直、基調講演を聞く前はヨルダンのイメージがあまり持てていなかったですが講演を聞いて驚きの連続でした。動画も活用いただいたことでさらにイメージすることができました。ATWS2021へのヒントもいろいろとあり大変参考になりました。
- ・30年にわたり整備をしたヨルダントレイル、local communityとの対話を続けて実現したところが素晴らしい。
- ・ヨルダントレイルを国家施策としてカタチにしたパワーに驚きました。

**【北海道の可能性に触れた内容】**

- ・ヨルダントレイルがすごく魅力的に感じて行きたいと思った。北海道でも北海道トレイル、道南トレイルなど、歩いて横断する新たなツアーの可能性を感じた。
- ・北海道でも出来る事だと思いました
- ・英語での講演でしたが、伝わる事はよくわかりました。ヨルダンのようなトレイルは距離こそ長いけれども北海道では可能かもしれないと思いました。
- ・ヨルダントレイルの発案から実現までの壮大なストーリーに驚いた。  
勉強不足でしたこの様なツアーがあるのを初めて知りました。とても魅力的なツアーである事を感じました。今後、北海道も世界に発信出来る更なるツアーができる事を期待します。
- ・こういう大々的に成功した事例を見ると、北海道でも可能性がある！とやる気が湧いてきました。せっかく来日していただいたので、たくさん話してよかったと思いますが、喋るのが早かったし、内容も盛りだくさんだったので、追うのが少ししんどかったです。
- ・ヨルダンの事例は今後の参考になるものと感じました
- ・ATに尽力したことによって観光客があまり来ていなかったヨルダンがロングトレイルのコースによって違う沢山の人が訪れる観光地になったという事を考えると、改めて来年のATWS開催で北海道の観光が前に進むチャンスだと認識した。

**【商品づくりに関する内容】**

- ・その国の地域にしかないものをガイドし、そこに住む人達もエキストラになり、お客様も喜びその場所と歴史を学びお金も支払われ、良い爪痕にしていく観光の流れを教わりました。とても興味深かったです。
- ・自分自身もヨルダンのトレッキングに行ってみたくなりました。ターゲットを絞った商品づくりも大事なんだと感じました。

**【運営に関する内容】**

- ・運営面で、司会の方から同時通訳機の説明が無かった。機器の扱いに戸惑っている参加者や、英語のスピーチだけかとあきらめている参加者が見受けられた。

2-5-5-5セミナー『Eyes on HOKKAIDO』

実施時間 11月12日(木)14:00～14:45

実施場所 中ホール

講師 Aaron Jamieson 氏

地域での魅力的な発信や近年増え続ける個人のSNSでの発信において、効果的な写真撮影や見せ方を学ぶことができるよう、ニセコ在住のプロカメラマンのAaron Jamieson 氏に講演いただいた。当日は講師の体調不良により、来札ができず、急遽オンラインでのセミナーとなった。



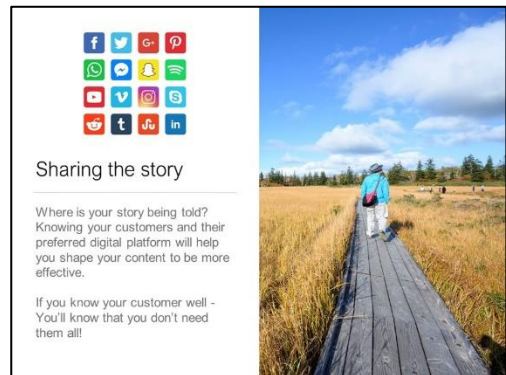
Aaron氏(右)と通訳の長井氏。当日急遽来場できなくなり、オンラインでのセミナーとなった。



ストーリーが伝わるような写真であること、写真等の情報にも消費期限があることなどをご講義いただいた。



自身が撮影した写真や動画を用い、効果的な撮影をするための4つのポイントなど実用的な情報が得られた。



誰に情報を届けたいかをよく考えて露出することが重要。



## プログラムの感想

## 参加者のコメント

**【セミナー自体に関する内容】**

- ・映像の持つ意味が少し理解できました。
- ・HybridとOnlineが主流となるなかで、写真や動画のプロモーションの効果を高めるために、対象者・媒体を意識して撮影するポイント等、勉強になった。  
Aaronさんの写真は心に響くものばかりであった。
- ・私自身が写真を趣味としていますので学ぶ事がたくさんありました。これからは自分のコンテンツを誰にどう見せるかなどもを考えて撮影したいと思います。
- ・とても良かったのですが、概念的な要素が多く、実務的な話題がもう少し欲しかったと感じました。
- ・sosoでした…
- ・北海道の魅力を外国人の視点から紹介するのは良い。

**【講師に関する内容】**

- ・フォトグラファーならではの目の付け所など参考になりました。来年発行される英語ガイドの書籍にも興味があります
- ・こういう活動をしている在住外国人がいることを知りました。

**【セミナーの運営・進捗に関する内容】**

- ・写真撮影のポイントは写真選びのポイントとなるため大変参考になりました。逐次通訳も大変よく理解が深まりました。

## 2-5-5-6 セミナー『ガイド実践英会話』

実施時間 11月12日(木)14:00～14:30

実施場所 204会議室

講師 吉川 彩香 氏

ガイドがAT顧客を案内する現場で、リアルに活用できる英会話講座を実施すべく、ニュージーランドで7年間サイクリングガイドとしての経験を持つ吉川氏に講演いただいた。

自己紹介までは簡潔な英語で話すこと。そして日本人が苦手な具体的な発音で。という初心者のハードルを下げる講座となった。



セミナー会場の様子。現役ガイドも多数参加されていた。



ニュージーランドや北海道でのご自身のガイド経験を例に挙げ、言語を学ぶことは楽しく、外国語を学んで話し、コミュニケーションをとること自体がアドベンチャーであることをお話いただいた。

### SUMMARY

英語は不得意…という方に

- ▶日本人らしさも忘れずに
- ▶日本語もATが求める異文化
- ▶自信をもってフレンドリーに接したい

自己紹介までは英語で挨拶できるようにしておこう

- ▶日本語で考え、英語で作文する際に気をつけたいこと
- ▶日本語で話し、英語で通訳してもらう際に気をつけたいこと

それでも通じるか不安ですよ

- ▶気をつけたい発音、通じやすくなる発音など

すぐに対応できる実用的なポイントに絞った講義内容で、流暢に話せなくてもコミュニケーションをとることができることを実例を交えてお話いただいた。



来場できなかった方のために、後日オンライン配信するための映像も撮影した。

## プログラムの感想

## 参加者のコメント

**【セミナー自体に関する内容】**

- ・英語に対するハードルを下げていただいた気分になりました。
- ・英語を使う際の 短くてもわかりやすくアピールできる話の仕方を説明してもらいました。
- ・英語は喋れるが、ガイドや通訳としての英語の話し方を改めて学んだので勉強になった。
- ・日本人が陥りやすい英会話表現などを分かりやすく例示してくれた。
- ・初心者向けに、非常にわかりやすい内容でよかったです。勇気を持つことと、少しの工夫で有用なコミュニケーションが取れると理解した。
- ・少し緊張されていたのか、とても初々しかったです。内容的にはもう少しカテゴリを絞った方が良かったと感じました。
- ・ヨルダン大使の英語の後、こちらに参加して癒されました。出来ることからやっていき来年の大会までにヒアリング力を鍛えます。バーコード名刺の紹介もあって、これはやって見ようと思います。

**【講師に関する内容】**

- ・東川町から色々発信されている事に関心致しました。名刺もペーパーレスの対応も驚きました。挨拶も最低限の所はする事、しかし日本人らしさも出す事は勉強になりました。

**【運営・進捗に関する内容】**

- ・時間が足りませんでした、思いが良く伝わる良いセミナーでした。
- ・話をする時にセンテンスを短く話すとか、自分の感想や体験を織り込んで英語を話すなど、お話いただいた内容は為になったのですが、短い時間だったので深い話はできなかったかな～と思います。先生自体の経歴や人柄には興味が出ましたが、正直、1時間のレッスンでしたら、カットして全体の時間を短くするか、参加者同士の交流の時間に当ててもよかったですのでは、と思います。(コロナの時期なので難しいと思いますが、)
- ・とても興味深い内容でしたので、もっと時間をかけて伺いたかったです。

2-5-5-7 セミナー『スルーガイドの役割について』

実施時間 11月12日(木)15:00～15:45

実施場所 中ホール

講師 芹澤 健一 氏

ATのツアー造成、およびお客様をご案内する際に最も重要な役割を担うスルーガイドについて、実際に送客する旅行会社の視点から芹澤氏にお話しいただいた。

スルーガイドに必要な心構えや、関係者との連携の重要性についてなどあらゆる角度からスルーガイドに求められる役割をお話しいただいた。



スルーガイドには何が求められるのか、旅行会社として実際に送客し、自らガイドも行う体験に基づくセミナーをしていただきました。



現地のプロをまとめる、状況に応じてベストコンディションで提供する、お客様の力量やその時の体調により適切に提供するためにスルーガイドが必要と強調されていた。



受け入れ地域に必要な点として、若い人の力で地域の自然・文化を次世代に伝える人材育成、道内各地域の特徴を組み合わせる北海道全体でATの商品という概念持つ必要があるとの示唆があった。



地元の人に出会うことで、地元の人々の価値に触れる旅のコーディネートの大切さについてを最後に強調いただいた。



## プログラムの感想

## 参加者のコメント

**【セミナー自体に関する内容】**

- ・現場でのエピソードがとても役に立ちました。
- ・具体的なお話で勉強になりました。
- ・とくにATにおけるスルーガイドの重要性を再認識できた。具体的な内容の話が多く大変参考になった。
- ・スルーガイドの重要性を分かりやすくお話されていたと思います。
- ・ATWS開催に向け北海道でもガイド育成が進められていると聞いておりますので楽しみです。ATWSの開催を通じて生まれたガイドの皆さんが2022年以降も活躍していかれることを願っています。
- ・運営側から見たガイドに必要な資質や考え方などが理解できました。
- ・アウトバウンドのツアーの紹介が見事で、ガイドさん達の質の高さも想像できます。
- ・自分は前職でガイドさんに指示を出す仕事だったので、スルーガイドさんの役割や視点は大変参考になりました。スポットガイドとスルーガイドの連携がちゃんと取れていないと、すでに話したことをお客さんに話してしまったり、お客さんの好き嫌いや注意事項が伝わってなかったりするのでは、本当に注意のいる仕事だと思います。芹澤さんのパウポの注意事項を見ながらツアーを組もう、と思ひまして、大変いいスピーチと資料をいただきました。

**【地域での受入体制に関する内容】**

- ・スルーガイドがどのツアーの満足度に関わってくるかを理解した。今後のスルーガイドの育成などに力を入れていきたい。
- ・スルーガイドの資質について、ガイド、interpreter、translator、コーディネーター等、今後、北海道が世界のなかでAT先進地域となるためには、この役割を担う人材が必要だと痛感した。
- ・大変わかりやすい内容でした。これからの時代にスルーガイドはインバウンド以外にも必要になると思います。私自身もガイドをしています。ある意味目標になるかもしれません。
- ・ATトラベルにおける現場スタッフ構成の中で4つの要素のドライバーが資格を取りながら1人でも多くの育成が出来れば良いと感じました。

2-5-5-8 セミナー『ガイド事業の法的視点』

実施時間 11月12日(木)15:00～15:30

実施場所 204号室

講師 今野 佑一郎 氏

BtoBの取引が想定されるAT市場での事業展開に向けて、ガイド事業者が備えるべき書類や知っておくべき法律などについての講演を弁護士である、今野氏にお話しいただいた。

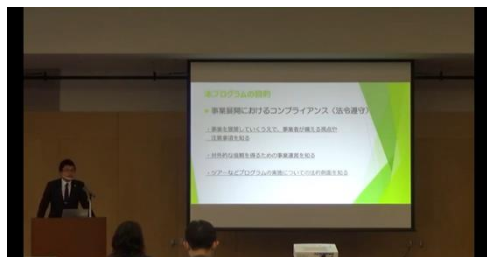
「何かあってから」ではなく、事態を事前に想定し、対応することが信頼を失わないための方法であることを講演いただいた。



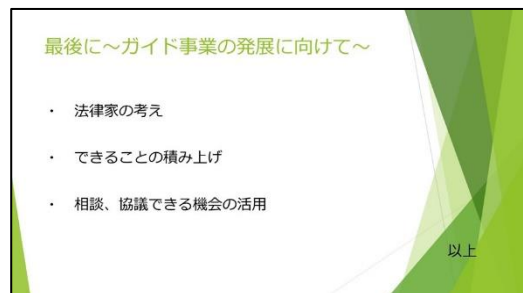
普段はあまり触れることのないガイドの方に関係する法的知識について講義していただきました。



堅くなりがちな内容のため、自己紹介で会場を和ませてから始まりました。



法的に対応していることをどのように見える化するか、対外的な信頼を獲得する方法、ツアーやプログラムを催行する際の法的な視点など、気づきを得られる内容でした。



できることから積み上げていく、対応すべきことの意味合いを考えることが事業の発展に役立つとのアドバイスで締めくくられました。

## プログラムの感想

### 参加者のコメント

#### 【セミナー自体に関する内容】

- ・何事も知らないで済ませてはいけないと肝に銘じました。
- ・弁護士による専門的見地からのセミナーであったが、やはりガイドの皆様には少し難度が高かったように感じた。
- ・アドベンチャー事業に関するリスク管理の法的な問題についての話かと思っていたがあまり中身がなく期待外れだった。もう少し勉強してほしい。
- ・短い時間でしたので消化不良はやむ無しですが、私共の現状が課題満載であるという認識だけはしっかり受けとめました。さっそく取り組みます。

#### 【運営に関する内容】

- ・総論…具体的なフォーマット等を頂ければみなさんうれしかったのでは？

2-5-5-9 クロージングスピーチ『SDGs と観光』

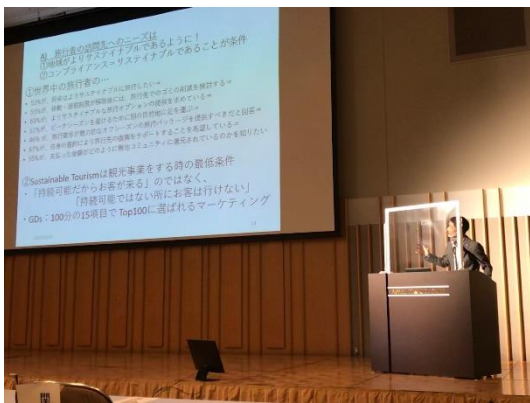
実施時間 11月12日(木)16:00～15:45

実施場所 中ホール

講師 荒井 一洋 氏

昨今世界的な動向として「サステナブル」という言葉がはだし使われだしている。持続可能で、次世代につなぐための動きであり、観光においても同様によく聞く言葉であるが、実際にどのような取組なのか、またどのように活動することが「サステナブルなのかについて荒井氏に講演いただいた。

一時の流行りで終わらせないような取組について、具体例を話しながら、初心者にもわかりやすく講演いただいた。



海外では「持続可能ではない地域には旅行に来てくれない」というのがトレンドになっており、サステナブルは既に旅行の条件であると説く講師。



持続可能な観光に取り組んでいるという信頼を得るための認証制度について、GSTC基準とともに説明していただいた。



海外における持続可能な旅行を選択する割合が年々高まっているのに対し、日本はマネジメント組織が弱いため、海外には追いついていないのではないかと発言があった。



持続可能な旅行を作っていくには、顧客側のニーズを把握し来訪者・旅行会社・地域が信頼しあって、相互に持続可能な行動を取り合うことが大切と締めくくられました。



## プログラムの感想

## 参加者のコメント

**【セミナー自体に関する内容】**

- ・サステナブルについての意識向上に繋がりました。今後取り組みを進めたく思います。
- ・最初のセッションとほぼ同じ内容の話だったので 別の切り口のお話を伺いたかったです。
- ・国際的レベルでの講演、ありがとうございます。私には少々難しい点もあり、バーコードの資料で勉強しております、
- ・日本人と外国人のエコに関して考えやアクティビティの差をととも感じました。
- ・今後のATとして取り組むべき課題が良く理解できる内容でした。
- ・出来ることから始めようの気持ちが伝わってきました。
- ・SDGsについてもう少し学びたいと感じました。
- ・認証の仕組みがよくわかりました。
- ・改めて、サステナビリティという言葉の定義を再認識し、われわれの取り組むべき方向性がはっきりと見えた。
- ・サステナブルツアーについて踏み込んで理解ができました。

**【商品づくり・地域での受入環境整備に関する内容】**

- ・新規旅行商品の参考にさせていただきます。
- ・まずはサステナブルであること。今後のツアー作りの際、最優先チェック事項にしたいと思います。
- ・SDGsに対するスタンスを考える際に非常に参考になりました。個人的にはすぐにでも地域に取り入れていきたいと思いました。
- ・サステナビリティが今後のトレンドに間違いなくなると感じた。すぐにでも自分の地域、周りの地域でこういった取り組みを開始したい。
- ・ATWSを契機に、北海道観光のサステナビリティが理解され、ステークホルダー全体で推進されていくことを願っている。
- ・環境、サステナビリティ、SDGsにまだ関心が低い市民・地域・都市にも、できることから、まず一歩すすもうと語りかける荒井さんの講義が大変よかったです。札幌は、ATWS2021の開催地でもありますので、観光面でも、MICEにおいても、行政・企業・学術・教育機関、そして市民が動きだせるようお互いの背中をおしつづ巻き込みあっていけたらと思います。

**【講師に関する内容】**

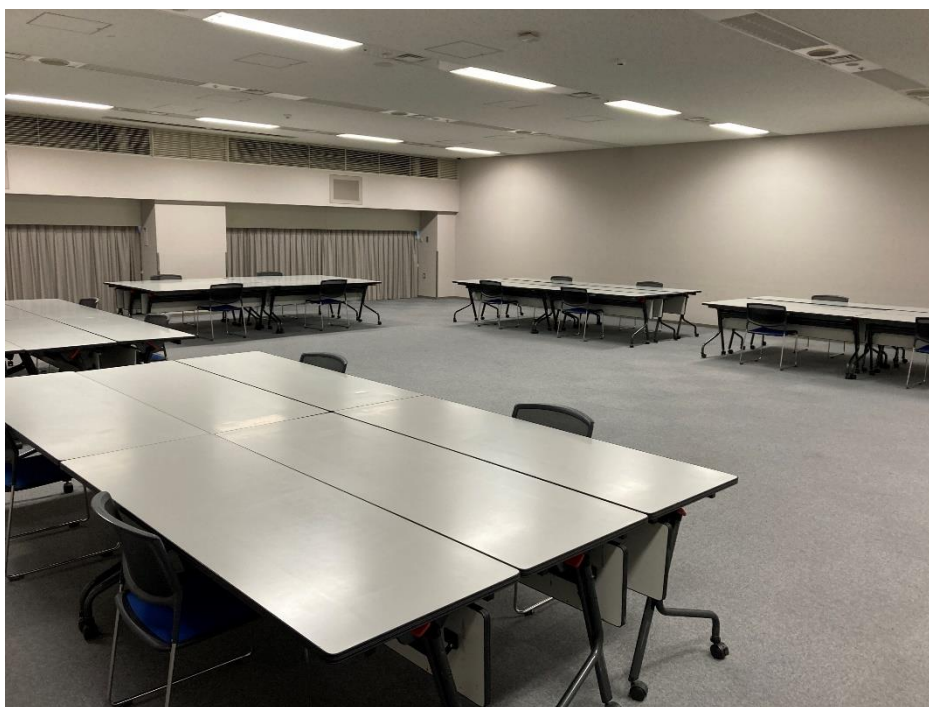
- ・荒井さんに初めてお会いしましたが、とってもオーラとカリスマ性がある人を引き込む力がすごかったです。「この地域はこれを目指している。でもまだ到達していない」と悲観的に考えるのではなく、「この地域はこれを目指している、今半分にきている、じゃあみんなで目標値に達するように、この素晴らしい活動に参加してみようじゃないか！」とみんなを巻き込むような、参加したくなるようなアプローチをするのがとても大切なのだとしみじみ思いました。

## 2-5-5-10 ネットワーキングスペース

実施時間 11月12日(木)13:00～16:00

実施場所 206号室

参加者やガイド事業者のネットワーキングの場として、スペースを設けた。  
しかし、コロナウイルス感染症拡大の状況から、ネットワーキングスペースとしての利用はなく、休憩場所としての利用が1名あった。



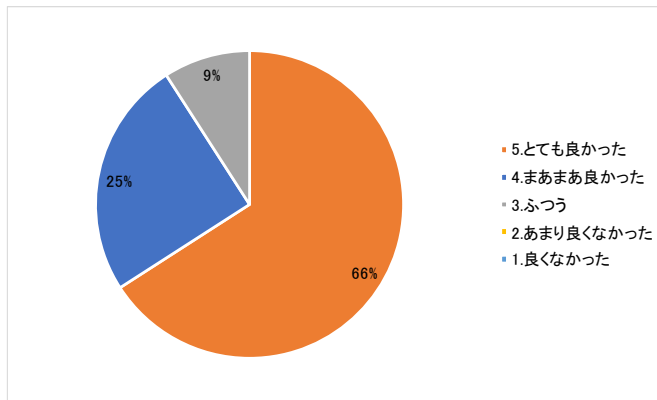
## 2-5-5-11 イベント参加者 イベント実施全体アンケート

## ①イベント全体を通しての感想

エクスカーションとセミナーを含めたイベント全体の感想としては、91%の方が「とても良かった」「まあまあ良かった」を選択する満足度の高い内容であった。

自由記述の内容を見ると、「AT自体の理解促進ができた」「様々な実践者のお話が聞け、今後の参考になった」「コロナ禍の中で人に会える貴重な機会となった」とあり、当初の目的であった「関係者間の連携強化」、「実践的な知識習得」、「機運の醸成を図る」について、達成できたといえる。

今後の課題や要望として、より実践者や関係者同士のネットワークが深められるような機会を継続的に実施していくことが求められており、参加者同士がより交流できるような仕組みづくりが必要である。



## 参加者のコメント

## 【イベント全体に関する内容】

- ・来年の北海道で行われるATWSがファイターズが北海道にやって来たときの様な千載一遇のチャンスなんだと言うことがわかりました。
- ・今までの観光は、自分達の利益に偏りがちのことが多いが、その環境を最大限に活かして、そこに住む人達も参加型になり、正しい情報をお客様は学んで帰る事で、遊びに行った環境が観光客で荒らされず、逆に正しい情報をSNSなどで勝手に循環する様になる。国にもお金が入り、そのお客様に関わるガイド達にもお金が入り、地元の人達にもお金が入り、お客様は満足して有意義な時間を過ごす。環境も汚染されないガイドングもあるからこそ、素晴らしい最後のストーリーになると感じました。北海道や日本でも、ここまでストーリー性のある観光にしないと、ただのお金稼ぎになってしまう。歴史と文化を伝える事で、世界中の人たちが人種違いで差別をせず、相手も認め合える事に繋がる。戦争も起きにくくなるだろう。素晴らしい仕組みだと思い、これが実現できる世の中になりたいです。
- ・今年度は実際にエクスカーションを挟む取組で大変良い事だと思いました。
- ・ATが普段の日本人の旅行とどう違うのか考えるきっかけになり面白かった。
- ・今後の取り組みを進めていくうえで、とても参考になりました。ありがとうございました。

## 参加者のコメント

**【エクスカージョンに関する内容】**

- ・コロナ状況が最悪の中、1日目だけでしたが参加出来良かったです。予想外の雪でしたが、北海道らしいきれいな森の雪景色が見られ、川村久恵さんのお話が聞け、心身共に有意義な時間でした。
- ・自分の自治体以外のAT素材を体験することができ、非常に参考になりました。

**【セミナーに関する内容】**

- ・ヨルダン大使の話がとても良かったです。
- ・当日のセミナー等は一部分をチャットで聞かせて頂いた程度なので、あまり詳しくお聞きすることができませんでしたが、法律の視点からみたガイド事業等についてのセミナーなど興味深いお話を聴くことができて良かったです。
- ・北海道のATに対する地元の熱意を形にしなが、中長期的に、ソフト・ハードのインフラ整備を行い、それを見守っていく責任についても考えさせられるセミナーであった。
- ・色々な人の話を聞いて勉強になったのはもちろんだが、刺激になった。さらに色々な人との出会いもあって良かった。
- ・一部分のみの参加となってしまったが、各方面の関係者が集まっており、ATに対する期待の高さを感じられる機会となった。
- ・コロナで開催が危ぶまれていた時期にも関わらず、宝島のみなさまご尽力いただきありがとうございました。講演会の内容がいいのももちろんですが、コロナで誰とも会えない中で、情報交換と繋がりが作れる機会はとても貴重でした。

**【運営に関する内容】**

- ・大変有意義なミーティングに参加させていただきました。運営のメンバーにも感謝を申し上げます。
- ・コロナウイルス感染防止対策も完璧で安心して参加できました。スタッフの方々は大変ご苦労されたと思います。来年サミットが無事に開催される様に祈るばかりです。ありがとうございました！
- ・感染防止対策を行いながらの実施は工夫やリスクマネジメントなど様々な課題も多くありながら、無事に実施できたこと感謝申し上げます。お疲れ様でした。
- ・コロナで心配しつつでしたが、少しでも参加出来、良かったです。本来ならもっと大勢の参加で盛会でしたでしょうに残念。皆様のご準備、しきりに感謝いたします。
- ・感染拡大で開催を心配いたしました。主催者の皆様の多大なるご努力により開催され参加させていただけたこと、本当に感謝いたしております。熱い想いがひしひしと伝わる素晴らしいミーティングでした。たくさんの学びとご縁をいただきました。英語の勉強も合わせて、より一層頑張りたい気持ちにさせていただきました。どうもありがとうございました。
- ・コロナ感染拡大の中でのハンドリングは大変だったかと推察します。徹底した感染対策に感謝申し上げます。ふたつの基調講演のみの参加でしたが、大変参考になりました。今後もこのようなイベントは適宜実施いただければと思います。

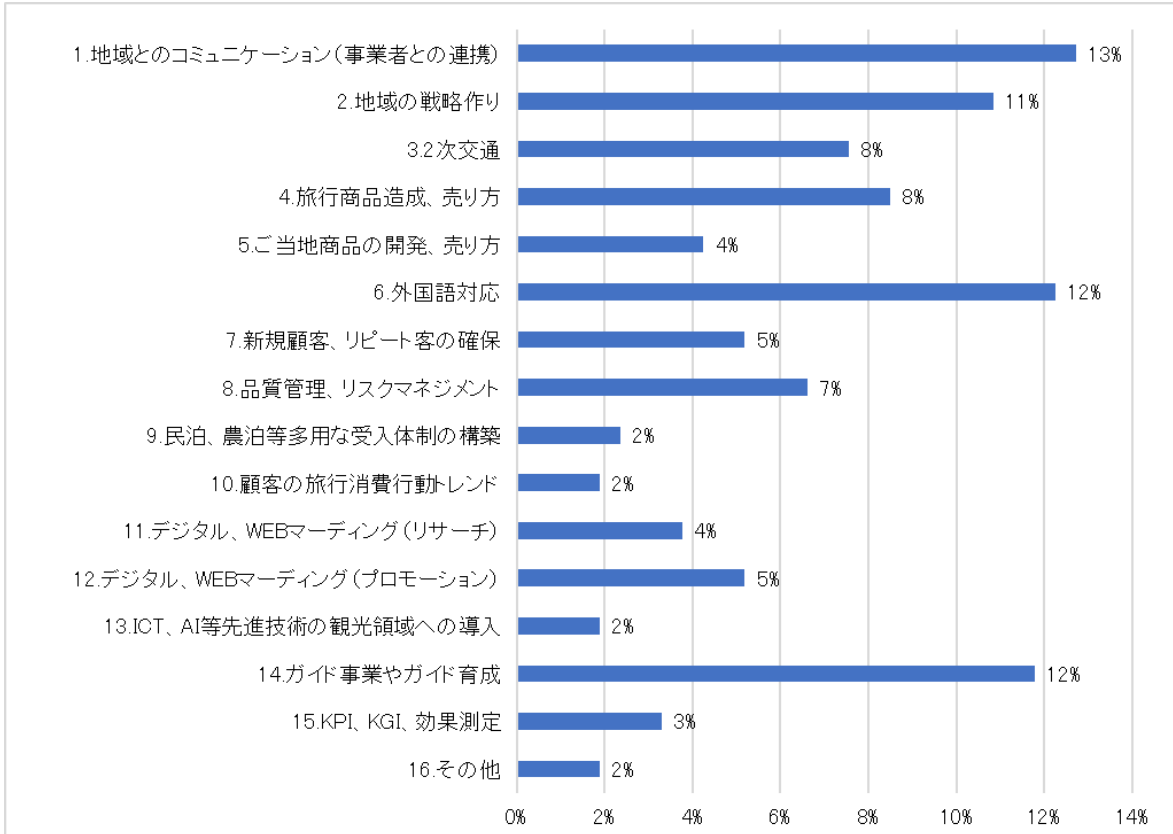


## 参加者のコメント

**【今後の取組に関する内容】**

- ・限りなく現場に近い表現が多い感じがしたので良かったと思います。北海道でATを実践する場合他にどのような課題があるのか知りたい。  
また、法の整備も必要なのかも課題と感じました。
- ・今後このような会議に、事業者の実ガイドの方々がもっと参加していただけると、さらにアドベンチャートラベル全体のレベルや精度向上につながると感じました。参加させていただきありがとうございました。
- ・アドベンチャートラベルについて考える非常に良い機会になったと考えております。  
内容も充実していて、今後もこういった関連団体・ステークホルダー向けのセミナーを定期的に開催できると非常に良いと思います。
- ・昼の時間に余裕があったほうがよかった。
- ・もっとネットワークを構築できる仕組みがあっても良かったと思う。
- ・場所は広くて、雰囲気は真面目ですが、逆に楽しい気分になれません。楽しいトラベルの話なのに、政治的議論になった気がします。
- ・今後も開催予定がありましたらぜひお知らせください。
- ・ご苦勞様でした。来年の本番には内容のあるDOA,PSAとなるよう期待しております。
- ・ATWS2021本番まで、このようなミーティングや、関係者が知り合い、ネットワークを拡げられる機会を設けていただけたらと思います。
- ・今回のイベントでは、受地側の心構え、対応の仕方、商品の在り方等々が中心でしたが、より発地(市場)にスポットを当てたセミナーが実施されること期待します。

② イベント参加者 アンケート 地域の課題について(複数選択)



キーワードについて気になることなど

**【外国語対応】**

・今日も話にでましたが、博物館などで展示物に外国語のキャプションがないときは気になります。実際、外国人の方が不満にしているのに遭遇したことがあります。

**【地域とのコミュニケーション】**

・地域としての課題はたくさんあります。  
 現在、少しずつですが地域との連携を進めているところです。  
 ・自治体があまり個々に分断(独立)せず、面で集客につながる事業となることを検討したいです。

**【旅行商品造成、売り方】**

・大きなorこれまでの観光資源ばかりでなく 地方のユニークなものを掘り起こし自己満足では無く人を呼べ楽しんでもらえるような体験商品作りが増えて行くと良いしリピート客にもアピールできるのではないのでしょうか。  
 ・アドベンチャートラベルに、クルーズ船で寄港して1日だけ地域を観光をするお客様を魅了して取り込んでいけるようにすると、もっと良いのではないかと思います。

## 【3】事業のまとめ

### 3-1 アンケート結果に基づく事業成果－非ガイド層の態度変容－

事業目的である「量的改善」(非ガイド層の巻き込み)について、北海道5か所での地域イベント及びその後のモニターツアーの実施を通じてどれだけの人を巻き込むことができたかが改善の指標であり、選定については下記の基準にて実施した。

【基準】地域イベントの参加者で次のいずれにも該当しない参加者

①現役ガイド、通訳、②旅行者、③観光事業者(宿泊、飲食、交通、観光施設)(※)、④行政機関、観光関係団体

※文化施設は、これまで主体的に観光に関わっていないため含まない。

※物販施設は、体験メニューを提供しているなど観光に取り組んでいると思われる場合は含めた。

**成果:現地参加者 全会場計 223名中 新規巻き込み者 23名(10.3%)**

■白老会場(該当者人数:全現地参加者41名中 該当者6名、オンライン参加者28名中 該当者1名)

ご所属	お名前	備考
公益財団法人アイヌ民族文化財団	徳間 貴之 様	博物館職員
フリー	飯島 舞 様	主婦
公益財団法人アイヌ民族文化財団	木幡 弘文 様	博物館職員
公益財団法人アイヌ民族文化財団	菅野 孝司 様	博物館職員
国立アイヌ民族博物館	劉高 力 様	博物館職員
平取町立二風谷アイヌ文化博物館	杉山 邦広 様	博物館職員
天塩町地域おこし協力隊	久保 綾香 様	特産品の海外PR、海外からの研修生の受入業務に従事 (オンライン参加)

■弟子屈会場(該当者人数:全現地参加者49名中 該当者6名、オンライン参加者15名 該当者なし)

ご所属	お名前	備考
ファットリア リッコ	廣瀬 真紀子様	農業生産者
ファットリア リッコ	岡西 真由美様	農業生産者
釧路農業改良普及センター	樋口 いずみ様	農業改良普及センター職員
標茶町博物館	坪岡 始様	博物館職員
根室農業改良普及センター	松本 卓也様	農業改良普及センター職員
釧路農業改良普及センター	菊地 恵実様	農業改良普及センター職員

■ニセコ会場(該当者人数:全現地参加者44名中 該当者6名、オンライン参加者13名 該当者なし)

ご所属	お名前	備考
三田農林(株)	大田 篤志様	農業生産者
北海道後志総合振興局後志農業改良普及センター	山下 茂様	農業改良センター職員
今田農場	今田 知代様	農業生産者 冬モニター参加
Navire noir (ナヴィル ノワール)	舘岡 志保様	漁業関係者
漁師	舘岡 勇樹様	漁師
長万部町観光地域づくり協議会	中野 美貴様	子供向け体験提供

■旭川会場(該当者人数:全現地参加者46名中 該当者4名、オンライン参加者25名 該当者なし)

ご所属	お名前	備考
Hokkaidar	小原 信好様	カメラマン
上川町地域おこし協力隊	近江 美久様	アウトドアプラン造成
村上農園	村上 寿裕様	農業者、冬モニター参加
ミチヒト	見上 道様	飲食店・雑貨

■帯広会場(該当者人数:全現地参加者43名中 該当者1名、オンライン参加者13名 該当者なし)

ご所属	お名前	備考
一般社団法人水産学会	斎藤 弘樹様	ライフセイバー

### 3-1 アンケート結果に基づく事業成果－非ガイド層の態度変容－

どの回答者もATについての具体的なイメージがわいており、中には既に持っていたイメージの観光を実践すべく、地域内の横の繋がりを深めた参加者もいた。地域ごとのネットワーキングイベントにおいて「『非ガイド層』や『ATを掴み切れていないガイド層』を巻き込む」の95%が高評価をしていたことから、ATへの理解促進について効果があったと言え、量的改善が図られたと言える。

#### 【アンケート自由記述抜粋】

(ファットリアリッコ 廣瀬 真紀子さん)

- ・農園に体験商品を導入するにあたって非常に参考になりました。
- ・人とつながること、情報を交えることができるともよかったです。

(上川町地域おこし協力隊 近江 美久さん)

- ・様々な人の考えやアイデアを聞けました。
- ・自分の町に持って帰れそうなアイデアがたくさんあって楽しかった。

(村上農園 村上寿裕さん)

- ・ツアーの作成の仕方、AT要素の盛り込みや絞り込みなど参考になった。
- ・ほかの地域のことを学べて楽しかった。

(三田農園(株)三田牧場 大田篤志さん)

- ・ATの人が何を求めているのかが分かったような気がする。
- ・ツアーを考えると楽しい事がこれから出来そう。

(今田農場 今田知代さん)

- ・ストーリー性をもたせたプランを考えるのが難しかったが楽しみながら活動できた。
- ・他のグループのプランもとてもすばらしく勉強になった。
- ・ATのマーケットは大きいので、今後自分も協力できることがあればやっていきたいと思う。
- ・米作りを行う生産農家が顔を見せて、コメ作りにかかる情熱やこだわりを、おにぎりづくりの時にでも話してコミュニケーションをとれたら、テーマの理解をさらに深められ、より地域の連携・歓迎を感じられるのではないかと思った。(冬季モニターツアーでの感想)

(Navire noir(ナヴィール ノワール) 館岡 志保さん)

- ・観光客への魅せ方を学んだ。
- ・漠然としていたプランが明確化できた。
- ・横のネットワーク作りができた。

(漁業 館岡 勇樹さん)

- ・たくさんの方々と話すことによって視野が広がりました。
- ・漁業の新たな可能性を感じました。

#### 【地域ごとのAT機運の醸成】

事業成果には含めないが、地域ごとのエクスカージョン造成に携わっていただいた方々で、かつ非ガイド層である8名に関わっていただいた。

ご所属	お名前	備考
ハーバルランチ	高橋 敬子様	胆振エリア 映像にて参加
かふえ ピラサレ		胆振エリア 映像にて参加
勝江寿司		後志エリア 映像にて参加
杏ダイニング	前田シェフ	後志エリア 映像にて参加
大西農園	大西 様	釧路・オホーツクエリア 映像にて参加
ハルキッチン	岩淵 亜夕子様	上川エリア 映像にて参加
丘のまち郷土学館・美宙	桜間 祐紀様	上川エリア 映像にて参加
道下広長農場	道下 公浩様	帯広エリア 映像にて参加



## 3-2 アンケート結果に基づく事業成果ーガイドの質的改善ー

事業目的である「質的改善」について、全道規模のイベントである「アドベンチャートラベル北海道ミーティング」における日帰りのエクスカージョン、基調講演・セミナー及び会場でのネットワーキングにより改善が図られたかが改善の指標である。

アンケートにて、9割を超える参加者から高評価を得るとともに、自由記述において、「理解が深まった」「様々な関係者と会うことができ、よかった」との記載があったことから、質的改善が図られたと言える。

**成果:質的改善が図られた現役ガイド 延べ38名(イベント参加ガイド総数)**

- イベント1日目(エクスカージョン)に参加した現役ガイド人数 17名(運営側を除く)
- イベント2日目に参加した現役ガイド人数 21名

## 【アンケート自由記述抜粋】

(Giro21 松山 淳さん)

- ・アドベンチャートラベルって何？くらいの気持ちで参加しましたが、少し解ってきた気がします。
- ・アウトバウンドのツアーの紹介が見事で、ガイドさん達の質の高さが想像できました。

(全国通訳案内士 横山研児さん)

- ・討論会の各パネリストのお話がとても有用で印象に残りました。
- ・フォトグラファーならではの目の付け所など参考になりました。
- ・運営側から見たガイドに必要な資質や考え方などが理解できました。

(Sotoasobu 江川理恵さん)

- ・講演者の皆様のお話に興味深いものばかりでメモ帳がいっぱいになりました。
- ・英語の勉強をより一層頑張りたいです。
- ・まずはサステイナブルであること。今後のツアー作りの際、最優先チェック事項にしたいと思います。
- ・素晴らしいミーティングでした。たくさんの学びとご縁をいただきました。

(Hokkaido Great Adventure 岸 浩明さん)

- ・映像の持つ意味が少し理解できました。また、誰に向けての発信かが重要と知ることができ良かった。
- ・現場でのエピソードがとても役に立ちました。
- ・SDGsについてもう少し学びたいと感じました。

(H-SEG 藤澤邦子さん)

- ・英語を使う際の 短くてもわかりやすくアピールできる話の仕方を説明してもらいました。

(礼文島自然ガイド 鹿川明美さん)

- ・アイヌ民族の歴史や文化、物語に触れ知識が深まりました。
- ・私自身が写真を趣味としていますので学ぶ事がたくさんありました。これからは自分のコンテンツを誰にどう見せるかなどもを考えて撮影したいと思います。
- ・これからの時代にスルーガイドはインバウンド以外にも必要になると思います。私自身もガイドをしています。ある意味目標になるかもしれません。

なお、成果には含めていないが、地域イベントにも現役ガイドが参加しており、他地域とのガイドング技術交流やネットワーキングを通じて質的改善が図られていることを付け加える。

- 動画制作に参加した現役ガイド人数 28名
- 地域ミーティングに参加した現役ガイド人数 51名
- 冬季モニターツアーに参加した現役ガイド人数 12名(運営側を除く)

**付随成果:質的改善が図られた現役ガイド 延べ91名**

### 3-3 事業総括

今回の事業は、地域の魅力を伝える「非ガイド層」や「ATをつかみ切れていない層」の巻き込みによる量的改善、ガイドスキルの向上及び幅広い関係者間での連携による質的改善の2つを目的として実施した。

まず、量的改善については、道内5カ所で開催したイベント「北海道アドベンチャートラベルミーティング」及びイベント開催地周辺でのエクスカーション作りと、冬季モニターツアーを通じて改善を図った。

結果は、一次産業従事者や博物館の職員などこれまで観光にあまり携わっていなかった多様な地域関係者23名を新たに巻き込むことができた。これは全参加者の10.3%であるが、イベントアンケートの自由記述に「農園に体験商品を導入するにあたって非常に参考になった」「漠然としていたプランが明確化できた」「漁業の新たな可能性を感じた」「今後自分も協力できることがあればやっていきたい」など、自身の取り組みと観光との関わり方が見えてきたという意見があったことから、今後も多様な関係者を巻き込んでいくことで、ガイドの量的改善に繋がることが確認できた。

質的改善については、札幌にて開催した全道イベント「アドベンチャートラベル北海道ミーティング」により、エクスカーションを通じた他地域関係者とのガイディング技術交流、北海道全域のネットワーク構築及び実践的な知識の習得により改善を図った。

ネットワーク構築については、道内全域から多様な関係者に参加してもらおうべく、農閑期及び休漁期であり観光客の入り込みも落ち着く11月に開催することとした結果、コロナウィルス感染拡大傾向の状況下にもかかわらず総勢104名、そのうち約2割にあたる21名の現役ガイドが参加することができた。

「素晴らしいミーティングでたくさんの学びとご縁をいただいた」「講演内容が良かったことに加えて、コロナで誰とも会えない中で、情報交換と繋がりが作れる機会はとても貴重だった」というアンケート意見、参加者からの「次の具体的な行動に繋がった」という声が示すとおり、多様な関係者が参加し十分にネットワーク構築を図ることができた。

実践的な知識の習得については、全道5カ所での地域イベントに講師として参加いただいた皆様による討論会、ヨルダントレイル開設の功労者である駐日ヨルダン・ハシェミット王国特命全権大使リーナ・アンナーブ閣下による基調講演をはじめ、スルーガイドの役割やガイドに必要な英会話など実用的な情報を提供し、「現場でのエピソードがとても役に立った」「運営側から見たガイドに必要な資質や考え方などが理解できた」「サステナブルは今後のツアー作りの最優先チェック事項にしたい」などのアンケートのコメントから、実用的な知識を得ていただけたと思う。

また、「他地域でどのような商品が販売されているのか知らない」という意見を踏まえ、ガイド同士の知見交流の場として全道イベント1日目に4本の日帰りエクスカーションを設定し、加えて5カ所での地域イベントをもとにした冬季モニターツアーも知見交流の場となった。アンケートの意見に「今後ATを進める上で気付きの多いツアーだった」「実体験が組み込まれておりとてもよい取り組みだった」との意見があったことから、普段見ることができない自分以外のガイディングを体験することによる、ガイド同士の技術及び知見の交流がガイドの質的向上に有効であることが確認できた。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による行動の制限がかかる中ではあったが、地域の関係者が連携するためのネットワーク作りが重要であることから、可能な限り参加者同士が顔を合わせられるようにイベントを実施し、「コロナウィルス感染拡大対策も完璧で、安心して参加できました」という声もいただき、その後も参加者からの感染者発生との連絡がないことから、コロナ禍におけるATWS開催に向けた運営についても知見を集積することができ、関係者及び参加者の皆様にこの場を借りてお礼申し上げる。

以上から、新たな関係者の巻き込みがガイドの量的改善に繋がること、広範な関係者によるネットワーク構築、実体験を伴う交流及び実践に裏付けられた情報提供がガイドの質的改善に繋がることを確認できた。

その一方で、道内5カ所で実施したイベントのアンケートにて、現在課題と思っていることを聞いたところ、地域の関係者との連携との意見が一番多くあった。地域の魅力を創出し発信していくためには、北海道全域や地域内の様々な団体・組織が横断的に連携し、地域を面とらえ、魅力を再編集していく必要がある。

そのためには、当該事業で構築されたネットワークをもとに、より多様な人々が関わっていくことができる仕組みを整え、関係者がお互いの資源や商品について体感して知見を交流させることができる機会を継続的に創出していくことが重要である。

北海道が世界に通用するATの目的地となるためには、このような取り組みの継続が不可欠である。